

奈良県立医科大学概要

令和元年度



公立大学法人

奈良県立医科大学



公立大学法人
奈良県立医科大学

建学の精神

平成 29 年 4 月 4 日：制定

最高の医学と最善の医療をもって地域の安心と社会の発展に貢献します

大学の理念

平成 6 年 3 月 8 日：制定
平成 17 年 12 月 13 日：改正

本学は、医学、看護学およびこれらの関連領域で活躍できる人材を育成するとともに、国際的に通用する高度の研究と医療を通じて、医学および看護学の発展を図り、地域社会さらには広く人類の福祉に寄与することを理念とする。

各分野の理念と方針

平成 29 年 4 月 4 日：制定

教 育

理念 豊かな人間性に基づいた高い倫理観と旺盛な科学的探究心を備え、患者・医療関係者、地域や海外の人々と温かい心で積極的に交流し、生涯にわたり最善の医療提供を実践し続けようとする強い意志を持った医療人の育成を目指します。

- 方針**
- 1 良き医療人育成プログラムの実践
 - 2 教員の教育能力開発と教育の質保証
 - 3 教育全般に関する外部有識者評価と学生参加の推進
 - 4 学習環境と教育環境の充実

研 究

理念 研究の成果を患者への最善の医療に生かし奈良県民の健康増進を図るとともに、最先端の研究により医学の進歩に貢献します。

- 方針**
- 1 研究基本方針の明確化
 - 2 研究推進体制の効率化と強化
 - 3 研究の外部評価の導入
 - 4 奈良県民の健康増進への貢献

診 療

理念 患者と心が通い合う人間味あふれる医療人を育成し、地域との緊密な連携のもとで奈良県民を守る最終ディフェンスラインとして、安全で安心できる最善の医療を提供します。

- 方針**
- 1 奈良県民を守る「最終ディフェンスライン」の実践
 - 2 奈良県内基幹病院としての機能の充実
 - 3 地域医療機関との機能分担、緊密連携の推進
 - 4 各領域の担い手となる医療人の育成

法人運営

理念 最高の医学の追究、最善の医療の追求を使命として、互いに連携しながら自らの職務に誇りと情熱をもって取り組み、課題に対して自ら行動できる人材を確保・育成することで、教育・研究・診療の理念を実現し、発展し続ける法人運営を実践します。

- 方針**
- 1 ガバナンス体制の確立
 - 2 持続可能な経営基盤の確立
 - 3 働きがいのある職場づくり
 - 4 積極的な情報発信

目 次

第1章 概 要

1. 沿 革	1
2. 名称・位置	8
3. 施 設	8
(1) 土 地	8
(2) 建 物	8
4. 公立大学法人奈良県立医科大学 組織機構図	9
5. 役 職 員	12
(1) 役職員名簿	12
(2) 大学院研究指導教員名簿	16
6. 職 員 構 成	18
(1) 役 職 員 数	18
(2) 教 員 数	19
7. 歴代校長・学長	20
8. 歴代部局長	20
9. 歴 代 役 員	22
10. 名 誉 教 授	23

第2章 予算・決算

1. 平成30年度決算	24
2. 年度別予算	26

第3章 大学・大学院

1. 学生定員及び現員	29
2. 県内・県外別学生数	29
3. 志願者数及び入学者数	30
4. 卒 業 者 数	32
5. 卒業後の状況	35
6. 学位授与者数	36
7. 研究生数、専修生数、医科学研究生数及び博士研究員数	36
8. 非常勤講師数	36
9. 解 剖 件 数	36
10. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費助成事業	37
11. 総合研究施設の状況	38
1. 施設部（共同利用施設）	38
(1) 動物実験施設	38
(2) 大学共同研究施設	38
(3) 組換えDNA実験施設	38

(4) ラジオアイソトープ (RI) 実験施設	38
2. 各施設実験登録者数	39
12. 寄附・共同研究等講座の設置状況	40
13. 国際交流協定大学・病院	41
14. 国内協定大学	41
15. 教育研究に関する協定 (連携大学院)	42
16. 地方公共団体との協定	42
17. 企業等との協定	42
18. 公的研究機関との協定	42
19. 公開講座「くらしと医学」開催状況	43

第4章 附属図書館

1. 蔵書	44
2. 利用者数	44
3. 文献複写	44
4. 情報提供サービス	44
5. 電子ジャーナル稼働システム・誌数	44

第5章 附属病院

1. 診療体制	45
(1) 科別開設許可病床数	45
(2) 外来診療室数	46
2. 患者統計	47
(1) 入院・外来患者数	47
(ア) 入院患者数 (年度別)	47
(イ) 新入退院患者数・平均在院日数 (年度別)	48
(ウ) 外来患者数 (年度別)	49
(エ) 入院・外来患者数の推移	50
(2) 中央診療施設稼働状況	51
(ア) 中央臨床検査部検査件数 (年度別)	51
(イ) 輸血部関係 (年度別)	52
(ウ) 中央手術部手術件数 (年度別)	53
(エ) 中央放射線部診療患者延数 (年度別)	53
(オ) 集中治療部患者延数 (年度別)	54
(カ) リハビリテーション関係	54
(キ) 透析部透析件数 (年度別)	54
(ク) 病院病理部関係 (年度別)	54
(ケ) 医療技術センター関係 (平成30年度)	55
(コ) 中央内視鏡部診療件数 (年度別)	58
(サ) 超音波診療件数 (年度別)	58

(3) 病理解剖件数（年度別）	59
(4) 分娩件数（年度別）	59
(5) 薬剤関係（年度別）	60
(6) 栄養管理関係	60
(ア) 提供食数（年度別）	60
(イ) 栄養指導件数（年度別）	60
(ウ) NST 介入件数（年度別）	60
(7) 総合相談窓口 相談件数	61
3. 診療収入関係	63
(1) 診療収入額（年度別）	63
(2) 特別療養環境室（個室等）室料差額収益額（年度別）	63
4. 附属病院の主な医療機器設置状況	64
5. 総合医療情報システム（電子カルテシステム）	65
○ 大学総合案内	66
○ 病院総合案内	67
○ 奈良県立医科大学・附属病院配置図	68
○ 奈良県立医科大学位置図・大学・附属病院付近図	69

第1章 概

要

1. 沿革

昭和20年 4月	奈良県立医学専門学校設立 校舎を当分の間、高市郡八木町小房（現 橿原市小房町）に置く 奈良県農業会経営の奈良県協同病院（高市郡畝傍町大字四条 840、現橿原市四条町 840）を買収、附属病院（215床）とする
昭和20年 7月	奈良県立医学専門学校第1回入学式挙行
昭和21年 4月	校舎を高市郡畝傍町畝傍（現 橿原市畝傍町）50番地に移転
昭和22年 7月	奈良県立医科大学（旧制）予科開校、予科3個学年を同時に入学させる 附属吉野保健センター診療部開設
昭和22年 9月	附属厚生女学部開設
昭和23年 4月	奈良県立医科大学（旧制）学部開設、入学定員40人
昭和25年 3月	医学専門学校第1回生卒業
昭和26年 3月	学制改革により予科、医学専門学校廃止
昭和27年 3月	医科大学（旧制）第1回生卒業
昭和27年 4月	奈良県立医科大学（新制）開設、入学定員40人、17講座
昭和28年 4月	附属准看護学校開校
昭和28年 6月	内科学第二講座設置
昭和29年 6月	解剖学第二講座設置
昭和29年 10月	整形外科科学講座設置
昭和30年 4月	附属高等看護学校開設
昭和31年 3月	医科大学（新制）第1回生卒業
昭和32年 4月	県立橿原診療所、県立橿原精神病院を医科大学附属病院に合併（642床となる） 病理学第二講座設置
昭和32年 6月	看護婦宿舎（城櫓寮）竣工（木造2階建）
昭和33年 3月	附属病院南病棟竣工（鉄筋3階建）
昭和33年 4月	学校教育法の改正に伴い、医学進学課程（修業年限2年）設置
昭和34年 11月	旧制学位審査権を認可される
昭和34年 12月	基礎医学校舎完成（鉄筋4階建、5,277.24㎡）（現：臨床医学研究棟）
昭和35年 1月	大学の住所表示を橿原市四条町840番地に変更 生理学第二講座設置
昭和35年 3月	附属病院北病棟（鉄筋4階建）及びがん治療棟（同平屋建）竣工
昭和35年 4月	奈良県立医科大学大学院設置、入学定員23人、総定員92人 外科学第二講座設置
昭和36年 3月	旧制医科大学廃止
昭和36年 5月	附属病院中央臨床検査部創設
昭和36年 9月	大学本館（鉄筋3階建）及び図書館（同2階建）竣工
昭和36年 12月	学位規則（文部省令）に基づき、奈良県立医科大学学位規則を制定
昭和37年 11月	病院診療管理棟及び給食棟竣工、ボイラー棟、コバルト照射室完成
昭和38年 3月	サービス棟竣工
昭和38年 8月	臨床研究棟（鉄筋3階建、1,589.40㎡）（現：医局棟）、塵埃焼却場竣工
昭和38年 11月	皮膚・泌尿器科学講座を分離、全24講座となる
昭和39年 3月	研究実験用動物舎等竣工
昭和39年 4月	学生入学定員を40人から60人に変更 大学院の入学定員を24人に、総定員を96人に変更 附属奈良病院設置（奈良市西大寺町）
昭和39年 8月	看護婦宿舎白櫓寮新館（鉄筋3階建、1,500.82㎡）及び臨床講堂（鉄筋平屋建、階段作、214㎡）竣工
昭和40年 3月	進学課程校舎新築竣工（鉄筋3階建、983.50㎡）
昭和40年 4月	奈良県血液センターを附属病院内に置く 救急病棟の開設
昭和41年 4月	附属病院に輸血部設置
昭和41年 9月	精神病棟新館完成（鉄筋4階建、2,032㎡）

昭和41年10月	胃集団検診車「きぼう号」により県下各市町村において胃の集団検診を実施
昭和43年3月	中央臨床検査棟竣工
昭和43年4月	附属がんセンター設置
昭和44年5月	女子職員独身寮竣工
昭和44年7月	大講堂（600人収容）竣工
昭和44年8月	仮設託児所竣工
昭和44年10月	新教授会、教授会代議員会、全学協議会発足
昭和45年4月	事務組織機構改正 事務局に管財課、附属病院事務部に管理課、医事課、給食課設置 附属高等看護学校第一部学生入学定員を20人から40人に変更
昭和45年7月	附属高等看護学校竣工（2,293.60㎡）
昭和45年8月	附属がんセンター増築（1,619.50㎡）
昭和46年3月	サービス棟増築（854.9㎡）
昭和46年6月	奈良県血液センターを日赤奈良支部へ移管
昭和47年4月	公衆衛生学講座設置
昭和47年8月	附属病院看護婦宿舍竣工（3,517.52㎡）
昭和49年1月	体育館竣工
昭和49年3月	塵埃焼却場竣工
昭和49年4月	麻酔科学講座設置
昭和49年11月	附属がんセンター増築（190.9㎡）
昭和50年4月	附属奈良病院を県立奈良病院に組織変更
昭和51年4月	医動物学講座設置
昭和52年4月	医動物学講座を寄生虫学講座に変更 学生入学定員を60人から100人に変更 内科学第三講座設置 附属高等看護学校を、専修学校移行に伴い附属看護専門学校に名称変更
昭和52年10月	全学協議会、教授会代議員会廃止
昭和52年11月	新教授会発足
昭和53年3月	基礎医学校舎竣工（鉄筋5階建、8,500.75㎡） 進学課程校舎増築（鉄筋4階建、1,569.64㎡）
昭和53年6月	神経精神科学講座を精神神経科学講座に変更
昭和53年12月	テニスコート（4面）、バレーコート（1面）竣工
昭和54年3月	図書館竣工（鉄筋3階建、1,303.18㎡）
昭和54年9月	プール（6コース）竣工
昭和56年1月	臨床第1講義室竣工（460.46㎡）
昭和56年3月	エネルギーセンター竣工
昭和56年4月	外科学第三講座設置 神経内科学、口腔外科学設置 精神神経科学講座を精神医学講座に変更 附属看護専門学校、一部の入学定員を40人から70人に変更、2部の募集を停止
昭和56年9月	附属病院新本館竣工（22,554.25㎡）
昭和56年10月	附属病院に中央診療施設設置
昭和56年12月	附属看護専門学校合同講義室竣工（162.00㎡）
昭和57年9月	附属病院許可病床数850床（一般710、結核60、精神80）となる
昭和57年12月	東運動場整備（8,077㎡）
昭和58年12月	塵埃焼却場竣工（285.5㎡）
昭和59年12月	学生クラブ棟増築（260.98㎡） 附属看護専門学校講義室竣工（162.65㎡）
昭和60年3月	附属病院外来部門電算業務開始 独身住宅竣工（橿原市南妙法寺町、鉄筋4階建、1,140.48㎡）
昭和60年4月	附属看護専門学校に助産学科（定員15人）を設置
昭和61年3月	附属病院入院部門電算業務開始
昭和62年2月	MR-CT棟竣工（227.42㎡）、62年5月より診断開始
昭和63年3月	附属病院中央手術場を9室から11室に改修
昭和63年4月	病態検査学、神経内科学、口腔外科学を講座とする 附属病院新生児病室10床から15床に増床、全855床となる

平成元年 3月	西運動場整備 (13,626 m ²)
平成元年 4月	附属がんセンターのペー太郎照射室をリニアック室に改修
平成元年 8月	救急医学講座設置
平成2年 3月	附属病院救急棟竣工 (1,589.4 m ²)、集中治療室 5 床、救急病室 15 床設置により全 870 床となる
平成2年 4月	附属病院救急科設置、2年 5月より診療開始
平成2年 6月	第1 駐車場整備 (8,077 m ²)
平成3年 4月	附属がんセンター組織改正
平成3年 7月	基礎医学校舎増築 (2,493.3 m ²) クラブ棟新築竣工 (354.9 m ²)
平成4年 4月	第二本館建設推進本部及び同事務局設置
平成4年 6月	老人性痴呆疾患センター設置
平成4年 8月	附属病院土曜閉院となる
平成5年 3月	総合研究棟竣工 (5,919.64 m ²)
平成5年 4月	大学、附属看護専門学校土曜休業となる
平成5年 10月	総合研究施設部設置
平成5年 11月	総合研究棟供用開始
平成6年 3月	大学の理念及び目的を制定 サービス棟竣工 (1,340.85 m ²)
平成6年 4月	附属病院中央診療施設の中央内視鏡室、人工透析室、新生児病室の3室を部に変更
平成6年 5月	教授会構成員変更
平成6年 8月	エイズ拠点病院選定
平成6年 9月	骨髄移植開始のため、附属病院に無菌室設置
平成6年 11月	インターネット利用開始
平成7年 3月	本学初の公開講座を実施
平成7年 9月	開学 50 周年記念式典挙行
平成8年 2月	特定機能病院承認
平成8年 4月	看護短期大学部開学、附属看護専門学校看護学科の募集を停止 附属病院中央診療施設に病院病理部を新設し、人工透析部の名称を透析部に変更 学内 LAN 敷設
平成8年 8月	チェンマイ大学 (タイ王国) と学術交流協定を締結
平成8年 11月	災害拠点病院指定
平成9年 3月	附属病院 B 棟 (18,253.98 m ²) 及びエネルギーセンター (2,491.05 m ²) 竣工
平成9年 4月	学生入学定員を 100 人から 95 人に変更 附属病院内に救命救急センター設置
平成9年 6月	附属病院 B 棟供用開始
平成9年 9月	ゲストハウス竣工 (171.38 m ²)
平成9年 11月	本学公式ホームページ開設
平成11年 1月	病態検査学講座を総合医療・病態検査学講座に変更 附属病院総合診療科設置
平成11年 3月	附属看護専門学校閉校
平成11年 4月	看護短期大学部に専攻科助産学専攻設置 附属病院感染症病棟 10 床設置により、全 880 床となる 附属病院事務部に電算室を設置
平成13年 3月	附属病院感染症病棟 (10 床) 廃止により、全 870 床となる
平成13年 4月	附属病院事務部を廃止し、事務局に病院第一課及び病院第二課を設置 オーダーリングシステム (医療情報システム) 全面稼働
平成13年 7月	附属病院内に精神科救命医療情報センターを設置
平成13年 10月	附属病院外来患者駐車場を有料化整備
平成14年 12月	附属病院内に周産期医療センターを設置
平成15年 3月	旧榎原伝染病棟敷地を榎原市より買収
平成15年 4月	病理学第一講座を病理診断学講座に変更し臨床医学へ移行 病理学第二講座を病理病態学講座に変更 事務局病院第一課に課内室 (医療情報システム室) を設置 事務局病院第二課に医療安全管理部門を設置
平成15年 9月	附属病院内の救命救急センターを高度救命救急センターに変更 附属病院玄関前整備工事竣工

平成 15 年 10 月	附属病院内に感染症センターを設置 附属病院 C 棟 (19,563.23 m ²) 及びエネルギーセンター (二期 306.96 m ²) 竣工
平成 16 年 3 月	臨床研修病院の指定
平成 16 年 4 月	医学部看護学科を開設、看護短期大学部看護学科の募集停止 大学院医学研究科を 3 専攻 7 領域に再編・整備 教育開発センターを設置 先端医学研究機構を設置 (総合研究施設部を吸収) 附属がんセンターの廃止 (平成 16 年 3 月) に伴い、腫瘍病理学分野を分子病理学講座に、腫瘍放射線医学分野を放射線腫瘍医学講座に変更 外科学第一講座を消化器・総合外科学講座に、外科学第二講座を脳神経外科学講座に、外科学第三講座を胸部・心臓血管外科学講座に、総合医療・病態検査学講座を総合医療学講座に変更 附属病院内の中央内視鏡部と超音波診断室を統合し中央内視鏡・超音波部に変更 附属病院給食部を設置 事務局の再編により、総務課研究支援室、学務課、病院経営課、病院管理課を設置
平成 16 年 6 月	附属病院 C 棟完全供用開始により全 900 床となる
平成 16 年 8 月	旧大和平野土地改良区事務所敷地 (704.13 m ² ・四条町 583) 及び建物 (1,158.67 m ²) を買収
平成 16 年 12 月	附属病院定位放射線治療施設 (ノバリス) (130.13 m ² 増築) 竣工 福建医科大学 (中華人民共和国) と学術交流協定を締結
平成 17 年 1 月	先端医学研究機構の研究単位として医療情報学分野を開設 地域がん診療拠点病院の指定
平成 17 年 3 月	附属病院定位放射線治療施設 (ノバリス) 供用開始 巖櫃会館改築竣工 (1,117.49 m ²)
平成 17 年 4 月	事務局に総務課法人化準備室を設置 旧櫃原伝染病棟 (932.00 m ²) を解体 女性専用外来開設
平成 17 年 5 月	巖櫃会館供用開始 開学 60 周年記念式典挙行
平成 18 年 4 月	住居医学講座 (寄附講座) を設置 衛生学講座を地域健康医学講座に、公衆衛生学講座を健康政策医学講座に変更 附属病院内に医療安全推進室を設置 給食部の名称を栄養管理部に変更 MD プログラム奈良 2006 を開始
平成 18 年 5 月	先端医学研究機構の研究単位として生命システム医科学分野を設置
平成 18 年 7 月	セカンドオピニオン外来開設 遺伝カウンセリング外来開設 精神医療センター (5,270.35 m ²) 竣工
平成 18 年 11 月	精神医療センター供用開始により全 930 床となる
平成 19 年 3 月	看護短期大学部閉学
平成 19 年 4 月	地方独立行政法人「公立大学法人奈良県立医科大学」へ移行 第 1 期中期計画 (平成 19 ~ 24 年度) 開始 事務局を法人企画部 (総務課、財務企画課、財務企画課研究推進室、財産管理課、学務課)、病院経営部 (経営企画課、経営企画課情報企画室、医療サービス課、病院管理課) に再編 附属病院内に遺伝カウンセリング室、外来化学療法室、地域医療連携室、臨床研修センターを設置 附属病院開設許可病床数 980 床 総合医療情報システム (電子カルテシステム) 運用開始
平成 19 年 6 月	同志社女子大学と学術交流に関する包括協定を締結
平成 19 年 11 月	医療安全推進室内に医療技術トレーニングルームを設置
平成 20 年 2 月	先端医学研究機構の研究単位として生命システム医科学分野循環器システム医科学を開設 (※ 1) 都道府県がん診療連携拠点病院指定
平成 20 年 3 月	附属図書館に闘病記文庫を設置
平成 20 年 4 月	大学院医学研究科 (医科学専攻) 設置 推薦選抜試験 (緊急医師確保特別入学試験) の実施により医学科の入学定員を 95 人から 100 人に変更 敷地内全面禁煙を実施 耳鼻咽喉科学講座を耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座に変更 看護学科領域の新設及び名称変更 (臨床病態医学、人間発達学) 附属病院内に感染制御内科外来を設置 (22 診療科となる) 附属病院中央診療施設名称の変更 (腫瘍センター、医療情報部) 課内室を再編 (研究推進室は研究推進課として財務企画課より独立。情報企画室を廃止し、経営企画課に併合) オックスフォード大学 (イギリス) と学術交流協定を締結 文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム (教育 GP)」として「地域に教育の場を拡大した包括的教育の取組」(H20 ~ H22) を採択
平成 20 年 5 月	附属病院内に総合周産期母子医療センターを設置

※ 1 循環器システム医科学の開設に合わせ、従来の生命システム医科学分野を生命システム医科学分野脳神経システム医科学と呼称

平成 20 年 12 月	早稲田大学と連携協力に関する協定を締結
平成 21 年 3 月	奈良先端科学技術大学院大学と相互協力に関する包括協定を締結 大学内 30 箇所に無線 LAN アクセスポイントを敷設
平成 21 年 4 月	医学科の入学定員を 100 人から 105 人に変更 国際交流センターを設置 血栓制御医学講座（寄附講座）を設置 大学知的財産アドバイザーの設置（受入）
平成 21 年 5 月	附属病院内に緩和ケア外来を設置
平成 21 年 6 月	附属病院夜間救急玄関改修工事竣工 （総合相談窓口を設置 入退院・救急窓口を移設）
平成 21 年 10 月	附属病院内に緩和ケアセンターを設置 附属病院全診療科において初診紹介患者の予約診療を開始
平成 21 年 11 月	機関リポジトリ GINMU（ジンム：Global Institutional Repository of Nara Medical University）を公開 附属病院内に助産師外来を設置
平成 22 年 4 月	医学科の入学定員を 105 人から 113 人に変更 血圧制御学講座（寄附講座）を設置 ルール大学（ドイツ）と学生交流協定を締結 附属病院の一般病棟に看護職員を 7：1 配置 附属病院内に治験センターと移植細胞培養センターを設置 地域基盤型医療教育コースを設置
平成 22 年 10 月	奈良県と「医師配置システム構築のための地域医療学講座の設置に関する協定」を締結し、地域医療学 講座を設置 附属病院内にリウマチ外来、化学療法外来を設置
平成 22 年 11 月	附属病院開設許可病床数 978 床（D 棟 2 階改修）
平成 22 年 12 月	附属病院内に小児センター及びメディカルバースセンターを設置
平成 23 年 1 月	附属病院内に乳腺外科外来を設置
平成 23 年 2 月	女性研究者支援センターを設置
平成 23 年 4 月	監査室、健康管理センター、産学官連携推進センターを設置 寄生虫学講座を病原体・感染防御医学講座に変更 人工関節・骨軟骨再生医学講座（寄附講座）を設置 広域大学知的財産アドバイザーの設置（受入） 附属病院内にペインセンター、リウマチセンター及び糖尿病センター並びに医療技術センターを設置 病院経営部医療サービス課内に医療相談室を設置 授業料減免制度の創設
平成 23 年 5 月	附属病院内に糖尿病外来を設置 病院機能評価（Ver6.0）の認定を取得
平成 23 年 6 月	地域医療総合支援センターを奈良県とともに設置
平成 24 年 4 月	広報室を設置 「なかよし保育園」を建て替え、規模を拡大（定員 16 名→60 名）し、法人の組織として設置 地域看護学領域を公衆衛生看護学領域に変更 看護学科の入学定員を 80 人から 85 人に変更 大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）を設置 医学科に研究医養成コースを設置し、2 年次編入学定員を 2 名増員 附属病院内に形成外科センターを設置 Web メールシステム運用開始 学務課を教育支援課に改称
平成 24 年 6 月	研究者情報データベース運用開始
平成 24 年 7 月	明日香村と地域医療連携事業実施に関する協定を締結
平成 24 年 8 月	教育研修棟に自習室（18 室約 180 人利用）を設置
平成 25 年 4 月	第 2 期中期計画（平成 25～30 年度）開始 危機管理室、医療メデイエーション室を設置 法人特命企画官の設置 スポーツ医学講座（寄附講座）を設置 老年看護学Ⅱ分野を設置 教務事務システム運用開始
平成 25 年 6 月	株式会社タカトリと産学連携に関する包括協定を締結 研究推進戦略本部を設置 特別共同研究助成事業及び若手研究者研究助成事業の創設
平成 25 年 8 月	認知症疾患医療センター（基幹型）の指定
平成 25 年 10 月	糖尿病学講座、県費奨学生配置センターを設置 附属病院内に先天性心疾患センターを設置 看護師宿舎をスキルスラボ棟に改修
平成 25 年 11 月	附属病院 E 棟（一期 4586.78 m ² ）竣工

平成 26 年 1 月	大和漢方医学薬学センターを設置 県民健康増進支援センターを設置
平成 26 年 4 月	基本構想策定局、県立医大医師派遣センター、看護実践・キャリア支援センターを設置 法人企画部財産管理課内にエネルギーセンターを設置 細菌学講座を微生物感染症学講座に名称変更 免疫学講座を設置 医療メディエーション室を患者・家族支援室に名称変更
平成 26 年 5 月	附属病院内に周術期管理センターを設置
平成 26 年 7 月	附属病院内に IVR センターを設置
平成 26 年 9 月	関西公立医科大学・医学部連合に関する協定を締結
平成 26 年 10 月	独立行政法人産業技術総合研究所と連携・協力に関する協定を締結 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と大学連携協定を締結 看護学科開設 10 周年記念式典挙行
平成 26 年 12 月	附属病院内に入退院管理センターを設置 形成外科センターを形成外科に変更 リハビリテーション部をリハビリテーション科に変更
平成 27 年 2 月	職員証の発行を開始 ベトナム保健省と「関西公立医科大学・医学部連合」等で医療・健康分野に関する包括協定を調印
平成 27 年 3 月	独立行政法人国立循環器病研究センターと教育研究に関する連携協力協定を締結
平成 27 年 4 月	公立大学法人奈良県立医科大学未来への飛躍基金を設置 法人企画部に人事課を設置 基本構想策定局をキャンパス整備推進局に改組 なかよし保育園の定員を見直し(60名→90名)、運営を民間委託に移行 血友病治療・病態解析学講座(寄附講座)を設置 血栓制御医学講座(寄附講座)の設置期間を2年延長 医学科、看護学科の一般教育組織を廃止し、医学部に教養教育部門を設置 看護学科に在宅看護学領域を設置 附属病院内に病理診断科、感染管理室を設置 教養教育部門に学科目臨床英語を設置(学科目英語を廃止)
平成 27 年 5 月	開学 70 周年記念式典挙行
平成 27 年 6 月	橿原市とまちづくり等に関する包括協定を締結
平成 27 年 7 月	手の外科講座(寄附講座)を設置 納品検取センター設置 附属病院内に臨床研究センターを設置
平成 27 年 9 月	附属病院の土日 ER 診療開始
平成 27 年 10 月	附属病院の心臓血管外科・呼吸器外科を組織変更し、心臓血管外科と呼吸器外科を設置 治験センターを廃止
平成 27 年 11 月	関西公立私立医科大学・医学部連合に関する協定を締結
平成 28 年 1 月	附属病院内に玉井進記念四肢外傷センターを設置
平成 28 年 4 月	医学科に医学科長を設置 大学院医学研究科に医学研究科長を設置 大学院看護学研究科に看護学研究科長を設置 法人企画部財産管理課及び財産管理課エネルギーセンターを廃止し、法人企画部施設管理室を設置 キャンパス整備推進局を総合企画局に改組し、同局内に総合企画室を設置 法人企画部財務企画課を財務会計課に名称変更 公立大学法人奈良県立医科大学学外有識者委員会を設置 「奈良県立医科大学教育改革 2015」に基づく新カリキュラム導入 血圧制御学講座(寄附講座)の設置期間を2年延長 バックマイ病院(ベトナム)と学術、教育及び医療の連携・協力に関する包括交流協定を締結 附属病院内に総合画像診断センターを設置 附属病院中央内視鏡・超音波部を中央内視鏡部に名称変更
平成 28 年 5 月	附属病院内にめまいセンターを設置 附属病院耳鼻咽喉科・甲状腺外科から耳鼻咽喉・頭頸部外科に名称変更
平成 28 年 6 月	MBT(医学を基礎とするまちづくり)研究所を設置
平成 28 年 9 月	附属病院 E 棟竣工(21,162.49 m ²)
平成 28 年 10 月	附属病院 E 棟供用開始 附属病院に高度外科技術センターを設置 地域健康医学講座を疫学・予防医学講座に名称変更 健康政策医学講座を公衆衛生学講座に名称変更
平成 29 年 1 月	附属病院に認知症センターを設置 阪奈中央病院にスポーツ医学研究センターを設置
平成 29 年 3 月	京都大学と相互単位互換協定を締結

平成 29 年 4 月	「奈良県立医科大学の将来像」を策定し、「建学の精神」及び「奈良県立医科大学の教育、研究、診療及び法人運営の理念と方針」を制定 法人のシンボルマーク及びイメージキャラクターを制定 人工関節・骨軟骨再生医学講座（寄附講座）の設置期間を 3 年延長 教養教育部門に学科目未来基礎医学を設置
平成 29 年 9 月	公益社団法人地域医療振興協会市立奈良病院と教育研究に関する連携協力協定を締結
平成 29 年 10 月	生体分子不均衡制御学共同研究講座を設置 附属病院内に脳卒中センターを設置 MBT（医学を基礎とするまちづくり）研究所が北関東総合警備保障株式会社及び栃木県高根沢町と連携協定を締結
平成 29 年 11 月	今井町ゲストハウス開所
平成 30 年 1 月	内科学第一講座を分割し循環器内科学講座と腎臓内科学講座を設置 附属病院循環器・腎臓・代謝内科を組織変更し、循環器内科と腎臓内科を設置
平成 30 年 2 月	附属病院 B・C 棟屋上ヘリポート竣工
平成 30 年 3 月	社会医療法人高清会と教育研究に関する連携協力協定を締結 一般財団法人小林理学研究所と教育研究に関する連携協力協定を締結
平成 30 年 4 月	総合企画局を廃止し、法人企画部にキャンパス整備推進室を設置 法人企画部財務会計課を財務企画課に名称変更 血友病教育講座（寄附講座）を設置 血栓止血分子病態学講座（寄附講座）を設置 血栓止血医薬生物学共同研究講座を設置 内科学第二講座を呼吸器内科学講座に名称変更 大学院看護学研究科に高度実践コース（高度実践看護師教育課程及び周麻酔期看護師教育課程）を設置 社会医療法人高清会高井病院に陽子線がん治療研究センターを設置 血栓止血研究センターを設置 IVR 研究センターを設置
平成 30 年 7 月	神経内科学講座を脳神経内科学講座に名称変更 附属病院神経内科を脳神経内科に名称変更
平成 30 年 9 月	発生・再生医学講座を設置
平成 30 年 10 月	MBT（医学を基礎とするまちづくり）研究所タカトリラボを開設 MBT リンク株式会社を大学発ベンチャー企業に認定 なかよし保育園の定員を 90 名から 150 名に変更
平成 30 年 11 月	橿原市及び富士通株式会社等と妊娠期・子育て支援サービスの有用性を検討するための実証実験に関する覚書を締結 附属病院入退院管理センターを入退院支援センターに名称変更 附属病院内に乳腺センターを設置
平成 30 年 12 月	ミシガン大学医学部（アメリカ）と学術科学連携に関する基本合意書を締結
平成 31 年 2 月	V-iCliniX 講座（寄附講座）を設置 附属病院入退院支援センターと地域医療連携室を統合し、入退院等支援部を設置
平成 31 年 3 月	大学院医学研究科（博士課程）にミシガン大学評議会との学術科学連携に関する基本合意書に基づく NM コースを設置 プリガム教育開発センター（ハーバード大学・アメリカ）と学術教育連携に関する基本合意書を締結
平成 31 年 4 月	第 3 期中期計画（平成 31 年～令和 6 年度）開始 総務課情報推進係と経営企画課情報企画係を統合し、事務局に情報推進室を設置 医療サービス課医療相談室を医療相談室に組織改正 地域医療支援・教育学講座（寄附講座）を設置 骨軟部腫瘍制御・機能再建医学講座（寄附講座）を設置 医師・患者関係学講座を設置 血栓止血先端医学講座を設置 成人看護学を分割し成人急性期看護学と成人慢性期看護学を設置 女性研究者支援センターを女性研究者・医師支援センターに名称変更 スポーツ医学講座（寄附講座）の設置期間を 6 年延長 附属病院放射線科（画像診断・IVR）を放射線・核医学科に名称変更 附属病院放射線治療・核医学科を放射線治療科に名称変更 附属病院内に生命倫理監理室を設置

2. 名称・位置

奈良県立医科大学

奈良県橿原市四条町 840 番地

奈良県立医科大学附属病院

奈良県橿原市四条町 840 番地

奈良県立医科大学附属図書館

奈良県橿原市四条町 840 番地

3. 施設

(1) 土地（所有者：奈良県）

R1.5.1 現在

大学敷地	附属病院敷地	保育園敷地	巖櫃会館敷地	その他	ゲストハウス敷地	駐車場敷地	駐車場案内看板設置用敷地
m ² 50,996.43	m ² 47,991.85	m ² 1,335.61	m ² 704.13	m ² 760.07	m ² 132.23	m ² 2,103.00	m ² 1.00
(運動場敷地 19,539.80 を含む)					(借地)	(借地)	(借地)
小計 101,788.09 m ²					小計 2,236.23 m ²		
合計 104,024.32 m ²							

(2) 建物

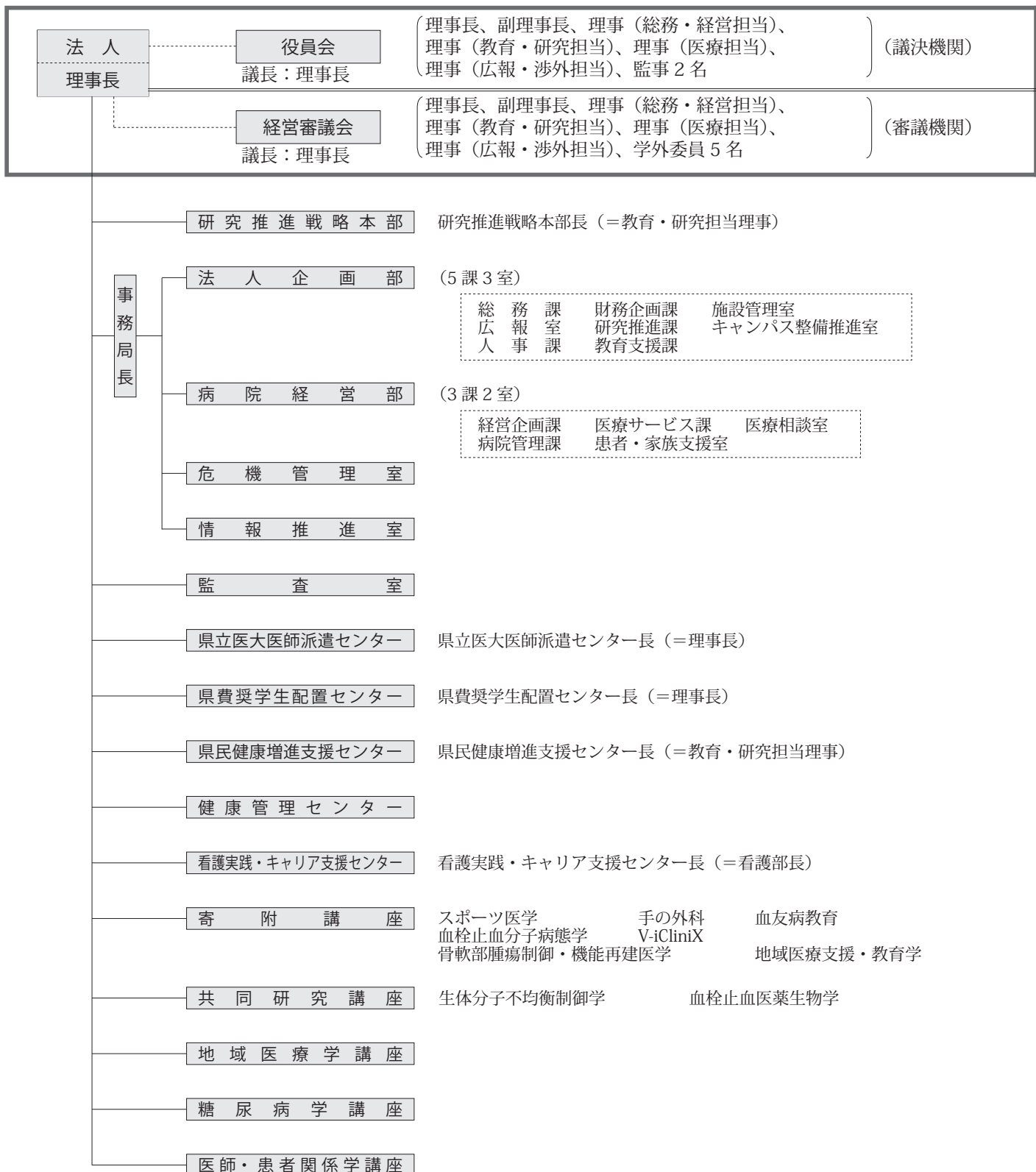
R1.5.1 現在

施設名	延 面 積						施設別比率
	鉄筋 コンクリート造	鉄骨鉄筋 コンクリート造	鉄骨造	鉄筋コンクリート ブロック造	木造	計	
大学	m ² 41,284.36	m ² 0.00	m ² 2,329.29	m ² 486.39	m ² 0.00	m ² 44,100.04	% 29.73
附属病院	10,717.53	68,561.67	22,426.23	177.89	0.00	101,883.32	68.69
保育園	0.00	0.00	1,068.38	0.00	0.00	1,068.38	0.72
巖櫃会館	1,117.49	0.00	0.00	0.00	0.00	1,117.49	0.75
ゲストハウス	0.00	0.00	0.00	0.00	158.43	158.43	0.11
合 計	53,119.38	68,561.67	25,823.90	664.28	158.43	148,327.66	100.00
構造比率	% 35.81	% 46.22	% 17.41	% 0.45	% 0.11	% 100.00	

4. 公立大学法人奈良県立医科大学 組織機構図

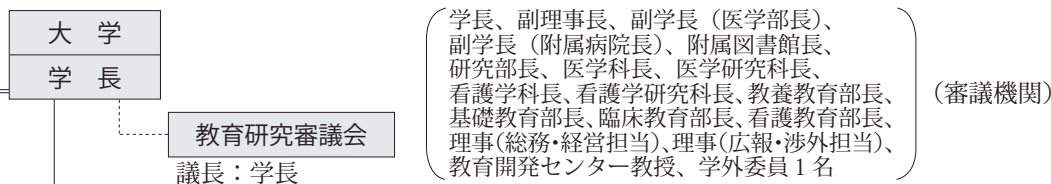
R1.5.1 現在

【法人運営組織】



【大学運営組織】

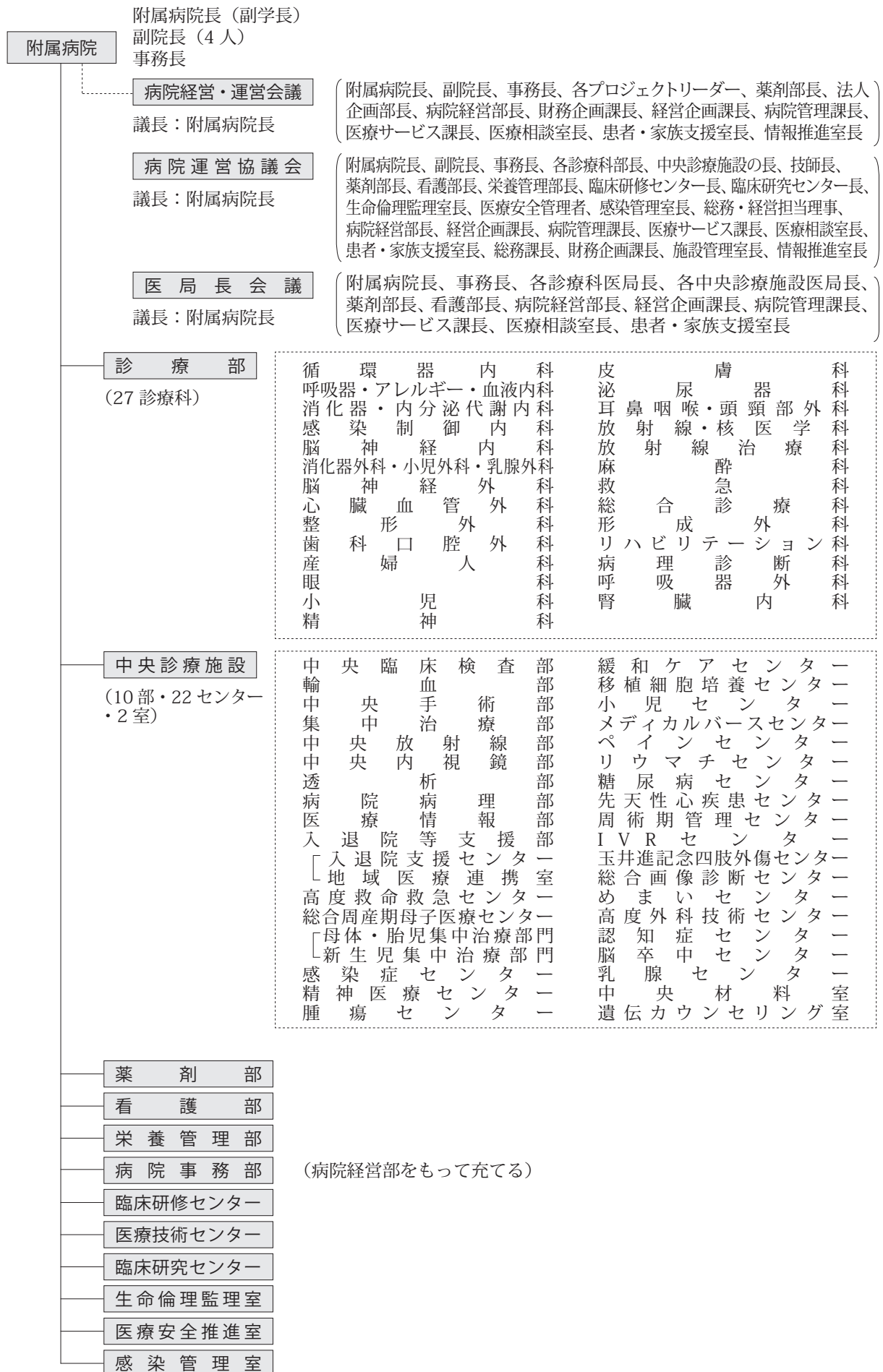
法人（大学）の意思決定



【大学：教育研究組織】



【附属病院：組織】



5. 役 職 員

(1) 役職員名簿

R1. 5. 1 現在

法 人	人				
○ 役 員					
理 事 長	細 井 裕 司				県民健康増進支援センター センター長(兼) 理事(兼) コーディネーター 特任准教授
副 理 事 長	林 洋 彦				車 谷 典 男 富 岡 公 子
理 事 (総務・経営担当)	西 浦 嘉 彦				
事務局長(兼)					健康管理センター センター長 病院教授
理 事 (教育・研究担当)	車 谷 典 男				古 西 満
理 事 (医療担当)	古 家 仁 子				
理 事 (兼) (広報・渉外担当)	細 井 裕 司				看護実践・キャリア支援センター センター長(兼) 看護部長 講師
監 事	篠 藤 敦 子				高 橋 美 雪 洩 谷 洋 子
	山 田 陽 彦				
○ 法人特命企画官					
	今 村 知 明				寄 附 講 座
	ボルスタッフ フランチェスコ				スポーツ医学 教授(寄附講座)(兼) 講師(寄附講座)
					田 中 康 仁 井 上 和 也 面 川 庄 平 川 緑 倫 嶋 緑 倫 嶋 緑 倫 佐 藤 匠 徳 朴 木 寛 弥 西 尾 健 治 瓦 谷 英 人
○ 経営審議会委員					
理 事 長	細 井 裕 司				
副 理 事 長	林 洋 彦				
理 事 (総務・経営担当)	西 浦 嘉 彦				
理 事 (教育・研究担当)	車 谷 典 男				
理 事 (医療担当)	古 家 仁 子				
理 事 (兼) (広報・渉外担当)	細 井 裕 司				
学 外 委 員	相 田 俊 夫				共 同 研 究 講 座
学 外 委 員	大 畑 建 治				生体分子不均衡制御学 教授(共同研究講座)
学 外 委 員	川 副 浩 平				永 森 収 志 嶋 緑 倫
学 外 委 員	橋 本 周 理				血栓止血医薬生物学 教授(共同研究講座)(兼)
学 外 委 員	松 村 理 司				
法 人 企 画 部					地 域 医 療 学 講 座
法人企画部長	宇 都 宮 弘 和				地 域 医 療 学 教授(地域医療学講座)
総務課長広報室長(兼)	中 谷 好 伸				赤 井 靖 宏 周 藤 俊 治
人事課長	大 峯 朝 記				
財務企画課長	上 野 聡 行				糖 尿 病 学 講 座
研究推進課長	福 益 孝 行				糖 尿 病 学 教授(糖尿病学講座)(兼)
教育支援課長	奥 田 稔 和				石 井 均
施設管理室長事務取扱	宇 都 宮 弘 和				
キャンパス整備推進室長事務取扱	宇 都 宮 弘 和				医 師 ・ 患 者 関 係 学 講 座
					医 師 ・ 患 者 関 係 学 教授(医師・患者関係学講座)
					石 井 均 皆 藤 章
					大 学
					学 長 細 井 裕 司
					副 学 長 (医学部長) 車 谷 典 男
					副 学 長 (附属病院長) 古 家 仁 子
病 院 経 営 部					○ 教育研究審議会委員
病院経営部長	川 田 靖 之				学 長 細 井 裕 司
病院経営部次長	藤 田 和 成				副 理 事 長 林 洋 彦
経営企画課長事務取扱	藤 田 和 成				副 学 長 (医学部長) 車 谷 典 男
病院管理課長	畑 浩 之				副 学 長 (附属病院長) 古 家 仁 子
医療サービス課長	鶴 谷 幸 彦				附属図書館長(兼) 車 谷 典 男
医療相談室長 患者・家族支援室長(兼)	鈴 木 小 百 合				研 究 部 長 嶋 緑 倫
					医 学 科 長 (兼) 車 谷 典 男
危 機 管 理 室					医 学 研 究 科 長 (兼) 嶋 緑 倫
室 長 (兼)	中 谷 好 伸				看 護 学 科 長 石 澤 美 保 子
					看 護 学 研 究 科 長 (兼) 石 澤 美 保 子
情 報 推 進 室					教 養 教 育 部 長 酒 井 宏 水
室 長	熊 谷 行 訓				基 礎 教 育 部 長 吉 栖 正 典
					臨 床 教 育 部 長 長 谷 川 正 俊
監 査 室					看 護 教 育 部 長 川 上 あ ず さ
室 長	鷹 堅 覚				理 事 (総務・経営担当) 西 浦 嘉 彦
					理 事 (兼) (広報・渉外担当) 細 井 裕 司
県立医大医師派遣センター					教 育 開 発 セ ン タ ー 教 授 藤 本 真 一
センター長事務取扱 理事長	細 井 裕 司				学 外 委 員 池 田 康 夫
県費奨学生配置センター					
センター長事務取扱 理事長	細 井 裕 司				

○部 局 長

附属図書館長(兼)
研究部長
医学科長(兼)
医学研究科長(兼)
看護学科長
看護学研究科長(兼)
教養教育部長
基礎教育部長
臨床教育部長
看護教育部長
学長補佐 (地域医療・大学連携担当)
学長補佐 (未来への飛躍基金担当)
学長補佐 (学生支援担当)

車 谷 典 男
嶋 谷 緑 倫
車 谷 典 男
嶋 谷 緑 倫
石 澤 美 保 子
石 澤 美 保 子
酒 井 宏 正
吉 栖 正 正
川 上 谷 俊
川 上 あ ず さ
川 口 昌 彦
吉 治 仁 志
石 指 宏 通

医 学 部

教 養 教 育 部 門

哲 学 准教授
物 理 学 教育教授
講 師
化 学 教授
准教授
生 物 学 教授
講 師
数 学 教授
臨 床 英 語 教授
准教授
講 師
保 健 体 育 教育教授
未 来 基 礎 医 学 研究准教授

池 邊 寧
藤 本 雅 文
高 木 拓 明
酒 井 宏 水
山 本 惠 三
永 瀧 昭 良
小 林 千 余 子
藤 本 圭 男
ポルスタッド フランチェスコ
マシソン ポール
プロジェクト マイケル
石 指 宏 通
森 英 一 朗

医 学 科

(基 礎 医 学)

解 剖 学 第 一 教授
講 師
学 内 講 師
解 剖 学 第 二 教授
准教授
講 師
生 理 学 第 一 教授
准教授
生 理 学 第 二 教授
生 化 学 教授
学 内 講 師
病 原 体 ・ 感 染 防 御 医 学 教授
准教授
微 生 物 感 染 症 学 教授
講 師
免 疫 学 教授
講 師
薬 理 学 教授
講 師
疫 学 ・ 予 防 医 学 教授
准教授
講 師
公 衆 衛 生 学 教授
准教授
講 師
学 内 講 師
法 医 学 准教授
講 師
分 子 病 理 学 教授
講 師
発 生 ・ 再 生 医 学 教授
講 師

西 堀 真 弓
堀 井 井 謹 子
東 中 明 生
和 辰 巳 晃 子
田 中 巳 達 英
齋 藤 康 彦
豊 田 ふ み よ
堀 江 恭 二
高 澤 伸 子
廣 中 安 佐 子
吉 川 正 幸 輝
王 寺 野 寿 一
矢 中 野 竜 一
伊 藤 利 洋
北 吉 栖 正 典
中 平 毅 一
佐 伯 圭 賢 吾
大 林 野 修
秦 村 知 明
今 羽 龍 和 子
赤 野 岡 本 左 承
粕 田 田 承 利
工 藤 安 弘
國 安 弘 智
笹 平 本 智
栗 小 林 久 基 人

血 栓 止 血 先 端 医 学 准 教 授
(臨 床 医 学)
循 環 器 内 科 学 教 授
講 師
講 師
学 内 講 師
学 内 講 師
学 内 講 師
腎 臟 内 科 学 教 授
講 師
呼 吸 器 内 科 学 教 授
准 教 授
講 師
講 師
内 科 学 第 三 教 授
准 教 授
講 師
講 師
講 師
学 内 講 師
学 内 講 師
学 内 講 師
学 内 講 師
腦 神 經 内 科 学 教 授
准 教 授
講 師
講 師
消 化 器 ・ 総 合 外 科 学 教 授
准 教 授
准 教 授
講 師
学 内 講 師
学 内 講 師
学 内 講 師
学 内 講 師
腦 神 經 外 科 学 教 授
病 院 教 授
准 教 授
講 師
学 内 講 師
学 内 講 師
学 内 講 師
胸 部 ・ 心 臟 血 管 外 科 学 教 授
病 院 教 授
講 師
学 内 講 師
学 内 講 師
整 形 外 科 学 教 授
准 教 授
講 師
学 内 講 師
学 内 講 師
学 内 講 師
産 婦 人 科 学 教 授
准 教 授
講 師
講 師
眼 科 学 教 授
准 教 授
講 師
講 師
小 児 科 学 教 授
准 教 授
講 師
精 神 医 学 教 授
准 教 授
講 師

辰 巳 公 平
斎 藤 能 彦
川 上 藤 利
渡 邊 能 利
岡 山 真
添 山 悟
尾 田 恒
尾 上 健
鶴 屋 謙
室 島 一
山 内 郎
天 野 雄
本 津 人
吉 治 志
美 登 路 仁
守 屋 圭
浪 崎 正
赤 羽 た け
鍛 治 孝
高 谷 広
杉 高 和
形 泉 博
桐 山 敬
庄 澤 利
池 田 直
久 堀 博
野 見 宇
若 松 幸
松 中 裕
朴 川 永
中西 文
山 村 修
田 田 良
田 村 健
谷 口 繁
澤 端 章
横 山 晋
阿 部 毅
川 口 剛
谷 中 康
宗 本
小 川 宏
重 藤 宏
小 井 真
川 林 浩
馬 口 龍
成 瀨 誠
緒 方 勝
上 西 奈
吉 嶋 哲
川 上 匡
野 山 緑
岸 武 雅
芳 牧 之 段 浩 樹 学

	講師	山	内	崇	平
	学内講師	太	田	豊	作
	学内講師	鳥	塚	通	弘
	学内講師	紀	本	創	兵
皮膚科学	教授	浅	田	秀	夫
	講師	宮	川		史
泌尿器科学	教授	藤	本	清	秀
	准教授	田	中	宣	道
	講師	青	木	勝	也
	学内講師	島	本	一	匡
	学内講師	穴	井		智
耳鼻咽喉・頭頸部外科学	教授	北	原	裕	和
	准教授	上	村	一	郎
	講師	太	田	忠	己
	講師	西	村	哲	範
	学内講師	山	下	佳	郎
	特任講師	和	田	公	彦
放射線医学	教授	吉	川	利	洋
	准教授	田	中	高	広
	講師	伊	藤	英	成
	講師	西	尾	福	成
放射線腫瘍医学	学内講師	尾	橋	川	正
	教授	長	谷	川	勇
	准教授	浅	川	浦	幸
	講師	三	森	昌	俊
	特任教授	森	川	口	中
麻酔科学	教授	川	田	林	浩
	講師	田	林	西	尾
	講師	林	西	本	清
総合医療学	教授	西	吉	本	充
	講師	吉	杉	本	忠
	特任教授	桐	山	川	上
口腔外科学	教授	桐	山	川	生
	講師	山	川	柳	堀
	学内講師	川	柳	堀	福
	学内講師	柳	堀	福	前
救急医学	教授	福	前	瓜	園
	講師	前	瓜	園	林
	講師	瓜	園	林	山
病理診断学	教授	大	島	藤	中
	准教授	大	島	藤	中
	講師	大	島	藤	中
	講師	大	島	藤	中
看護学					
人間発達学	教授	飯	田	順	三
臨床病態医学	教授	濱	田	明	薫
基礎看護学	教授	松	田	美	保
成人急性期看護学	教授	石	澤	美	保
	講師	長	田	中	登
成人慢性期看護学	教授	田	中	登	千
	講師	石	橋	千	茂
	講師	升	田	見	一
老年看護学	教授	澤	見	上	あ
小児看護学	教授	川	上	代	仁
	講師	小	山	五	十
母性看護学	教授	山	五	十	嵐
	講師	山	五	十	嵐
	講師	山	五	十	嵐
	講師	山	五	十	嵐
精神看護学	教授	森	上	風	橋
	講師	森	上	風	橋

在宅看護学	講師	奥	田	淳	
公衆衛生看護学	教授	小	竹	実	
	教授	栗	田	美	
	准教授	城	島	子	
	講師	坂	東	美	
		小	松	子	
				代	
附属病院					
	附属病院長	古	家	仁	
	副院長	吉	川	彦	
	副院長	中	瀬	之	
	副院長	田	中	仁	
	副院長	高	橋	雪	
	事務長	川	田	之	
○診療部各科部長					
循環器内科	部長	齋	藤	能	彦
呼吸器・アレルギー・血液内科	部長	室	治	繁	郎
消化器・内分泌代謝内科	部長	吉	笠	仁	志
感染制御内科	部長	三	江	桂	一
脳神経内科	部長	杉	江	和	馬
消化器外科・小児外科・乳腺外科	部長	庄		雅	之
脳神経外科	部長	中	瀬	裕	之
心臓血管外科	部長	谷	口	繁	樹
整形外科	部長	田	中	康	仁
歯科口腔外科	部長	桐	中	田	昭
産婦人科	部長	小	林	方	浩
眼 科	部長	緒	嶋	奈	保
小 児 科	部長	嶋	岸	緑	倫
精 神 科	部長	浅	田	年	史
皮 膚 科	部長	藤	本	秀	夫
泌尿器科	部長	北	本	清	秀
耳鼻咽喉・頭頸部外科	部長	吉	川	公	正
放射線・核医学科	部長	長	谷	川	正
放射線治療科	部長	川	口	昌	俊
麻 酔 科	部長	福	島	英	賢
救 急 科	部長	西	尾	健	治
総合診療科	部長	桑	原	理	充
形成外科	部長	城	戸	頭	誠
リハビリテーション科	部長	堀	川	林	博
	病院教授	堀	川	林	千
病理診断科	部長	大	澤	章	和
呼吸器外科	部長	鶴			
腎臓内科	部長				
中央診療施設					
中央臨床検査部	部長	山	崎	正	晴
	講師	水	野	麗	子
	技師長	田	中	雅	忍
輸 血 部	部長	松	本	中	忍
	技師長(兼)	田	中	裕	之
中央手術部	部長(兼)	中	瀬	淳	二
	講師	惠	川	昌	彦
集中治療部	部長(兼)	川	口	上	己
	病院教授	井	吉	川	濱
中央放射線部	部長(兼)	吉	高	公	潤
	病院教授	高	吉	尾	正
	技師長	山	小	純	一
中央内視鏡部	部長	山	大	文	一
	病院教授	小	倉	康	志
	学内講師	大	倉	和	彦
透 析 部	部長(兼)	鶴	屋	龍	生
	病院教授	米	田	千	穂
病院病理部	部長(兼)	大	林		

医療情報部	技師長(兼)	田中忍
入退院等支援部	部長 病院教授	玉本哲郎
入退院管理センター	部長(兼)	古家仁
地域医療連携室	センター長(兼) 教授	藤本清秀
高度救命救急センター	室長(兼) 教授	吉治仁志
総合周産期母子医療センター	センター長	福島英賢
	センター長(兼)	古家仁
	病院教授(新生児集中治療部門)	西久保敏也
	講師	内田優美子
感染症センター	センター長 教授	三笠圭一
	病院教授	笠原敬
精神医療センター	センター長(兼) 教授	岸本年史
腫瘍センター	センター長 病院教授	神野正敏
緩和ケアセンター	センター長 病院教授	四宮敏章
移植細胞培養センター	センター長(兼) 教授	松本雅則
小児センター	センター長(兼) 教授	嶋緑倫
メディカルパスセンター	センター長(兼) 教授	小林浩
ペインセンター	センター長(兼) 教授	川口昌彦
	病院教授	渡邊恵介
リウマチセンター	センター長(兼) 教授	田中康仁
	病院教授	藤本隆均
糖尿病センター	センター長(兼) 教授	石井
	(医師・患者関係学講座)	
先天性心疾患センター	センター長 教授	上村秀樹
周術期管理センター	センター長(兼) 教授	川口昌彦
IVRセンター	センター長(兼) 教授	吉川公彦
玉井進記念四肢外傷センター	センター長(兼) 教授	田中康仁
	准教授	河村健二
総合画像診断センター	センター長 病院教授	平井都始
	講師	丸上永晃
めまいセンター	センター長(兼) 教授	北原紘
	病院教授	山中敏彰
認知症センター	センター長(兼) 教授	岸本年史
脳卒中センター	センター長(兼) 教授	中瀬裕之
	病院教授	本山靖
	病院教授	斎藤こずえ
乳腺センター	准教授	平尾具子
中央材料室	室長(兼) 教授	中瀬裕之
遺伝カウンセリング室	室長(兼) 病院教授	西久保敏也
薬 剤 部		
	部長	辻力夫
	副部長	吉川一吾
	副部長	池田和
	副部長心得	小川恵美子
看 護 部		
	部長	高橋美雪
	副部長	西浦聡子
	副部長	辻本啓子
	副部長	錦三恵子
	副部長	福山麻里
	副部長	森田冴子
	副部長	八木尚美
	副部長	橋口智子
栄 養 管 理 部		
	部長 病院教授	吉川雅則
臨床研修センター		
	センター長(兼) 教授(地域医療学講座)	赤井靖宏
医療技術センター		
	センター長(兼)	古家仁
	参与	萱島道徳

臨床研究センター		
	センター長 教授	笠原正登
生命倫理監理室		
	室長(兼) 教授	吉栖正典
医療安全推進室		
	室長 准教授	辰巳満俊
感 染 管 理 室		
	室長(兼) 病院教授	笠原敬
先端医学研究機構		
機 構 長(兼)	研究部長	嶋 緑 倫
ラジオアイソトープ実験施設	准教授	菓子野元郎
組換えDNA実験施設	教育教授	杉浦重樹
動物実験施設	教育教授	久保 薫
セ ン タ ー		
教育開発センター		
センター長事務取扱	学長	細井裕司
副センター長(兼)	医学部長	車谷典男
	教授	藤本真一
国際交流センター		
センター長(兼)	医学部長	車谷典男
女性研究者・医師支援センター		
センター長(兼)	医学部長	車谷典男
マネージャー	講師	須崎康恵
産学官連携推進センター		
センター長(兼)	研究部長	嶋 緑 倫
	研究教授	細川洋治
	研究教授	梅田智広
	講師	遊佐敏彦
MBT(医学を基礎とするまちづくり)研究所		
所長事務取扱	学長	細井裕司
スポーツ医学研究センター		
センター長(兼)	教授	田中康仁
陽子線がん治療研究センター		
センター長(兼)	教授	長谷川正俊
大和漢方医学薬学センター		
センター長事務取扱	学長	細井裕司
副センター長(兼)	理事(総務・経営担当)	西浦嘉彦
コーディネーター	特任教授	三谷和男
血栓止血研究センター		
センター長(兼)	教授	嶋 緑 倫
IVR研究センター		
センター長(兼)	教授	吉川公彦

(2) 大学院研究指導教員名簿

博士課程

R1.7.1 現在

専攻	主科目	研究指導教員
地域医療・健康医学	疫 学	佐伯 圭吾・大林 賢史
	公衆衛生学	今村 知明・赤羽 学・野田 龍也
	総合臨床病態学	西尾 健治・神野 正敏・藤本 隆
	精神医学行動神経科学	岸本 年史・飯田 順三・芳野 浩樹・牧之段 学
	画像診断・低侵襲治療学	吉川 公彦・田中 利洋・平井都始子
	放射線腫瘍学	長谷川正俊・玉本 哲郎
	陽子線腫瘍学	吉村 均
	法医学	粕田 承吾
	病態解析医学・医療教育学	藤本 眞一
	臨床実証医学	笠原 正登
	M B T 学	梅田 智広
	発生・発達医学	西久保敏也
発生・成育医学	嶋 緑倫・野上 恵嗣	
生体情報・病態制御医学	脳神経生理学	齋藤 康彦・豊田ふみよ
	臨床検査医学	山崎 正晴
	生体高分子学	酒井 宏水・山本 恵三
	生体防御・修復医学	吉川 正英・王寺 幸輝
	微生物学	矢野 寿一・中野 竜一
	免疫学	伊藤 利洋・北島 正大
	病理診断学	大林 千穂・畠山 金太・藤井 智美
	救急病態制御医学	福島 英賢
	侵襲制御・生体管理医学	川口 昌彦・井上 聡己・林 浩伸
	情報伝達薬理学	吉栖 正典
	感染病態制御医学	笠原 敬
	臨床神経モニター学	川口 昌彦・中瀬 裕之・本山 靖・林 浩伸
	先端画像下治療開発応用学	穴井 洋
	Human InformatiX 学	佐藤 匠徳
	消化器病態・内分泌機能制御医学	吉治 仁志・美登路 昭・赤羽たけみ・浪崎 正・宇屋 圭
	糖尿病学	石井 均
	呼吸器・血液病態制御医学	室 繁郎・濱田 薫・吉川 雅則・山内 基雄・天野 逸人・本津 茂人
	循環器病態制御医学	齋藤 能彦・大倉 宏之
	腎臓病態制御医学	鶴屋 和彦
	視覚統合医学	緒方奈保子
皮膚病態医学	浅田 秀夫・桑原 理充・宮川 史	
女性生殖器病態制御医学	小林 浩・川口 龍二	
発生・再生医学	栗本 一基	
生体分子・機能再建医学	機能形態学	和中 明生・辰巳 晃子
	臨床神経筋病態学	杉江 和馬・形岡 博史・泉 哲石・桐山 敬生・斎藤こずえ
	分子・細胞動態学	永渕 昭良・小林千余子
	分子腫瘍病理学	國安 弘基
	分子生体構造科学	西 真弓・堀井 謹子
	分子医化学	高澤 伸
	循環器システム医科学	中川 修・渡邊 裕介・斎藤 能彦
	相分離生物学	森 英一朗
	生体機能制御機構学	堀江 恭二
	脳神経機能制御医学	中瀬 裕之・朴 永銖・本山 靖・中川 一郎・西村 文彦
	口腔・顎顔面機能制御医学	桐田 忠昭・山川 延宏
	耳鼻咽喉・頭頸部機能制御医学	北原 紘・山中 敏彰
	医療センシング学	山本 貢平・児玉 秀和
	循環・呼吸機能制御医学	谷口 繁樹・澤端 章好
	消化器機能制御医学	庄 雅之・池田 直也・小山 文一・澤井 利夫
	泌尿器病態機能制御医学	藤本 清秀・田中 宣道
	応用医学・医療学	嶋 緑倫・杉浦 重樹・久保 薫・菓子野元郎
	先天性心疾患診断治療学・心臓形態学	上村 秀樹
	血液・血流機能再建医学	松本 雅則
	運動器再建医学	田中 康仁・面川 庄平・朴木 寛弥・城戸 顕・谷口 晃・河村 健二・稲垣 有佐
スポーツ医科学	田中 康仁	

専攻	主 科 目	研 究 指 導 教 員
医科学	高 分 子 医 化 学	酒井 宏水・山本 惠三
	分 子・細 胞 動 態 学	永淵 昭良・小林千余子
	分 子 生 体 構 造 科 学	西 真弓・堀井 謹子
	機 能 形 態 学	和中 明生・辰巳 晃子
	神 經 情 報 伝 達 学	齋藤 康彦
	生 体 機 能 制 御 機 構 学	堀江 恭二
	分 子 医 化 学	高澤 伸
	分 子 腫 瘍 病 理 学	國安 弘基
	微 生 物 学	矢野 寿一・中野 竜一
	感 染 免 疫 学	伊藤 利洋・北島 正大
	情 報 伝 達 薬 理 学	吉栖 正典
	疫 学	佐伯 圭吾・大林 賢史
	公 衆 衛 生 学	今村 知明・赤羽 学・野田 龍也
	循 環 器 病 態 制 御 医 学	齋藤 能彦
	腎 臓 病 態 制 御 医 学	鶴谷 和彦
	呼 吸 器 病 態 制 御 医 学	室 繁郎・吉川 雅則・山内 基雄
	脳 神 經 機 能 制 御 医 学	中瀬 裕之・本山 靖
	循 環・呼 吸 機 能 制 御 医 学	谷口 繁樹
	運 動 器 再 建 医 学	田中 康仁・面川 庄平・朴木 寛弥・城戸 顕・ 谷口 晃・河村 健二
	小 児 病 態 制 御 医 学	嶋 緑倫・野上 恵嗣
	皮 膚 病 態 医 学	浅田 秀夫・桑原 理充・宮川 史
	画 像 診 断・低 侵 襲 治 療 学	吉川 公彦・田中 利洋
	放 射 線 腫 瘍 学	長谷川正俊
	侵 襲 制 御・生 体 管 理 医 学	川口 昌彦・井上 聡己・林 浩伸
	口 腔・顎 顔 面 病 態 医 学	桐田 忠昭・山川 延宏
	病 理 診 断 学	大林 千穂・畠山 金太・藤井 智美
	臨 床 検 査 医 学	山崎 正晴
	循 環 器 シ ス テ ム 医 科 学	中川 修・渡邊 裕介・齋藤 能彦
	応 用 医 学・医 療 学	嶋 緑倫・杉浦 重樹・久保 薫・菓子野元郎
	ス ポ ー ツ 医 科 学	田中 康仁
	医 療 経 営 学	今村 知明・赤羽 学・野田 龍也
	臨 床 神 經 モ ニ タ ー 学	川口 昌彦・中瀬 裕之・本山 靖・林 浩伸
	M B T 学	梅田 智広
医 療 教 育 学	藤本 眞一	
先 端 画 像 下 治 療 開 発 応 用 学	穴井 洋	
発 生・発 達 医 学	西久保敏也	
臨 床 実 証 医 学	笠原 正登	
生 体 分 子 不 均 衡 制 御 学	永森 収志	
陽 子 線 腫 瘍 学	吉村 均	
相 分 離 生 物 学	森 英一朗	
看護学	健 康 科 学	(心と脳の発達学) 飯田 順三 (環境病態学) 濱田 薫
	基 礎 看 護 学	松田 明子
	成 人 看 護 学	石澤美保子・田中 登美
	高 齢 者 看 護 学	澤見 一枝
	小 児 看 護 学	川上あずさ
	女 性 健 康・助 産 学	(女性健康学) 五十嵐稔子・(周産期看護学) 五十嵐稔子
	精 神 看 護 学	風間 眞理
	在 宅 看 護 学	小竹久実子
	公 衆 衛 生 看 護 学	城島 哲子・坂東 春美
	周 麻 酔 期 看 護 学	川口 昌彦・井上 聡己

7. 歴代校長・学長

初代校長	今村 荒男	昭20・4・21～21・12・28
(事務取扱)	緒方 準一	昭21・12・28～22・4・16
第二代校長	岩永 仁雄	昭22・4・16～22・6・18
初代学長	岩永 仁雄	昭22・6・18～27・1・23
第二代学長	吉松 信宝	昭27・1・23～35・2・8
第三代学長	緒方 準一	昭35・2・9～47・2・8
第四代学長	安澄 権八郎	昭47・2・9～47・5・31
(事務取扱)	鳥居 健三	昭47・6・1～47・8・4
第五代学長	石川 昌義	昭47・8・5～51・8・4
第六代学長	堀 浩	昭51・8・5～52・11・24
(事務取扱)	梅垣 健三	昭52・11・25～53・4・17
第七代学長	梅垣 健三	昭53・4・18～59・3・31
第八代学長	増原 建二	昭59・4・1～平2・3・31
第九代学長	石川 兵衛	平2・4・1～6・3・31
第十代学長	辻井 正	平6・4・1～10・3・31
第十一代学長	岡島 英五郎	平10・4・1～13・6・30
(事務取扱)	市島 國雄	平13・7・1～13・9・30
第十二代学長	吉田 修	平13・10・1～20・3・31
第十三代学長	吉岡 章	平20・4・1～26・3・31
第十四代学長	細井 裕司	平26・4・1～

8. 歴代部局長

医学部長 (平19.4.1から副学長兼務)

大西 武雄	平18・4・1～20・3・31
喜多 英二	平20・4・1～26・3・31
車谷 典男	平26・4・1～

附属病院長 (平19.4.1から副学長兼務)

緒方 準一	昭20・7・1～31・5・31
中島 佐一	昭31・6・1～41・5・31
宝来 善次	昭41・6・1～44・9・8
(事務代理)	
堀 浩	昭44・7・16～44・9・8
(事務取扱)	
堀 浩	昭44・9・9～45・3・31
吉田 邦男	昭45・4・1～47・3・31
堀 浩	昭47・4・1～51・3・31
増原 建二	昭51・4・1～55・3・31
白鳥 常男	昭55・4・1～59・3・31
石川 兵衛	昭59・4・1～63・3・31
辻井 正	昭63・4・1～平4・3・31
一條 元彦	平4・4・1～6・3・31
岡島英五郎	平6・4・1～8・3・31
松永 喬	平8・4・1～10・3・31
打田日出夫	平10・4・1～12・3・31
中野 博重	平12・4・1～12・11・14
平尾 佳彦	平12・11・15～12・12・31
(事務取扱)	
榊 壽右	平13・1・1～14・3・31
吉岡 章	平14・4・1～16・3・31

高倉 義典	平16・4・1～19・3・31
榊 壽右	平19・4・1～24・3・31
古家 仁	平24・4・1～

附属図書館長

鎌倉 勝夫	昭25・10・31～37・10・31
小谷 尚三	昭37・11・1～39・8・31
中馬 一郎	昭39・9・1～40・3・31
柴田 衛敏	昭40・4・1～44・3・31
黒河内 寛	昭44・4・1～46・3・31
北村 旦	昭46・4・1～48・3・31
榎 泰義	昭48・4・1～52・3・31
鳥居 健三	昭52・4・1～52・12・6
高楠 彰	昭52・12・7～53・3・31
(事務取扱)	
高楠 彰	昭53・4・1～55・3・31
螺良 義彦	昭55・4・1～59・3・31
荒木 恒治	昭59・4・1～61・3・31
福井 弘	昭61・4・1～63・3・31
神谷 知彌	昭63・4・1～平2・3・31
廣田 忠臣	平2・4・1～6・3・31
山下 節義	平6・4・1～8・3・31
米増 國雄	平8・4・1～12・3・31
中嶋 敏勝	平12・4・1～16・3・31
宮川 幸子	平16・4・1～18・3・31
中村 忍	平18・4・1～20・3・31

平尾 佳彦 平 20・4・1～24・3・31
木村 弘 平 24・4・1～28・3・31
車谷 典男 平 28・4・1～

研究部長

喜多 英二 平 16・4・1～18・3・31
東野 義之 平 18・4・1～20・3・31
大崎 茂芳 平 20・4・1～21・3・3
喜多 英二 平 21・3・4～21・3・31
小西 登 平 21・4・1～26・3・31
嶋 緑倫 平 26・4・1～

医学科長

吉原紘一朗 平 16・4・1～18・3・31
車谷 典男 平 28・4・1～

医学研究科長

嶋 緑倫 平 28・4・1～

看護学科長

伊藤 明子 平 16・4・1～18・3・31
(兼看護教育部長)
飯田 順三 平 20・4・1～26・3・31
軸丸 清子 平 26・4・1～28・3・31
飯田 順三 平 28・4・1～30・3・31
石澤美保子 平 30・4・1～

看護学研究科長

飯田 順三 平 28・4・1～30・3・31
石澤美保子 平 30・4・1～

教養教育部長 (昭 57.3.31 までは進学主事、平 6.3.31 までは進学部長、平 27.3.31 までは一般教育部長)

大原 親 昭 48・6・1～49・4・30
鳥居 健三 昭 49・5・1～50・4・30
池邊 義教 昭 50・5・1～51・4・30
春日 隆 昭 51・5・1～52・4・30
河野洋太郎 昭 52・5・1～53・4・30
野津 敬一 昭 53・5・1～54・4・30
山本 稔 昭 54・5・1～55・3・31
鳥居 健三 昭 55・4・1～56・3・31
池邊 義教 昭 56・4・1～57・3・31
鳥居 健三 昭 57・4・1～59・3・31
野津 敬一 昭 59・4・1～63・3・31
池邊 義教 昭 63・4・1～平 4・3・31
河野洋太郎 平 4・4・1～6・3・31
高橋 賢博 平 6・4・1～8・3・31
伊藤 善將 平 8・4・1～10・3・31
大西 武雄 平 10・4・1～14・3・31
豊田 剛 平 14・4・1～16・3・31
大崎 茂芳 平 16・4・1～20・3・31
大西 武雄 平 20・4・1～22・3・31
大崎 茂芳 平 22・4・1～24・3・31
平井 國友 平 24・4・1～27・3・31
酒井 宏水 平 27・4・1～

基礎教育部長

高木 都 平 16・4・1～20・3・31
羽竹 勝彦 平 20・4・1～24・3・31
車谷 典男 平 24・4・1～26・3・31
吉栖 正典 平 26・4・1～

臨床教育部長

平尾 佳彦 平 16・4・1～20・3・31
古家 仁 平 20・4・1～24・3・31
福井 博 平 24・4・1～26・3・31
上野 聡 平 26・4・1～28・3・31
吉川 公彦 平 28・4・1～30・3・31
長谷川正俊 平 30・4・1～

看護教育部長

守本とも子 平 18・4・1～20・3・31
脇田満里子 平 20・4・1～24・3・31
軸丸 清子 平 24・4・1～26・3・31
石澤美保子 平 26・4・1～30・3・31
川上あずさ 平 30・4・1～

学生部長

妻鹿 友一 昭 39・4・1～43・3・31
伊藤 登 昭 43・4・1～44・4・24
螺良 義彦 昭 44・4・25～44・11・25
(事務取扱)
鳥居 健三 昭 44・12・9～46・12・8
黒河内 寛 昭 46・12・9～48・12・8
螺良 義彦 昭 48・12・9～50・12・8
檉葉 周三 昭 50・12・9～52・12・6
榎 泰義 昭 52・12・7～53・3・31
(事務取扱)
榎 泰義 昭 53・4・1～57・3・31
高楠 彰 昭 57・4・1～59・3・31
村田 吉郎 昭 59・4・1～61・3・31
山本 浩司 昭 61・4・1～63・3・31
廣田 忠臣 昭 63・4・1～平 2・3・31
神谷 知彌 平 2・4・1～6・3・31
日浅 義雄 平 6・4・1～10・3・31
山本 浩司 平 10・4・1～12・3・31
市島 國雄 平 12・4・1～14・3・31
吉原紘一朗 平 14・4・1～16・3・31

総合研究施設部長

神谷 知彌 平 6・4・1～8・3・31
小西 陽一 平 8・4・1～12・3・31
東野 義之 平 12・4・1～14・3・31
米増 國雄 平 14・4・1～16・3・31

看護短期大学部長

白井 利彦 平 8・4・1～10・3・31
西信 元嗣 平 10・4・1～12・3・31
森川 肇 平 12・4・1～16・3・31
伊藤 明子 平 16・4・1～18・3・31
守本とも子 平 18・4・1～19・3・31

附属看護専門学校長

緒方 準一 昭29・2・10～35・3・31
中島 佐一 昭35・4・1～41・7・31
宝来 善次 昭41・8・1～43・7・31
石川 昌義 昭43・8・1～45・7・31
福井 定光 昭45・8・1～47・7・31
堀 浩 昭47・8・1～47・8・4
坂本 邦樹 (事務取扱) 昭47・8・5～52・7・31
堀 浩 昭52・8・1～52・11・24
梅垣 健三 (事務取扱) 昭52・11・25～52・12・6
中尾 圭一 (事務取扱) 昭52・12・7～53・3・31
中尾 圭一 昭53・4・1～57・3・31
石川 兵衛 昭57・4・1～59・3・31
一條 元彦 昭59・4・1～63・3・31
内海庄三郎 昭63・4・1～平2・3・31
松永 喬 平2・4・1～6・3・31
玉井 進 平6・4・1～8・3・31
白井 利彦 平8・4・1～10・3・31
西信 元嗣 平10・4・1～11・3・31

事務局長

片岡 忠治 昭21・1・1～28・6・21
福本 政雄 昭28・6・22～32・2・27
岡本 俊雄 昭32・2・28～32・10・11
松本 善裕 昭32・10・12～43・4・30
岡本 俊雄 昭43・5・1～45・12・1
伊藤 和夫 昭45・12・2～46・4・30

竹田 初生 昭46・5・1～46・7・9
三井 善一 昭46・7・10～50・3・31
南本 佐 昭50・4・1～53・3・31
今西 寅二 昭53・4・1～54・3・31
今西 三良 昭54・4・1～55・3・31
藪田 忠昭 昭55・4・1～58・3・31
梅垣 健三 昭58・4・1～58・4・12
榊井 勝 (事務取扱) 昭58・4・13～59・3・31
喜多 清 昭59・4・1～59・11・30
西川 公二 昭59・12・1～60・3・31
木岡 源次 昭60・4・1～61・3・31
八田 栄次 昭61・4・1～63・3・31
安曾田 豊 昭63・4・1～平元・3・31
力馬 通郎 平元・4・1～2・3・31
大森光三郎 平2・4・1～4・7・31
岩本 正雄 (事務取扱) 平4・8・1～5・3・31
辻 政紀 (事務取扱) 平5・4・1～8・3・31
福井 常夫 平8・4・1～10・3・31
大倉 潔 平10・4・1～12・3・31
安川 宣彦 平12・4・1～14・6・6
上森 健廣 平14・6・7～16・3・31
松田 光央 平16・4・1～18・3・31
瓜生 英明 平18・4・1～19・3・31
山下 昌宏 平26・4・1～28・3・31
中川 裕介 (事務取扱) 平28・4・1～29・3・31
杉山 孝 (事務取扱) 平29・4・1～31・3・31
西浦 嘉彦 (事務取扱) 平31・4・1～

9. 歴代役員

理事長

吉田 修 平19・4・1～20・3・31
吉岡 章 平20・4・1～26・3・31
細井 裕司 平26・4・1～

副理事長

瓜生 英明 平19・4・1～19・5・10
西尾 哲夫 平19・5・11～23・3・31
米田 隆史 (職務代理) 平23・4・1～23・5・8
橋本 弘隆 平23・5・9～26・3・31
林 洋 平26・4・1～

理事 (教育・研究担当)

大西 武雄 平19・4・1～20・3・31
喜多 英二 平20・4・1～26・3・31
車谷 典男 平26・4・1～

理事 (医療担当)

榊 壽右 平19・4・1～24・3・31
古家 仁 平24・4・1～

理事 (渉外・企画担当)

吉岡 章 平19・4・1～20・3・31

理事 (広報・渉外担当)

細井 裕司 平24・4・1～26・3・31
細井 裕司 (事務取扱) 平26・4・1～

理事 (総務・経営担当)

瓜生 英明 平19・4・1～22・3・31
米田 隆史 平22・4・1～24・3・31
大西 峰夫 平24・4・1～26・3・31
山下 昌宏 平26・4・1～28・3・31
中川 裕介 平28・4・1～29・3・31
杉山 孝 平29・4・1～31・3・31
西浦 嘉彦 平31・4・1～

監事

當麻 一郎 平19・4・1～21・3・31
石黒 良彦 平19・4・1～22・3・31
伊藤 一博 平21・4・1～25・3・31
瓜生 英明 平22・4・1～24・3・31
山田 陽彦 平24・7・1～
岸 秀隆 平25・4・1～28・6・30
篠藤 敦子 平28・7・1～

10. 名誉教授

発令 番号	氏名	授与年月日
1	今村 荒男	昭35・5・1
2	岩永 仁雄	昭35・5・1
3	吉松 信宝	昭35・5・1
4	上田 常吉	昭35・5・1
5	神谷 貞義	昭46・8・1
6	緒方 準一	昭47・5・1
7	中島 佐一	昭47・5・1
8	安澄権八郎	昭47・7・1
9	伊藤 登	昭48・5・1
10	内海 貞夫	昭48・5・1
11	宝来 善次	昭48・5・1
12	高田 博	昭49・5・1
13	鎌倉 勝夫	昭50・5・1
14	吉田 邦男	昭50・6・1
15	石川 昌義	昭51・10・1
16	妻鹿 友一	昭55・5・1
17	中尾 主一	昭58・10・1
18	春日 隆	昭59・1・1
19	梅垣 健三	昭59・5・1
20	鳥居 健三	昭59・5・1
21	白鳥 常男	昭63・7・12
22	螺良 義彦	昭63・7・12
23	野津 敬一	昭63・7・12
24	濱田 信夫	昭63・7・12
25	村田 吉郎	平元・4・1
26	坂本 邦樹	平元・4・1
27	増原 建二	平2・4・1
28	内海庄三郎	平2・4・1
29	黒河内 寛	平3・4・1
30	池邊 義教	平4・4・1
31	森山 忠重	平5・4・1
32	福井 弘	平5・4・1
33	石川 兵衛	平6・4・1
34	堀 浩	平6・7・1
35	原 富之	平6・7・1
36	荒木 恒治	平7・4・1
37	櫻葉 周三	平7・4・1
38	廣田 忠臣	平7・4・1
39	奥田 孝雄	平7・4・1
40	高楠 彰	平8・4・1
41	榎 泰義	平8・4・1
42	神谷 知彌	平8・4・1
43	井川 玄朗	平8・4・1
44	一條 元彦	平8・4・1
45	伊東 信行	平8・6・1
46	佐藤 壽昌	平8・10・1
47	河野洋太郎	平9・4・1
48	岡島英五郎	平9・4・1
49	北村惣一郎	平9・10・1
50	辻井 正	平10・4・1
51	北村 旦	平10・11・1
52	田端 司郎	平11・4・1

発令 番号	氏名	授与年月日
53	元木澤文昭	平11・4・1
54	日浅 義雄	平11・4・1
55	山下 節義	平11・4・1
56	高柳 哲也	平11・4・1
57	中野 博	平11・4・1
58	松永 喬	平11・4・1
59	玉井 進	平12・4・1
60	西信 元嗣	平12・4・1
61	白井 利彦	平12・4・1
63	小西 陽一	平13・4・1
64	成田 亘啓	平13・4・1
65	打田日出夫	平13・4・1
66	山本 浩司	平14・4・1
67	杉村 正仁	平14・4・1
68	市島 國雄	平15・4・1
69	大石 元	平15・4・1
70	伊藤 善將	平16・4・1
71	高橋 賢博	平16・4・1
72	中嶋 敏勝	平16・4・1
73	三井 宜夫	平16・12・1
74	本田陽太郎	平17・4・1
75	米増 國雄	平17・4・1
76	森川 肇	平17・4・1
77	吉原紘一朗	平18・4・1
78	宮川 幸子	平19・4・1
79	吉田 修	平20・4・1
80	東野 義之	平21・4・1
81	高倉 義典	平21・4・1
82	中村 忍	平21・4・1
83	豊田 剛	平22・4・1
84	大西 武雄	平22・4・1
85	原 嘉昭	平22・4・1
86	石坂 重昭	平23・4・1
87	榊 壽右	平24・4・1
88	大崎 茂芳	平24・4・1
89	高木 都	平24・4・1
90	平尾 佳彦	平24・4・1
91	吉岡 章	平26・4・1
92	喜多 英二	平26・4・1
93	藤村 吉博	平26・4・1
94	澤浦 博	平27・4・1
95	福井 博	平27・4・1
96	脇田満里子	平27・4・1
97	中島 祥介	平28・4・1
98	高橋 幸博	平28・4・1
99	岡本 康幸	平28・4・1
100	上野 聡	平29・4・1
101	木村 弘	平29・4・1
102	小西 登	平29・4・1
103	平井 國友	平30・4・1
104	奥地 一夫	平30・4・1
105	羽竹 勝彦	平31・4・1

第2章 予算・決算

1. 平成30年度 決算

貸借対照表

(平成31年3月31日)

(単位：千円)

資産の部		負債・純資産の部	
固定資産	24,034,190	固定負債	19,827,097
(うち有形固定資産)	(22,534,275)	(うち長期借入金)	(13,624,832)
(うち無形固定資産)	(952,602)	流動負債	13,078,088
(うち投資その他の資産)	(547,313)	(うち未払金)	(7,630,610)
		負債合計	32,905,185
流動資産	12,500,792	資本金	20,066,173
(うち現金及び預金)	(3,795,697)	資本剰余金	△ 14,236,095
(うち未収入金)	(8,121,843)	繰越欠損金	△ 2,200,282
		(うち当期総未処分利益)	△ 71,175
		純資産合計	3,629,797
資産合計	36,534,982	負債純資産合計	36,534,982

注：千円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない箇所があります。

損益計算書

(平成29年度・平成30年度対比)

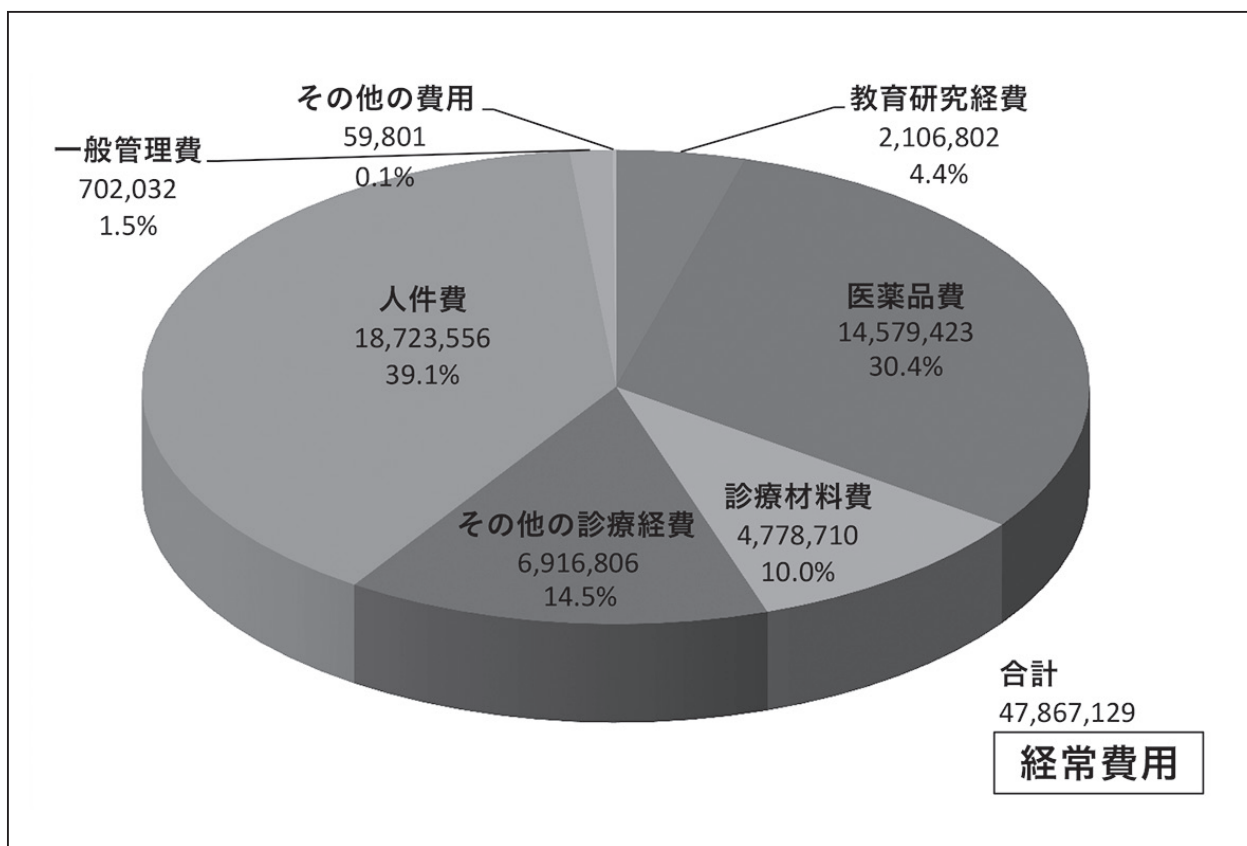
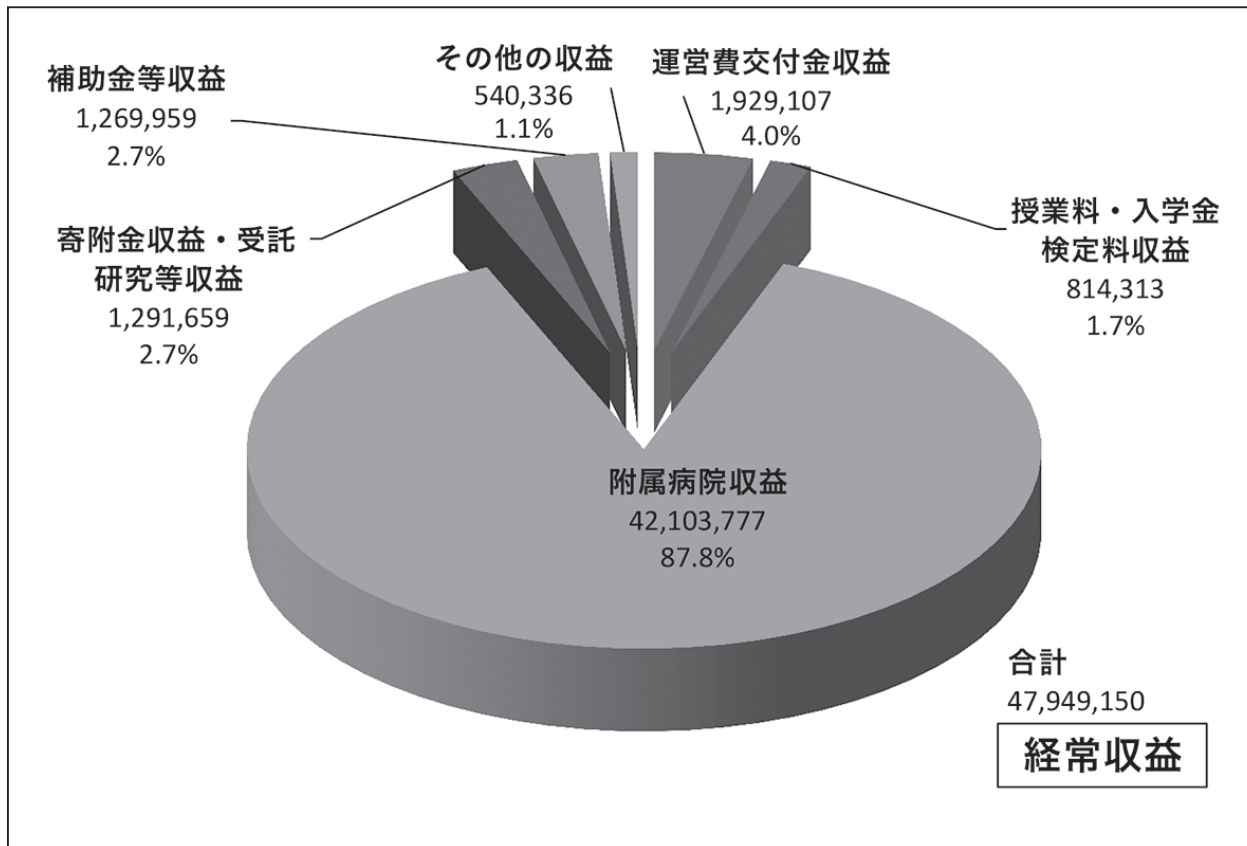
(単位：千円)

項目	平成29年度	平成30年度	増減
経常費用			
教育研究経費(受託研究費含む)	1,870,161	2,106,802	236,641
診療経費	24,564,388	26,274,939	1,710,551
人件費	18,168,998	18,723,556	554,558
一般管理費	924,101	702,032	△ 222,069
その他の費用	60,216	59,801	△ 415
経常費用合計	45,587,864	47,867,129	2,279,265
経常収益			
運営費交付金収益	1,895,322	1,929,107	33,785
授業料・入学金・検定料収益	794,755	814,313	19,558
附属病院収益	39,482,416	42,103,777	2,621,361
寄附金収益・受託研究等収益	1,161,997	1,291,659	129,662
補助金等収益	1,421,654	1,269,959	△ 151,695
その他の収益	537,428	540,336	2,908
経常収益合計	45,293,571	47,949,150	2,655,579
経常利益	△ 294,293	82,021	376,314
臨時損失	21,816	25,816	4,000
臨時利益	74,767	14,970	△ 59,797
当期総利益	△ 241,342	71,175	312,517

注：千円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない箇所があります。

平成 30 年度決算 収益・費用の構成

(単位：千円)



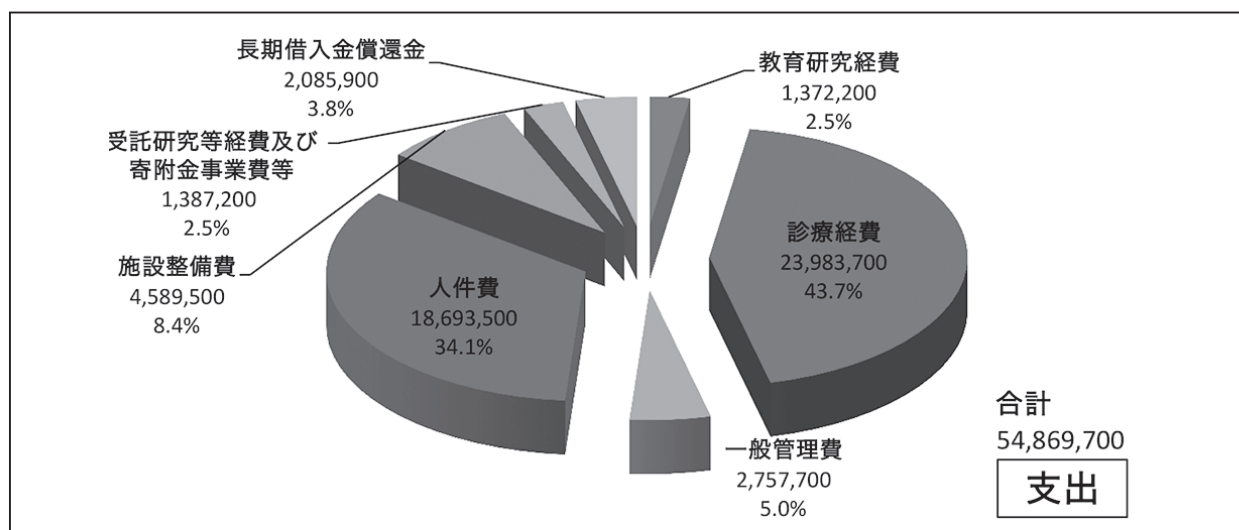
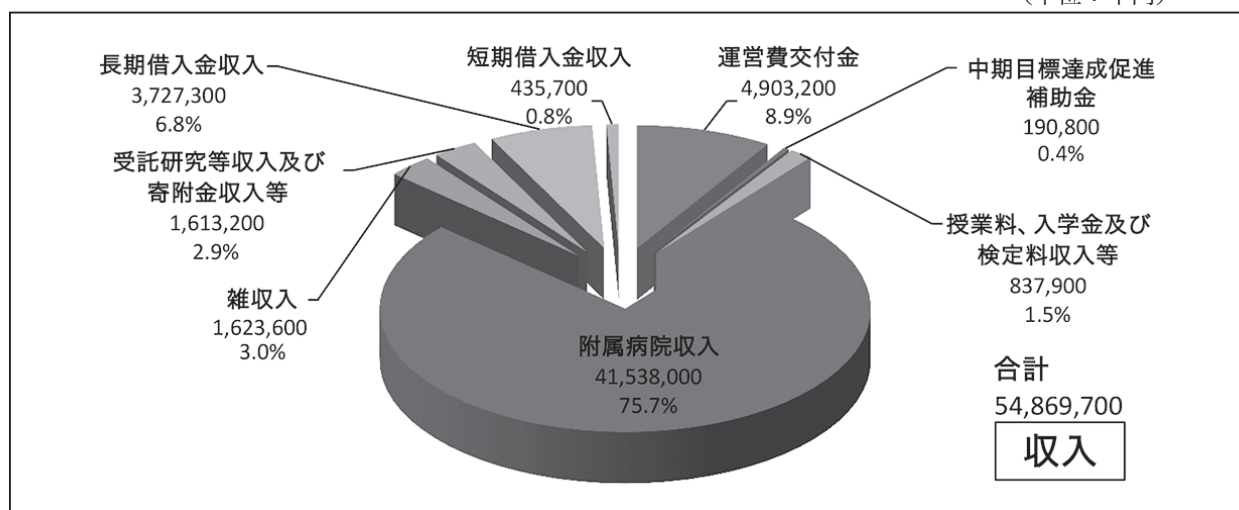
2. 年度別予算

(単位：千円)

区 分		平成 30 年度	平成 31 年度	増 減
収 入	運営費交付金	1,941,300	4,903,200	2,961,900
	中期目標達成促進補助金	595,100	190,800	△ 404,300
	自己収入	41,693,900	43,999,500	2,305,600
	授業料、入学金及び検定料収入等	(844,800)	(837,900)	(△ 6,900)
	附属病院収入	(39,204,000)	(41,538,000)	(2,334,000)
	雑収入	(1,645,100)	(1,623,600)	(△ 21,500)
	受託研究等収入及び寄附金収入等	1,261,700	1,613,200	351,500
	長期借入金収入	2,996,000	3,727,300	731,300
	短期借入金収入	182,800	435,700	252,900
計	48,670,800	54,869,700	6,198,900	
支 出	業務費	42,245,600	46,807,100	4,561,500
	教育研究経費	(1,317,100)	(1,372,200)	(55,100)
	診療経費	(21,959,900)	(23,983,700)	(2,023,800)
	一般管理費	(716,300)	(2,757,700)	(2,041,400)
	人件費	(18,252,300)	(18,693,500)	(441,200)
	施設整備費	3,494,300	4,589,500	1,095,200
	受託研究等経費及び寄附金事業費等	1,116,100	1,387,200	271,100
	長期借入金償還金	1,814,800	2,085,900	271,100
	計	48,670,800	54,869,700	6,198,900

平成 31 年度予算 収入・支出の構成

(単位：千円)



第3章 大学・大学院

教育目標

医学科

アドミッションポリシー

1. 医師となる自覚が強く、人を思いやる心をもつ、人間性豊かな人
2. 患者安全の観点から患者が安心して受診できる医師となれる人
3. 将来性豊かで、奈良県だけでなく日本、世界の医学界をリードできる人

カリキュラムポリシー

1. 倫理観とプロフェッショナルリズムの育成、コミュニケーション教育
教養教育では、自律心の向上と倫理学教育に重点を置く。プロフェッショナルリズム、コミュニケーション教育に資するため、早期から、高齢者や乳幼児、障害者の施設を見学する機会を持ち、現場で人間的触れ合いを通じて知識だけでなく実践的な医療倫理的素養を培うカリキュラムを配置する。
2. 医学、医療とこれらに関連する領域の知識、技能、態度の習得
医学の基盤となる知識を早期から段階的に積み上げていく教育カリキュラムを配置する。
 - ①教養教育では語学や自然科学の基本を習得し、生命科学を学ぶための基盤を作り上げるカリキュラムを配置する。
 - ②基礎医学では、医学の根幹となる解剖学、生理学、生化学を学び、さらに、発展的な基礎医学知識を獲得できるように段階的なカリキュラムを配置する。
 - ③臨床医学では、広範な知識と基本的臨床技能を習得できるようなカリキュラムを配置する。知識、技能、態度が共用試験（CBT、OSCE）による全国共通試験でも確認された後に、Student Doctor として臨床実習に参加させる。
 - ④臨床実習では、診療参加の実態を確保し、医療面接と診療技法を中心に実践的な教育を行う。また、臨床実習の終了時点で Post-CC OSCE を実施し、得られた臨床技能、態度の確認を行う。
3. 国際的な視野と科学的探究心の育成
すべての学生に、研究マインドを涵養するべく、2年次に研究室配属を実施する。関心の高い学生には、早期から生命科学系の研究に参加できるように、6年一貫の「研究医養成コース」を設けている。海外での実習の機会も設ける。
4. 医療を通じた地域社会への貢献
医療システムについての理解を深めることはもちろんであるが、大学内のみならず、奈良県を中心に地域社会、地域医療と関わりを持つ実体験を通じて、奈良の医療を良くしたいという意欲を高める体験型の教育を行っていく。このための6年一貫の「地域基盤型医療教育コース」を設ける。

ディプロマポリシー

所定の期間在学し、カリキュラムポリシーに沿って設定した授業科目を履修し、履修規程で定められた卒業に必要な単位と時間数を修得することが学位授与の要件である。卒業時には以下の能力が求められる。

1. 生命の尊厳と患者の権利を擁護できる高い倫理観とプロフェッショナルリズムを身につけている。
2. 医学とそれに関連する領域の正しい知識を身につけている。
3. 医療を適切に実践できる知識、技能、態度を身につけている。
4. 良好な医療コミュニケーション能力を身につけている。
5. 医学、医療、保健を通じて地域社会へ貢献する意欲と能力を身につけている。
6. 国際的な視野と科学的探究心を身につけている。

看護学科

アドミッションポリシー

1. 自らを律し、人を思いやる心をもつ、人間性豊かな人
2. 幅広い知識と確かな基礎学力を有し、看護学への興味と科学的探究心をもって学習に取り組める人
3. 国際的な視野で考え行動できるとともに、地域の保健・医療・福祉に貢献する熱意と行動力のある人
4. 奈良県立医科大学を愛し、その将来を担う志をもつ人

カリキュラムポリシー

医学部看護学科であることを最大限に生かし、医学教育と連携して、専門性の高い知識、技術、態度を身につけた学生を育成することを目標として、看護教育カリキュラムを構成する。

1. 専門基礎分野における「人間の理解」と「社会の理解」において人間の尊厳と生命の尊重を理解し、高い倫理観を養う教養科目を配置する。
2. 専門基礎分野における「社会の理解」と「生活・環境の理解」、「健康の理解」において対象者の健康と疾病、障害、環境に関する専門知識および観察力を養う科目を配置する。
3. 専門分野における「看護学の基本」と「看護学の展開」において対象者の健康状態を的確にアセスメントでき、個別性のある看護が展開できる実践能力を養う科目を配置する。
4. 専門分野における「看護学の発展と探究」において看護に関する研究能力を養う科目を配置する。
5. 専門基礎分野における「国際理解」と専門分野における「看護学の発展と探究」において国際社会と地域社会で活躍できる能力を養う科目を配置する。

ディプロマポリシー

所定の期間在学し、カリキュラムポリシーに沿って設定した授業科目を履修し、履修規程で定められた卒業に必要な単位を修得することが学位授与の要件である。卒業時には以下の能力が求められる。

1. 生命の尊厳と患者の権利を擁護できる高い倫理観に基づいた全人的ケアを提供できる基礎能力を身につけている。

2. 目的意識を持って、対象者に応じた科学的根拠のある技術の適用と必要性を判断できる基礎能力を身につけている。
3. 対象者の健康状態を的確にアセスメントでき、個別性のある看護を展開する基礎的な実践技術を身につけている。
4. 保健医療における関連職種との協働やヘルスケアシステムにおけるマネジメントの基礎的能力を身につけている。
5. 国際社会および地域社会で活躍できる資質を身につけている。
6. 看護職者としてのアイデンティティを確立し、人間的に成長し続ける姿勢を身につけている。

医学研究科

アドミッションポリシー

1. 独創的な発想と科学的探究心に富み、豊かな人間性をもつ人
2. 医学、医療の分野において、高度の知識、技能を習得し、地域社会に貢献する人
3. 国際的な視野に立ち、高度の研究を通して医学の発展に寄与する人
4. 研究、教育、臨床のいずれの分野においても指導者となる志をもつ人

カリキュラムポリシー

(修士課程)

1. 大学院研修プログラムを受講し、専攻する領域と医科学全体の関係をよく理解し、幅広い知識、技能を身につけるためのカリキュラムを配置する。
2. 医科学分野の専門的知識を修得し、新たな研究を企画、展開できる能力を培うためのカリキュラムを配置し、地域社会に貢献する人材を育成する。

(博士課程)

1. 大学院研修プログラムの受講と学位公聴会の聴講を通して、高度な医学専門知識を修得し、専攻科目に関連する幅広い知識、技能を身に付けるための必要なカリキュラムを配置する。
2. 2年次終了時の中間報告会において、研究評価を行うことで、最終年度での研究成果のとりまとめに資する。
3. 研究指導教員および研究指導補助教員による個別指導カリキュラムによって、自立した研究活動が行える能力を培う。

ディプロマポリシー

(修士課程)

本大学院に2年以上（優れた研究業績を上げた者については1年以上）在学し、指導教員の研究分野に所属して研究指導を受け、講義、演習、特別研究の30単位以上を修得し、修士論文の審査および最終試験に合格することが、課程の修了と学位授与の必要条件である。

1. 医科学に関する確かな専門的知識と深い学識を修得している。
2. 生命科学、社会科学、情報科学などの知識を活用して、研究能力が発揮できる。

(博士課程)

本大学院に4年以上（優れた研究業績を上げた者については3年以上）在学し、指導教員の研究分野に所属して研究指導を受け、講義、演習、実験・実習の34単位以上を修得し、博士論文の審査および最終試験に合格することが、課程の修了と学位授与の必要条件である。

1. 医学に関する高度な学識と研究能力を修得し、未開の領域を切り開く能力と意欲が身につけている。
2. 先端医学・医療に貢献できる高度の専門的な能力が身につけている。

看護学研究科

アドミッションポリシー

1. 人間に対する深い関心と生命倫理や医療倫理を身につけている人
2. 専攻分野における基礎知識を身につけている人
3. 自ら進んで課題に取り組む意欲と探究心がある人
4. 看護学の教育、研究、実践の分野で地域社会に貢献する意志があり、看護学関連分野を学習してきた人

カリキュラムポリシー

1. 教育理念・目的に基づき、豊かな感性、人間性と高度専門職業人としての倫理観を備え、高度化、専門分化および多様化していく医療に要求される知識や技術を的確に習得、発展させながら、実践科学としての看護学を探究する高度な実践能力と基礎的な研究能力を育成するために必要なカリキュラムを配置する。
2. 看護学コースと助産学実践コースを置き、すべての学生が幅広く専門知識を修得するために共通科目を配置する。看護学コースでは各専門分野に必要な能力を養成するために、特論、演習、特別研究の授業科目を配置する。さらに助産学実践コースでは助産師となるために必要な特論、演習、実習科目を配置する。

ディプロマポリシー

本大学院に2年以上（優れた研究業績を上げた者については1年以上）在学し、授業科目について、看護学コースのうち、論文コースにあっては30単位以上修得し、かつ、修士論文の審査及び最終試験に合格することが、高度実践コースの高度実践看護師教育課程（専門看護師教育課程）にあっては40単位以上、同コースの周産期看護師教育課程にあっては46単位以上修得し、かつ、特定の課題についての研究の成果（以下、「課題研究成果物」という。）の審査及び最終試験に合格することが、助産学実践コースにあっては、58単位以上修得し、かつ、課題研究成果物の審査及び最終試験に合格することが、課程の修了と学位授与の必要条件である。修了時には以下の能力が求められる。

1. 看護学に関する確かな専門知識と深い学識を修得している。
2. 生命科学、社会科学、情報科学などの知識を活用して研究能力が発揮できる。
3. 看護専門職者（論文コース修了者）として、地域医療での指導能力を発揮できる。
4. 看護専門職者（高度実践コース修了者）として、高度な実践能力と指導能力を発揮できる。
5. 看護専門職者（助産学実践コース修了者）として、地域における周産期医療での指導能力と高度な実践能力を発揮できる。

1. 学生定員及び現員 R1.5.1 現在

(1) 医学部医学科

学年 区分		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
		定員	113	115	115	115	115	115
現員	男	87	98	71	78	85	85	504
	女	28	28	33	34	26	28	177
	計	115	126	104	112	111	113	681

(2) 医学部看護学科

学年 区分		1年	2年	3年	4年	合計
定員		85	85	85	85	340
現員	男	2	4	3	4	13
	女	83	81	81	81	326
	計	85	85	84	85	339

(3) 大学院 <博士課程>

学年 区分	1年				2年				3年				4年				合計			
	定員	現員			定員	現員			定員	現員			定員	現員			定員	現員		
		男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計
地域医療・健康医学専攻	7	5	1	6	7	11	2	13	7	11	3	14	7	15	3	18	28	42	9	51
生体情報・病態制御医学専攻	13	17	3	20	13	10	6	16	13	12	3	15	13	20	5	25	52	59	17	76
生体分子・機能再建医学専攻	20	17	3	20	20	11	4	15	20	15	1	16	20	22	1	23	80	65	9	74
計	40	39	7	46	40	32	12	44	40	38	7	45	40	57	9	66	160	166	35	201

(4) 大学院 <修士課程>

学年 区分	1年				2年				合計			
	定員	現員			定員	現員			定員	現員		
		男	女	計		男	女	計		男	女	計
医科学専攻	5	7	0	7	5	7	4	11	10	14	4	18
看護学専攻	10	1	10	11	10	2	12	14	20	3	22	25
計	15	8	10	18	15	9	16	25	30	17	26	43

2. 県内・県外別学生数 R1.5.1 現在

(1) 医学部医学科

学年 区分		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
県内		29	29	28	38	33	31	198
県外		86	97	76	74	78	82	497
計		115	126	104	112	111	113	681

(2) 医学部看護学科

学年 区分	1年	2年	3年	4年	合計
県内	49	49	55	60	213
県外	36	36	29	25	126
計	85	85	84	85	339

(3) 大学院〈博士課程〉

学年 区分	1年	2年	3年	4年	合計
県内	20	34	34	39	127
県外	26	10	11	27	74
計	46	44	45	66	201

(4) 大学院〈修士課程〉

① 医科学専攻

学年 区分	1年	2年	合計
県内	4	6	10
県外	3	5	8
計	7	11	18

② 看護学専攻

学年 区分	1年	2年	合計
県内	4	11	15
県外	7	3	10
計	11	14	25

3. 志願者数及び入学者数

(1) 医学部医学科

年度 種別	平成26				平成27				平成28				平成29				平成30				平成31							
	推薦		一般		推薦		一般		推薦		一般		推薦		一般		推薦		一般		推薦		一般					
	緊急 医師	地域 枠	前期	後期	緊急 医師	地域 枠	前期	後期	緊急 医師	地域 枠	前期	後期	緊急 医師	地域 枠	前期	後期	緊急 医師	地域 枠	前期	後期	緊急 医師	地域 枠	前期	後期				
入学定員	113				113				113				113				113				113							
日程別 入学定員	13	25	22	53	13	25	22	53	13	25	22	53	13	25	22	53	13	25	22	53	13	25	22	53	13	25	22	53
志願者数 A	139	225	263	1208	200	197	304	1071	147	206	191	831	153	173	324	1418	111	178	201	929	126	169	205	797				
第1段階選抜 合格者数	—	—	実施 なし	742	—	—	実施 なし	742	—	—	実施 なし	743	実施なし				742	実施なし				742	実施なし				742	
受験者数 B	129	217	239	353	188	193	277	376	134	199	164	356	137	167	283	288	102	173	167	336	117	168	178	358				
合格者数 C	13	25	22	57	13	25	22	56	13	25	22	61	14	25	22	61	13	25	22	59	13	25	22	64				
追加合格者数 (Cの内数)	—	—	—	4	—	—	—	3	—	—	—	8	1	—	—	8	—	—	—	6	—	—	—	11				
入学者数	113				113				113				113				113				113							
日程別 入学者数	13	25	22	53	13	25	22	53	13	25	22	53	13	25	22	53	13	25	22	53	13	25	22	53				
志願倍率 A/C	10.7	9.0	12.0	21.2	15.4	7.9	13.8	19.1	11.3	8.2	8.7	13.6	10.9	6.9	14.7	23.2	8.5	7.1	9.1	15.7	9.7	6.8	9.3	12.5				
競争倍率 B/C	9.9	8.7	10.9	6.2	14.5	7.7	12.6	6.7	10.3	8.0	7.5	5.8	9.8	6.7	12.9	4.7	7.8	6.9	7.5	5.6	9.0	6.7	8.1	5.6				

(2) 医学部看護学科

年度	平成 26					平成 27					平成 28					平成 29					平成 30					平成 31				
	推薦	社会人	一般		編入	推薦	社会人	一般		編入	推薦	社会人	一般(前期)		編入	推薦	社会人	一般(前期)		推薦	社会人	一般(前期)		推薦	社会人	一般(前期)				
			前期	後期				前期	後期				一般	地域				一般	地域			一般	地域			一般	地域			
入学定員	30	5	40	10	5	30	5	40	10	5	35	5	35	10	5	35	5	35	10	5	35	5	35	10	5	35	5	35	10	5
志願者数 A	67	20	95	53	6	71	16	155	60	2	64	16	55	42	7	80	8	55	38	77	6	107	33	67	6	113	44			
第1段階選抜合格者数	—	—	実施なし		—	—	—	実施なし		—	—	—	実施なし		—	実施なし					実施なし									
受験者数 B	67	18	92	28	6	71	13	151	36	2	64	14	53	42	7	79	8	53	37	77	6	101	33	65	6	111	43			
合格者数 C	30	5	44	11	4	30	5	40	10	0	35	1	38	16	4	35	1	37	15	35	3	36	13	35	2	37	13			
追加合格者数 (Cの内数)	—	—	4	1	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1	—	—	—	2	—	—	—	1	—	—	—	2	—			
入学者数	30	5	40	10	4	30	5	40	10	0	35	0	35	15	4	35	0	35	15	35	2	35	13	35	2	35	13			
志願倍率 A/C	2.2	4.0	2.2	4.8	1.5	2.4	3.2	3.9	6.0	—	1.8	16	1.4	2.6	1.8	2.3	8.0	1.5	2.5	2.2	2.0	2.9	2.5	1.9	3.0	3.0	3.4			
競争倍率 B/C	2.2	3.6	2.1	2.5	1.5	2.4	2.6	3.8	3.6	—	1.8	14	1.4	2.6	1.8	2.3	8.0	1.4	2.5	2.2	2.0	2.8	2.5	1.9	3.0	3.0	3.3			

注：一般選抜後期日程は平成 27 年度に廃止、編入学試験は平成 28 年度に廃止しています。

(3) 大学院 <博士課程>

区分	年度	平成 26		平成 27		平成 28		平成 29		平成 30		平成 31	
		秋		秋		秋		秋		秋		秋	
志願者数		18	7	53	5	47	9	48	6	40	5	43	
入学者数	本学出身者	13	3	39	2	33	5	25	3	29	3	31	
	他大学出身者	4	4	12	3	12	4	12	3	11	1	11	
	計	17	7	51	5	45	9	37	6	40	4	42	

(4) 大学院 <修士課程>

① 医科学専攻

区分	年度	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	平成 31
		志願者数	11	12	8	9	11
入学者数	本学出身者	1	1	0	0	0	0
	他大学出身者	9	11	8	6	10	7
	計	10	12	8	6	10	7

② 看護学専攻

区分	年度	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	平成 31
		志願者数	18	17	21	20	17
入学者数	本学出身者	5	3	5	5	7	4
	他大学出身者	4	8	5	6	4	7
	計	9	11	10	11	11	11

4. 卒業者数

(1) 医学部 医学科

区分 卒 回 業 年		医学専門学校			旧制県立医科大学				
		1	2	小 計	1	2	3	4	小 計
男女別	昭和 25	昭和 26	昭和 27		昭和 28	昭和 29	昭和 30		
男	64	31	95	29	42	44	36	151	
女									
計	64	31	95	29	42	44	36	151	

区分 卒 回 業 年		新 制 医 科 大 学											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
男女別	昭和 31	昭和 32	昭和 33	昭和 34	昭和 35	昭和 36	昭和 37	昭和 38	昭和 39	昭和 40	昭和 41	昭和 42	
男	39	36	40	37	30	38	35	39	35	35	52	43	
女		3	2	4	7	3	6	3	1	5	1	3	
計	39	39	42	41	37	41	41	42	36	40	53	46	

区分 卒 回 業 年		新 制 医 科 大 学											
		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
男女別	昭和 43	昭和 44	昭和 45	昭和 46	昭和 47	昭和 48	昭和 49	昭和 50	昭和 51	昭和 52	昭和 53	昭和 54	
男	42	52	52	44	69	51	55	44	78	50	53	61	
女	2	4	3	2	7	7	2	4	5	5	7	5	
計	44	56	55	46	76	58	57	48	83	55	60	66	

区分 卒 回 業 年		新 制 医 科 大 学											
		25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
男女別	昭和 55	昭和 56	昭和 57	昭和 58	昭和 59	昭和 60	昭和 61	昭和 62	昭和 63	平成 元	平成 2	平成 3	
男	52	51	45	77	96	87	72	81	73	73	77	71	
女	6	4	12	17	9	14	18	22	16	25	29	18	
計	58	55	57	94	105	101	90	103	89	98	106	89	

区分 卒 回 業 年		新 制 医 科 大 学											
		37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
男女別	平成 4	平成 5	平成 6	平成 7	平成 8	平成 9	平成 10	平成 11	平成 12	平成 13	平成 14	平成 15	
男	91	67	79	80	86	73	67	71	76	68	71	61	
女	24	23	23	18	26	29	26	29	28	29	37	31	
計	115	90	102	98	112	102	93	100	104	97	108	92	

区分 卒 回 業 年		新 制 医 科 大 学												
		49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61
男女別		平成 16	平成 17	平成 18	平成 19	平成 20	平成 21	平成 22	平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28
男		71	59	61	58	49	56	70	66	65	75	74	71	65
女		26	26	34	37	36	42	27	25	30	25	22	32	40
計		97	85	95	95	85	98	97	91	95	100	96	103	105

区分 卒 回 業 年		新制医科大学			小 計	卒業者数 合 計
		62	63	64		
男女別		平成 29	平成 30	平成 31		
男		75	74	91	3,844	4,090
女		34	33	25	1,073	1,073
計		109	107	116	4,917	5,163

(2) 医学部 看護学科

区分 卒 業 年		医 学 部 看 護 学 科											小 計	卒業者数 合 計	
		平成 20	平成 21	平成 22	平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30			平成 31
男女別															
男		4	4	3	6	3	5	7	2	4	3	5	2	48	48
女		80	74	88	87	89	76	80	80	78	83	83	82	980	980
計		84	78	91	93	92	81	87	82	82	86	88	84	1028	1028

(3) 大 学 院 (博士課程単位修了者数)

卒業年		昭和 39	昭和 40	昭和 41	昭和 42	昭和 43	昭和 44	昭和 45	昭和 46	昭和 47	昭和 48	昭和 49
男女別												
男		11	17	24	18	21	16	15	19	6	8	3
女		1	3	1	1		1	1		1		
計		12	20	25	19	21	17	16	19	7	8	3

卒業年		昭和 50	昭和 51	昭和 52	昭和 53	昭和 54	昭和 55	昭和 56	昭和 57	昭和 58	昭和 59	昭和 60
男女別												
男		5	11	4	7	1	8	7	11	10	6	5
女												2
計		5	11	4	7	1	8	7	11	10	6	7

卒業年		昭和 61	昭和 62	昭和 63	平成 元	平成 2	平成 3	平成 4	平成 5	平成 6	平成 7	平成 8
男女別												
男		6	7	15	14	10	10	5	10	12	17	15
女			1	1	1		2	2		1		2
計		6	8	16	15	10	12	7	10	13	17	17

男女別 \ 卒業年	平成 9	平成 10	平成 11	平成 12	平成 13	平成 14	平成 15	平成 16	平成 17	平成 18	平成 19
男	11	11	19	27	20	12	17	17	19	20	20
女	1	3	4	3	3	1	4	2	3	2	1
計	12	14	23	30	23	13	21	19	22	22	21

男女別 \ 卒業年	平成 20	平成 21	平成 22	平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30
男	20	10	17	10	12	13	17	20	15	15	15
女	6	5	3	4	4	3	7	5	6	5	3
計	26	15	20	14	16	16	24	25	21	20	18

男女別 \ 卒業年	平成 31	合計
男	34	745
女	11	110
計	45	855

(4) 大 学 院 (修 士 課 程 修 了 者 数)

① 医 学 研 究 科

男女別 \ 卒業年	平成 22	平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	平成 31	合計
男	3	4	3	5	8	2	5	9	4	5	48
女	0	2	4	4	2	4	4	3	2	2	27
計	3	6	7	9	10	6	9	12	6	7	75

② 看 護 学 研 究 科

男女別 \ 卒業年	平成 22	平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	平成 31	合計
男					1	0	1	1	0	0	3
女					8	10	4	10	8	11	51
計					9	10	5	11	8	11	54

5. 卒業後の状況

(1) 医学部医学科

状 況		卒業年 (年度)	平成 25 (H24)	平成 26 (H25)	平成 27 (H26)	平成 28 (H27)	平成 29 (H28)	平成 30 (H29)	平成 31 (H30)
卒業者	卒業者数		100	96	103	105	109	107	116
	内 訳	県内出身者	26	24	33	50	43	34	40
		県外出身者	74	72	70	55	66	73	76
県内	卒業 臨床 研修 プログラム 名	奈良医療圏	5	3	5	10	4	6	12
		西和医療圏	3	4	0	3	5	2	6
		東和医療圏	1	0	0	0	1	2	0
		中南和医療圏 (内数 医大単独型)	34 (23)	44 (32)	36 (31)	42 (31)	42 (31)	44 (35)	51 (34)
		その他医療機関	4	5	8	7	9	8	2
	小 計		47	56	49	62	61	62	69
県外	卒業 臨床 研修 施設	他大学附属病院	6	3	10	10	7	8	6
		その他医療機関	43	31	37	26	25	36	30
	小 計		49	34	47	36	32	44	36
そ の 他		4	6	7	7	16	1	9	

(2) 医学部看護学科

状 況		卒業年 (年度)	平成 25 (H24)	平成 26 (H25)	平成 27 (H26)	平成 28 (H27)	平成 29 (H28)	平成 30 (H29)	平成 31 (H30)
卒業者	卒業者数		81	87	82	82	86	88	84
	内 訳	県内出身者	52	52	56	62	55	61	50
		県外出身者	29	35	26	20	31	27	34
県内	看護 師	本学附属病院	36	33	52	38	47	37	42
		県内病院	2	11	4	9	0	4	7
	保 健 師		3	4	6	3	5	4	7
	助 産 師	本学附属病院	0	0	0	0	0	0	0
		県内病院	0	0	0	0	0	0	0
	県外	看 護 師	公立病院	22	15	7	12	15	14
市立病院			8	6	3	6	8	15	10
保 健 師		6	4	2	3	1	5	0	
助 産 師		公立病院	0	0	0	0	0	0	0
		私立病院	0	0	0	0	0	0	0
進 学		3	10	4	7	8	7	5	
そ の 他		1	4	4	4	2	1	3	

6. 学位授与者数

年度	区分	大学院修了者								学位論文提出者	計	
		生理系	病理系	社会医学系	内科系	外科系	健康地域医療	病態制御医学	生体情報 再生 生体分子機能			計
平成 24		0	0	0	0	0	4	1	1	6	20	26
平成 25		0	0	0	0	0	7	5	12	24	25	49
平成 26		0	0	0	0	0	1	5	5	11	22	33
平成 27		0	0	0	0	0	4	4	11	19	19	38
平成 28		0	0	0	0	0	5	3	9	17	23	40
平成 29		0	0	0	0	0	2	6	6	14	18	32
平成 30		0	0	0	0	0	7	8	10	25	10	35
新制学位 授与者累計		48	88	12	160	223	40	49	88	708	1,427	2,135

7. 研究生数、専修生数、医科学研究生数及び博士研究員数

各年度 5 月 1 日現在

区分	年度	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	平成 31
研究生		117	84	58	33	13	7
専修生		131	108	83	71	49	34
医科学研究生		—	—	20	14	24	23
博士研究員		103	107	103	105	123	136

8. 非常勤講師数

各年度 5 月 1 日現在

区分	年度	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	平成 31	
医学科	教養教育	26	28	27	19	44	30	31	
	専門教育	基礎医学	52	52	54	57	82	49	39
		臨床医学	202	196	195	202	192	181	166
看護学科		29	35	32	19	28	39	39	
計		309	311	308	297	346	299	275	

9. 解剖件数

年度	種別	系統解剖	病理解剖	法医学解剖	計
平成 24		27	35	151 (司法解剖：137) (承諾解剖：14)	213
平成 25		27	29	212 (司法解剖：181) (新法解剖：31)	268
平成 26		27	40	192 (司法解剖：168) (新法解剖：24)	259
平成 27		27	37	168 (司法解剖：152) (新法解剖：16)	232
平成 28		27	63	187 (司法解剖：161) (新法解剖：26)	277
平成 29		27	58	178 (司法解剖：149) (新法解剖：29)	263
平成 30		25	42	186 (司法解剖：155) (新法解剖：31)	253

10. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費助成事業

R1.5.1 現在
(件、千円)

年 度	平成 29				平成 30				令和元			
	応募件数	応募金額	交付決定件数	交付決定金額	応募件数	応募金額	交付内定件数	交付内定金額	応募件数	応募金額	交付内定件数	交付内定金額
新学術領域研究	10	38,500	3	9,700 (2,910)	11	68,000	3	8,800 (2,640)	8	43,000	2	21,500 (6,450)
特定領域研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基盤研究 (S)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基盤研究 (A)	0	0	0	0	2	27,100	1	12,700 (3,810)	1	5,300	1	5,300 (1,590)
基盤研究 (B)	28	133,340	18	63,500 (19,050)	32	155,907	18	57,600 (17,280)	32	151,066	16	49,000 (14,700)
基盤研究 (C)	228	355,984	118	135,300 (40,590)	205	314,951	115	124,200 (37,260)	226	330,965	112	118,500 (35,550)
挑戦的研究 (開拓)	3	12,950	0	0	2	6,630	-	-	0	0	-	-
挑戦的研究 (萌芽)	30	61,573	2	3,800 (1,140)	28	59,293	3	3,800 (1,140)	21	48,222	-	-
挑戦的萌芽研究	7	5,200	7	5,200 (1,560)	2	1,700	2	1,700 (510)	0	0	0	0
若手研究	/	/	/	/	120	230,938	32	45,400 (13,620)	138	234,404	69	80,400 (24,120)
若手研究 (B)	113	187,017	48	54,800 (16,440)	28	26,800	28	26,800 (8,040)	13	9,900	13	9,900 (2,970)
研究活動スタート支援	9	12,890	3	3,300 (990)	8	10,935	4	4,400 (1,320)	2	2,200	2	2,200 (660)
奨励研究	5	4,640	1	570	3	2,725	0	0	7	6,861	2	1,080
計	433	812,094	200	276,170 (82,680)	441	904,979	206	285,400 (85,620)	448	831,918	217	287,880 (86,040)

注：() は外数で、間接経費として措置された金額
 応募件数、金額は応募当初の数値
 交付決定 (交付内定) 件数、金額は配分機関より本学あてに行われた交付決定 (交付内定) 通知の数値
 平成 29 年度より挑戦的萌芽研究は新規応募研究課題の公募を停止、挑戦的研究 (開拓・萌芽) が新設
 平成 30 年度より若手研究 (B) は新規応募研究課題の公募を停止、若手研究が新設

11. 総合研究施設の状況

1. 共同利用施設

(1) 動物実験施設

平成 30 年度動物実験施設利用者数（延べ） 9,910 人（実験申請件数 282 件）

動物実験用飼育動物数

R1. 5. 1 現在

動物種	飼育数	動物種	飼育数
ラット	531 匹	ヌードラット	0 匹
マウス	4,995 匹	ネコ	0 匹
ハムスター	0 匹	ブタ	0 匹
砂ネズミ	0 匹	雑犬	0 匹
ウサギ	37 羽	ビーグル犬	10 匹
モルモット	6 匹	サル	10 頭
ヌードマウス	222 匹	合 計	5,811

(2) 大学共同研究施設

(3) 組換え DNA 実験施設

組換え DNA 実験件数 126 件（承認 75・届出 51）（令和元年 5 月 1 日現在）

実験実施従事者数 358 人

（令和元年 5 月 1 日現在）

(4) ラジオアイソトープ（RI）実験施設

○業務従事者登録者数 254 人（令和元年 5 月 1 日現在）

○平成 29 年度利用者数（延べ）

5 階 RI 実験室 20,553 人

4 階 DNA・RI 実験室 13,040 人

○平成 30 年度 RI 購入件数 4 本

核種別購入量（平成 30 年度実績）

（単位：MBq）

	5 階 RI 実験室	4 階 DNA・RI 実験室
³ H	4	—
¹²⁵ I	—	—
¹⁴ C	—	—
³² P	—	—
³⁵ S	—	—
⁵¹ Cr	—	—
³³ P	—	—
⁵⁷ CO	—	—
⁴⁵ Ca	—	—
²² Na	—	—
⁸⁶ Rb	—	—

2. 各施設実験登録者数

R1.5.1 現在 (単位:人)

区分	施設別 動物実験	組換え DNA 実験	ラジオアイソ トープ実験
化学	3	2	2
生物学	5	8	4
保健体育	0	0	0
未来基礎医学	12	14	8
解剖学第一	9	7	8
解剖学第二	9	7	6
生理学第一	4	4	5
生理学第二	9	9	7
生化学	5	6	5
病原体・感染防御医学	2	3	1
微生物感染症学	0	5	0
免疫学	12	14	3
薬理学	5	6	5
疫学・予防医学	1	3	2
公衆衛生学	3	3	3
法医学	4	4	3
分子病理学	15	7	11
循環器内科学	14	20	14
腎臓内科学	5	6	4
呼吸器内科学	1	5	0
内科学第三	21	17	16
脳神経内科学	5	9	5
消化器・総合外科学	10	17	8
脳神経外科学	11	8	4
胸部・心臓血管外科学	3	2	1
整形外科	15	14	9
口腔外科学	9	10	9
産婦人科学	3	3	2
眼科学	0	1	0
小児科学	10	18	16
精神医学	11	13	11
皮膚科学	3	6	5
泌尿器科学	12	10	8
耳鼻咽喉・頭頸部外科学	10	7	4
放射線医学	15	12	11
麻酔科学	7	8	4
救急医学	2	0	0
総合医療学	4	6	4
病理診断学	4	6	4
放射線腫瘍医学	3	3	2
形成外科センター	1	0	0
中央臨床検査部	0	5	0
輸血部	5	5	4

区分	施設別 動物実験	組換え DNA 実験	ラジオアイソ トープ実験
集中治療部	0	0	2
中央放射線部	4	1	1
中央内視鏡部	1	0	1
総合周産期母子医療センター	4	4	3
感染症センター	1	1	1
腫瘍センター	1	0	0
リウマチセンター	0	3	2
玉井進記念四肢外傷センター	2	0	1
総合画像診断センター	1	0	0
医療安全推進室	0	0	0
薬剤部	0	0	0
栄養管理部	1	0	0
臨床研究センター	0	0	0
臨床研修センター	1	0	1
ラジオアイソトープ実験施設	1	1	1
組換え DNA 実験施設	4	6	5
動物実験施設	1	2	1
教育開発センター	2	1	0
女性研究者支援センター	1	1	1
看護学科人間発達学	0	0	0
看護学科臨床病態医学	1	1	0
手の外科講座	0	0	0
地域医療学	0	0	0
糖尿病学	0	0	1
生体分子不均衡制御学	4	11	10
血栓止血医薬生物学	4	0	2
V-iCliniX	0	0	0
骨軟部腫瘍制御・機能再建医学	1	1	1
地域医療支援教育学	0	0	0
リハビリセンター	0	1	2
血栓止血先端医学	1	1	0
血栓止血分子病態学	1	3	0
発生再生医学	3	3	0
医療技術センター	0	3	0
病院病理部	0	1	0
合計	322	358	254

注：動物実験の登録については、動物実験計画が継続・終了の状態を問わず、動物実験にかかる教育訓練受講者数を登録数としてカウント。

12. 寄附・共同研究等講座の設置状況

① 寄附講座

スポーツ医学講座	
寄附者	学校法人栗岡学園
設置目的	スポーツ傷害の病態解明および低侵襲治療法の開発・臨床応用
設置期間	平成25年度～令和6年度
寄附総額	1億8600万円
手の外科講座	
寄附者	社会医療法人 医真会 医真会八尾総合病院
設置目的	手及び上肢に生じる疾患の病因や病態を解明し、手外科に関する最新の治療法を開発し臨床応用
設置期間	平成27年度～令和5年度
寄附総額	1億2600万円
血友病教育講座	
寄附者	シャイアー・ジャパン株式会社
設置目的	血友病の診断・治療に関連する領域の研究に必要な検査及び実験手法について教育と指導
設置期間	平成30年度～令和2年度
寄附総額	3000万円
血栓止血分子病態学講座	
寄附者	CSL ベーリング株式会社
設置目的	止血機構および制御機構を分子および細胞レベルで解析
設置期間	平成30年度～令和2年度
寄附総額	3300万円
V-iCliniX 講座	
寄附者	公益財団法人中谷医工計測技術振興財団
設置目的	次代を担うグローバルに活躍できる若手研究者の育成
設置期間	平成30年度～令和5年度
寄附総額	6億円
骨軟部腫瘍制御・機能再建医学講座	
寄附者	京セラ株式会社
設置目的	骨関節難治性疾患における骨関節機能再建再生研究
設置期間	平成31年度～令和3年度
寄附総額	5400万円
地域医療支援・教育学講座	
寄附者	宇陀市
設置目的	地域医療研究および若手医師の教育
設置期間	平成31年度～令和2年度
寄附総額	2200万円

② 共同研究講座

生体分子不均衡制御学共同研究講座	
設置目的	生体中の分子不斉やその輸送・分布から新しい生理機構を解明し医療シーズを開発
設置期間	平成29年度～令和2年度
血栓止血医薬生物学共同研究講座	
設置目的	血友病を中心とする出血性疾患の診断、評価、検査の見直しや新たな手法の開発推進
設置期間	平成30年度～令和5年度

③ 補助金による講座

地域医療学講座の設置	
奈良県より補助金を受け設置	
設置目的	地域医療に関する教育研究を通じて、地域医療の充実を図り、医師の適正配置に資する。
設置期間	平成22年度～令和3年度（12年間）
糖尿病学講座の設置	
奈良県より補助金を受け設置	
設置目的	奈良県の糖尿病診療の質の向上に資するとともに、糖尿病に関する教育・研究を推進する。
設置期間	平成25年度～令和元年9月（6年間）

医師・患者関係学講座の設置	
奈良県より補助金を受け設置	
設置目的	高度医療、急性期医療、慢性疾患における、患者の特性に対応したコミュニケーション力の習得などを通じて、良き医療人を育成する。
設置期間	平成31年度～令和6年度（6年間）

13. 国際交流協定大学・病院

チェンマイ大学（タイ王国）	
協定締結年月	平成8年8月
協定目的	学術及び教育分野における研究者や学生の交流等を目的として協定を締結。
福建医科大学（中華人民共和国）	
協定締結年月	平成16年12月
協定目的	（上記協定目的と同じ）
オックスフォード大学（イギリス）	
協定締結年月	平成20年4月
協定目的	（上記協定目的と同じ）
ルール大学（ドイツ）	
協定締結年月	平成22年4月
協定目的	（上記協定目的と同じ）
バックマイ病院（ベトナム）	
協定締結年月	平成28年4月
協定目的	学術、教育及び医療分野における医師、研究者や学生の交流等を目的として協定を締結。
ミシガン大学医学部（アメリカ）	
協定締結年月	平成30年12月
協定目的	学術及び教育分野における研究者や学生の交流等を目的として協定を締結。
Brigham Education Institute（アメリカ）	
協定締結年月	平成31年3月
協定目的	臨床及び教育分野における教育改革を促進し、教育能力の向上を目的として協定を締結。

14. 国内協定大学

同志社女子大学	
協定締結年月	平成19年6月
協定目的	教育・研究活動全般における交流・連携を推進し、相互の教育・研究の一層の進展と地域社会の発展に寄与することを目的とする。
早稲田大学	
協定締結年月	平成20年12月
協定目的	両大学が連携協力して教育研究活動の一層の充実と質の向上を図ることによって、学術の発展と有為な人材の育成に寄与することを目的とする。
奈良先端科学技術大学院大学	
協定締結年月	平成21年3月
協定目的	医工学融合分野等における相互の学術交流を通じて、教育・研究・医療のレベルを一層高めることにより、研究開発の推進及び人材の育成を図り、地域社会の発展に寄与することを目的とする。
京都府立医科大学、和歌山県立医科大学、大阪市立大学医学部（関西公立医科大学・医学部連合）	
協定締結年月	平成26年9月
協定目的	教育・学術研究、地域貢献、国際貢献等の分野で相互に連携・協力して、地域社会の発展と人類の福祉に寄与することを目的とする。
京都府立医科大学、兵庫医科大学、大阪市立大学医学部、和歌山県立医科大学、大阪医科大学、関西医科大学、近畿大学医学部（関西公立私立医科大学・医学部連合）	
協定締結年月	平成27年11月
協定目的	（上記協定目的と同じ）

15. 教育研究に関する協定（連携大学院）

大学院医学研究科博士課程及び修士課程の一層の充実と研究科の学生の資質の向上を図り、相互の研究交流を促進し、もって学術及び科学技術の発展に寄与するため、下記機関と教育研究に関する連携・協力協定を締結している。

独立行政法人国立循環器病研究センター（循環器システム医科学）	
協定締結年月	平成 27 年 3 月
公益社団法人地域医療振興協会 市立奈良病院（先端画像下治療開発応用学）	
協定締結年月	平成 29 年 9 月
社会医療法人高清会 高井病院（陽子線腫瘍学）	
協定締結年月	平成 30 年 3 月
一般財団法人小林理学研究所（医療センシング学）	
協定締結年月	平成 30 年 3 月

※（ ）内は科目名

16. 地方公共団体との協定

明日香村	
協定締結年月	平成 24 年 7 月
協定目的	予防医学及び健康づくりの分野で連携することで、明日香村民の健康寿命の延伸、慢性疾患の減少及び医療費削減等を図り、医学・看護学の発展と健やかに安心して暮らせる村づくりを推進する。
橿原市	
協定締結年月	平成 27 年 6 月
協定目的	橿原市と公立大学法人奈良県立医科大学が、医科大学周辺地区を中心としたまちづくりや健康づくりなど多岐にわたる分野において、それぞれが保有する知的・人的及び物的資源を活用することにより、地域社会の総合的な発展を図る。

17. 企業等との協定

株式会社タカトリ	
協定締結年月	平成 25 年 6 月
協定目的	相互の資源（人的・物的資源、知的財産等）を出し合い、新たなイノベーションの創出に取り組み、学術及び産業の振興と地域の発展に寄与することを目的とする。
公益社団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会	
協定締結年月	平成 26 年 10 月
協定目的	2020 年に開催する東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向け、大学と組織委員会がそれぞれの資源を活用し、オリンピック教育の推進や大会機運の醸成等、大会に向けた取組を進めるため、相互に連携・協力体制を構築することを目的とする。

18. 公的研究機関との協定

国立研究開発法人産業技術総合研究所	
協定締結年月	平成 26 年 10 月
協定目的	相互に協力可能な全ての分野において、それぞれの研究開発、人材育成などの具体的な連携・協力を、互恵の精神に基づき効果的に推進することにより、わが国の科学技術及び産業技術の振興と教育・研究の発展に寄与することを目的とする。

19. 公開講座「くらしと医学」開催状況

年度(回数)	演 題	演 者	会 場	参加人数
平成30年度 後期 (第42回)	第1部 基調講演 孤独死の状況を考える～法医学の視点から～ パネルディスカッション 警察が取り扱う孤独死の状況について 孤独死から地域のつながりを考える	法医学講座 教授 奈良県警察本部 刑事部捜査第一課 主任 橿原市社会福祉協議会 地域包括支援センター 総括調整員	橿原文化会館大ホール	400名
	第2部 健康長寿に関する研究成果発表 心不全？今、超高齢社会での大きな課題「心不全とは何か？どのような医療が求められるのか？奈良県健康長寿コホートから見えてきたもの」 手術後機能障害の発生とその関連因子についてのコホート研究 温度・光曝露が健康に及ぼす影響に関する前向きコホート研究	循環器内科学 教授 中央手術部 助教 疫学・予防医学 教授		
平成30年度 前期 (第41回)	第1部 基調講演 腰痛の新しい常識 第2部 パネルディスカッション 腰痛の予防と治療 治療が必要な腰痛を見分けよう 慢性化させないための考え方 運動で腰痛を予防しよう	麻酔科学ペインセンター 副センター長 パネリスト 整形外科医 臨床心理士 理学療法士	橿原文化会館大ホール	400名
	第1部 基調講演 見逃してはならない口の病気が口腔がんにならないために～ 第2部 パネルディスカッション 命につながる口腔の健康 奈良県立医科大学附属病院における周術期口腔がん管理 要介護・認知症高齢者の口腔管理 生活の場で高齢者の食を支える口腔ケア 『最期まで食べる』を支援する訪問介護	口腔外科学講座 教授 コーディネーター 口腔外科学講座 教授 パネリスト 口腔外科学講座 医師 特別講師 老人ホームあじさい園園長、歯科医師 正田歯科医院 訪問歯科衛生士 橿原市立がんセンターがん相談室 看護師		
平成29年度 後期 (第40回)	第1部 基調講演 脳卒中と救急医療 一寝たきりにならないために～ 第2部 パネルディスカッション いつもと違う！？～救急隊から伝えたいこと～ 神経内科医の立場から 脳卒中の言語聴覚療法～急性期から在宅まで～ 脳卒中の理学療法～急性期から在宅まで～	救急医学講座 教授 コーディネーター 救急医学講座 教授 パネリスト 救急救命士 神経内科 医師 言語聴覚士 理学療法士	奈良県文化会館国際ホール	350名
	第1部 基調講演 脳卒中と救急医療 一寝たきりにならないために～ 第2部 パネルディスカッション いつもと違う！？～救急隊から伝えたいこと～ 神経内科医の立場から 脳卒中の言語聴覚療法～急性期から在宅まで～ 脳卒中の理学療法～急性期から在宅まで～	救急医学講座 教授 コーディネーター 救急医学講座 教授 パネリスト 救急救命士 神経内科 医師 言語聴覚士 理学療法士		
平成29年度 前期 (第39回)	糖尿病の治療法について 第1部 基調講演 糖尿病をよく知ろうー聞く、見る、動くー 第2部 パネルディスカッション	糖尿病学講座 教授 コーディネーター 糖尿病学講座 教授 パネリスト 管理栄養士 理学療法士 薬剤師	橿原文化会館大ホール	330人
	食生活と認知症予防との関係について 抗がん剤によるがん化学療法の進歩～その効果を十分に引き出すために～ 関節の痛みを和らげる 「目はどうして動くのか」目を動かすメカニズムについて～ 大腸がん検診を毎年受けましょう 奈良県立医科大学の「新生児医療のあゆみ」 「食品の安全とは何か」ー食品のリスクについて考えるー 大切な人を脳卒中から守るために「予防・早期発見のポイントから最新治療まで」 自宅で暮らす認知症高齢者のための住環境への工夫と配慮 寄生虫今昔物語 最先端の放射線治療でがんを切らずになおす みんなので支える子育て、孫育て 細胞の不思議なチカラと再生医療 元気な高齢者のひけつを目標から科学する いたみを伴う皮膚の病気を帯状疱疹(たいじょうほうしん)～	石井 均 石井 均 山口 千影 田中 秀和 浅田 香織 澤見 一枝 神野 正敏 川手 健次 齋藤 康彦 中島 祥介 高橋 幸博 今村 知明 弘中 康雄 水主 千鶴子 吉川 正英 長谷川 正俊 脇田 満里子 堀江 恭二 緒方 奈保子 浅田 秀夫		
平成28年度 後期 (第38回)	糖尿病の治療法について 第1部 基調講演 糖尿病をよく知ろうー聞く、見る、動くー 第2部 パネルディスカッション	糖尿病学講座 教授 コーディネーター 糖尿病学講座 教授 パネリスト 管理栄養士 理学療法士 薬剤師	奈良県文化会館国際ホール	450人
	食生活と認知症予防との関係について 抗がん剤によるがん化学療法の進歩～その効果を十分に引き出すために～ 関節の痛みを和らげる 「目はどうして動くのか」目を動かすメカニズムについて～ 大腸がん検診を毎年受けましょう 奈良県立医科大学の「新生児医療のあゆみ」 「食品の安全とは何か」ー食品のリスクについて考えるー 大切な人を脳卒中から守るために「予防・早期発見のポイントから最新治療まで」 自宅で暮らす認知症高齢者のための住環境への工夫と配慮 寄生虫今昔物語 最先端の放射線治療でがんを切らずになおす みんなので支える子育て、孫育て 細胞の不思議なチカラと再生医療 元気な高齢者のひけつを目標から科学する いたみを伴う皮膚の病気を帯状疱疹(たいじょうほうしん)～	石井 均 石井 均 山口 千影 田中 秀和 浅田 香織 澤見 一枝 神野 正敏 川手 健次 齋藤 康彦 中島 祥介 高橋 幸博 今村 知明 弘中 康雄 水主 千鶴子 吉川 正英 長谷川 正俊 脇田 満里子 堀江 恭二 緒方 奈保子 浅田 秀夫		
平成27年度 後期 (第36回)	第1部 基調講演 孤独死の状況を考える～法医学の視点から～ パネルディスカッション 警察が取り扱う孤独死の状況について 孤独死から地域のつながりを考える	法医学講座 教授 奈良県警察本部 刑事部捜査第一課 主任 橿原市社会福祉協議会 地域包括支援センター 総括調整員	橿原文化会館大ホール	280人
	第2部 健康長寿に関する研究成果発表 心不全？今、超高齢社会での大きな課題「心不全とは何か？どのような医療が求められるのか？奈良県健康長寿コホートから見えてきたもの」 手術後機能障害の発生とその関連因子についてのコホート研究 温度・光曝露が健康に及ぼす影響に関する前向きコホート研究	循環器内科学 教授 中央手術部 助教 疫学・予防医学 教授		
平成26年度 後期 (第34回)	第1部 基調講演 腰痛の新しい常識 第2部 パネルディスカッション 腰痛の予防と治療 治療が必要な腰痛を見分けよう 慢性化させないための考え方 運動で腰痛を予防しよう	麻酔科学ペインセンター 副センター長 パネリスト 整形外科医 臨床心理士 理学療法士	橿原文化会館大ホール	410人
	第1部 基調講演 見逃してはならない口の病気が口腔がんにならないために～ 第2部 パネルディスカッション 命につながる口腔の健康 奈良県立医科大学附属病院における周術期口腔がん管理 要介護・認知症高齢者の口腔管理 生活の場で高齢者の食を支える口腔ケア 『最期まで食べる』を支援する訪問介護	口腔外科学講座 教授 コーディネーター 口腔外科学講座 教授 パネリスト 口腔外科学講座 医師 特別講師 老人ホームあじさい園園長、歯科医師 正田歯科医院 訪問歯科衛生士 橿原市立がんセンターがん相談室 看護師		
平成26年度 前期 (第33回)	糖尿病の治療法について 第1部 基調講演 糖尿病をよく知ろうー聞く、見る、動くー 第2部 パネルディスカッション	糖尿病学講座 教授 コーディネーター 糖尿病学講座 教授 パネリスト 管理栄養士 理学療法士 薬剤師	橿原文化会館国際ホール	500人
	食生活と認知症予防との関係について 抗がん剤によるがん化学療法の進歩～その効果を十分に引き出すために～ 関節の痛みを和らげる 「目はどうして動くのか」目を動かすメカニズムについて～ 大腸がん検診を毎年受けましょう 奈良県立医科大学の「新生児医療のあゆみ」 「食品の安全とは何か」ー食品のリスクについて考えるー 大切な人を脳卒中から守るために「予防・早期発見のポイントから最新治療まで」 自宅で暮らす認知症高齢者のための住環境への工夫と配慮 寄生虫今昔物語 最先端の放射線治療でがんを切らずになおす みんなので支える子育て、孫育て 細胞の不思議なチカラと再生医療 元気な高齢者のひけつを目標から科学する いたみを伴う皮膚の病気を帯状疱疹(たいじょうほうしん)～	石井 均 石井 均 山口 千影 田中 秀和 浅田 香織 澤見 一枝 神野 正敏 川手 健次 齋藤 康彦 中島 祥介 高橋 幸博 今村 知明 弘中 康雄 水主 千鶴子 吉川 正英 長谷川 正俊 脇田 満里子 堀江 恭二 緒方 奈保子 浅田 秀夫		

第4章 附属図書館

1. 蔵書

R1.5.1 現在 (冊)

区分	和書	洋書	計	平成30年度 受入雑誌種類数
一般教養図書	22,581	7,715	30,296	67
医学専門図書	60,794	52,899	113,693	548
計	83,375	60,614	143,989	615

2. 利用者数 (平成30年度)

区分	学生	教職員	一般者	計
館外帯出人員	3,478 人	1,581 人	51 人	5,110 人
館外帯出冊数	6,330 冊	3,729 冊	107 冊	10,166 冊

3. 文献複写 (平成30年度)

文献複写件数	4,028 件
文献複写枚数	14,618 枚
国内外の他大学などに文献複写を依頼した件数	
国内医学図書館	1,015 件
国外医学図書館	10 件

4. 情報提供サービス (平成30年度)

館内パソコン利用 (情報検索・文書作成等)	9,836 件
事項調査・利用指導	585 件
文献所在調査	1,431 件

5. 電子ジャーナル稼働システム・誌数 (R1.5.1 現在)

Springer Nature	2,217 誌
OVID (LWW)	59 誌
Oxford University Press	153 誌
Proquest	2,122 誌
Science Direct (Elsevier)	62 誌
Wiley Online Library	845 誌
メディカルオンライン (国内雑誌)	1,383 誌
Medical Finder (国内雑誌)	64 誌
その他・電子ブック	401 誌 ・ 9,403 点
合計 電子ジャーナル・電子ブック	7,306 誌 ・ 9,403 点

第5章 附属病院

◎理念 (平成29年4月4日制定)

患者と心が通い合う人間味あふれる医療人を育成し、地域との緊密な連携のもとで奈良県民を守る最終ディフェンスラインとして、安全で安心できる最善の医療を提供します。

◎方針

1 奈良県民を守る「最終ディフェンスライン」の実践

奈良県内唯一の特定機能病院として高度医療・先端医療を推進します。

また高度救命救急センターに加え、ER救急の整備等により救急医療体制を強化するとともに、奈良県基幹災害拠点病院として、奈良県民を守り地域の安心の確保に貢献します。

2 奈良県内基幹病院としての機能の充実

5疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）をはじめとするあらゆる疾患に着実に対応するとともに、患者安全の取組を推進し、奈良県内基幹病院としての役割を果たしていきます。

3 地域医療機関との機能分担、緊密連携の推進

地域医療機関との適切な機能分担と緊密な連携を推進し、地域医療を支えます。

4 各領域の担い手となる医療人の育成

附属病院における卒後教育を通じて、超高齢社会に対応する地域包括ケアシステムをはじめ各領域の担い手となる患者と心が通い合う医療人を育成し、地域医療の向上に貢献します。

◎行動指針

- 病状や治療方針を分かりやすく説明し、安全で質の高い医療を提供します。
- 高度で先進的な医療を提供します。
- 医の倫理にしたがい、患者さんの意思と権利を尊重し、心の通い合う医療を提供します。
- 県における基幹病院として、地域の医療機関との連携を図り地域医療に貢献します。
- 臨床教育を充実し、人間味豊かで県民から信頼される優秀な医療人を育成します。

1. 診療体制

(1) 科別開設許可病床数（医療法第7条第2項）

R1.5.1 現在

注：（ ）は外数

種 別	一 般	感 染	精 神	計
科 別				
循環器内科 腎臓内科	60			60
呼吸器・アレルギー・血液内科	60			60
感染制御内科	0	9		9
消化器・内分泌代謝内科	60			60
脳神経内科	35			35
消化器外科・小児外科・乳腺外科	67			67
脳神経外科	55			55
心臓血管外科 呼吸器外科	44			44
整形外科	64			64
歯科口腔外科	20			20
産婦人科	74			74
眼科	40			40
小児科	34			34
精神科			108	108
皮膚科	15			15
泌尿器科	45			45
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	35			35
放射線・核医学科	15			15
放射線治療科	15			15
麻酔科	6			6
救急科	40			40
総合診療科	10			10
集中治療部	14			14
総合周産期母子医療センター（NICU）	21			21
総合周産期母子医療センター（GCU）	30			30
総合周産期母子医療センター（MFICU）	6			6
その他	10			10
計	875	9	108	992

(2) 外来診療室数

各年度5月1日現在

	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	平成 31
循環器内科 腎臓内科	6	6	6	6	循4・腎2	循4・腎2
呼吸器・アレルギー・血液内科	6	6	6	6	6	6
消化器・内分泌代謝内科	6	6	6	6	6	7
感染制御内科	3	3	3	3	3	3
脳神経内科	4	4	4	4	4	4
消化器外科・小児外科	7	6	消外4・乳2	消外4・乳2	消外小児外6・乳2	消外小児外6
脳神経外科	3	3	3	3	3	3
心臓血管外科 呼吸器外科	3	3	3	3	3	3
整形外科／四肢外傷センター	6	6	6	6	6	6
歯科口腔外科	2	2	2	2	3	3
産婦人科	4	4	4	4	4	4
眼科	5	6	6	6	6	6
小児科	3	3	3	3	3	3
精神科	8	8	8	8	8	8
皮膚科	3	3	3	3	3	3
泌尿器科	3	3	3	3	3	3
耳鼻咽喉・頭頸部外科／めまいセンター	6	6	6	6	6	6
放射線・核医学科	3	3	3	3	3	3
放射線治療科	4	4	4	4	4	4
総合診療科	3	3	8	8	8	8
形成外科	1	1	1	1	1	1
化学療法外来	2	2	2	2	2	2
緩和ケアセンター	2	2	2	2	2	2
周術期管理センター	4	1	1	6	6	6
ペインセンター	4	5	5	5	5	5
リウマチセンター	1	1	1	2	1	1
乳腺センター						3
糖尿病センター	2	1	2	2	2	2
その他（新生児・発達外来）				4	2	2
計	104	101	107	117	117	119

注：平成 26 年 12 月 1 日から形成外科センターを形成外科に変更。麻酔科を周術期管理センターに変更。
平成 28 年 5 月 1 日から耳鼻咽喉科・甲状腺外科から耳鼻咽喉・頭頸部外科に変更。
平成 30 年 1 月 1 日から循環器・腎臓・代謝内科を循環器内科と腎臓内科に変更。
平成 30 年 7 月 1 日から神経内科から脳神経内科に変更。
平成 31 年 2 月 1 日から放射線科（画像診断・IVR）を放射線・核医学科に変更。
放射線治療・核医学科を放射線治療科に変更。

2. 患者統計

(1) 入院・外来患者数

(ア) 入院患者数（年度別）

年度	区分	一般																病棟				精神科 病棟							
		循環器内科 腎臓内科	呼吸器 アレルギー 血液科	感染症 内科	消化器・ 内分泌 代謝科	脳神経 内科	消化器・ 脳神経 小児科・ 乳癌科	脳神経 外科	心臓血管外科・ 呼吸器外科	整形 外科	歯科口腔 外科	産婦人科 産科 小児科 婦人科	NICU	GCU	MFCU	眼科	耳鼻咽喉 頭頸部 外科	皮膚科	泌尿 器科	放射線 核医学科	放射線 治療科	麻酔科	救急科	総合 診療科	形成 外科	計			
平成26	入院患者 延数	22,098	23,127	3,318	19,832	10,745	19,832	20,490	14,277	19,806	6,553	12,403 (850)	11,340	8,768	5,348	3,560	946	7,206	9,545	2,852	9,190	5,208	2,506	1,187	12,052	3,556	2,321	29,572	287,638
	一日平均 入院患者数	61	63	9	54	29	54	56	39	54	18	34 (2)	31	24	15	10	3	20	26	8	25	14	7	3	33	10	6	81	788
平成27	入院患者 延数	22,464	23,096	3,563	21,015	11,085	21,764	20,308	11,416	19,835	6,630	12,418 (882)	11,437	8,426	5,425	3,413	1,023	6,830	10,708	3,129	8,795	5,777	1,721	1,115	11,845	5,070	1,909	29,979	290,196
	一日平均 入院患者数	61	63	10	57	30	59	55	31	54	18	34 (2)	31	23	15	9	3	19	29	9	24	16	5	3	32	14	5	82	793
平成28	入院患者 延数	22,486	23,427	2,931	20,168	11,340	21,726	20,847	7,952	21,135	6,821	10,439 (944)	10,848	8,138	6,262	5,469	1,132	7,312	10,617	2,891	7,792	5,797	1,784	1,156	11,890	4,313	1,893	31,365	291,223
	一日平均 入院患者数	62	64	8	55	31	60	57	22	58	19	29 (3)	30	22	17	15	3	20	29	8	21	16	5	3	33	12	5	86	798
平成29	入院患者 延数	23,207	24,491	2,946	21,795	11,589	23,857	21,253	7,285	21,264	7,240	11,244 (1,312)	11,098	8,757	6,473	6,906	1,564	6,862	10,375	3,091	8,976	6,017	1,970	1,006	14,006	4,724	2,444	34,669	308,575
	一日平均 入院患者数	64	67	8	60	32	65	58	20	58	20	31 (4)	30	24	18	19	4	19	28	8	25	16	5	3	38	13	7	95	845
平成30	入院患者 延数	16,094	24,928	3,062	23,039	11,797	24,502	20,781	9,430	20,525	7,256	10,995 (1,538)	11,263	8,944	6,308	7,078	1,356	6,923	10,280	3,019	9,812	5,685	1,403	1,212	14,212	4,353	2,488	34,724	311,518
	一日平均 入院患者数	44	19	68	63	32	67	57	26	56	20	30 (4)	31	25	17	19	4	19	28	8	27	16	4	3	39	12	7	95	853

注：平成26年12月3日から形成外科センターを形成外科に変更。

平成27年10月1日から心臓血管外科・呼吸器外科と心臓血管外科と呼吸器外科に変更。

平成28年5月18日から耳鼻咽喉科・甲状腺外科を、耳鼻咽喉・頭頸部外科に変更。

平成30年1月1日から循環器・腎臓・代謝内科を、循環器内科と腎臓内科に変更。

平成30年7月1日から神経内科を、脳神経内科に変更。

平成31年4月1日から放射線科を放射線科・核医学科に、放射線治療・核医学科を放射線治療科に変更。

(イ) 新入退院患者数・平均在院日数（年度別）

年 度	区 分	一 般 病 棟																	精神科 病棟		計									
		循環器内科 腎臓内科		呼吸器内科	消化器・ 内分泌 代謝内科	脳神経 内科	消化器・ 小腸科・ 乳腺科	脳神経 外科	心臓血管外科・ 呼吸器外科		整形 外科	歯科口腔 外科	産婦人科		小児科	総合周産期母子 医療センター			眼科	耳鼻咽喉 頭頸部 外科		皮膚科	泌尿 器科	放射線 核医学科	放射線 治療科	麻酔科	救急科	総合 診療科	形成 外科	精神科
		循環器 内科	腎臓 内科	呼吸器 内科	心臓血管 外科	呼吸器 外科	産科 (55名以下) 産科 (150名以上)	婦人科	NCU	GCU	IMFCU	放射線 核医学科	泌尿 器科	放射線 治療科	麻酔科	救急科	総合 診療科	形成 外科	精神科											
平成 26	新入院	1,640	939	171	1,325	441	1,289	1,015	518	927	247	1,366 (132)	1,062	543	162	0	123	1,548	710	161	960	472	67	125	779	164	203	381	17,338	
	退院	1,616	977	169	1,319	432	1,293	1,026	548	924	245	1,436 (140)	1,064	552	28	146	30	1,535	703	151	944	460	65	129	709	156	209	407	17,273	
	平均 在院日数	10.1	22.4	13.4	13.4	21.8	13.7	12.1	10.6	19.2	21.1	7.4 (4.5)	9.8	13.2	26.1	20.1	6.0	6.9	11.8	15.9	8.1	10.0	34.4	8.0	9.7	17.1	9.9	67.2	13.9	
平成 27	新入院	1,719	952	174	1,604	474	1,433	1,066	539	974	278	1,363 (141)	1,079	534	146	0	102	1,631	796	151	984	498	45	157	787	244	178	362	18,270	
	退院	1,718	992	181	1,581	479	1,442	1,092	545	965	277	1,438 (151)	1,065	546	18	126	28	1,615	782	165	980	505	49	155	705	224	169	371	18,213	
	平均 在院日数	9.7	22.3	14.7	11.7	20.1	13.2	11.3	8.6	18.1	19.2	7.2 (4.3)	10.0	13.8	33.8	23.7	7.1	6.6	11.3	16.7	7.4	10.3	32.5	6.1	8.7	17.0	9.7	75.6	13.3	
平成 28	新入院	1,755	1,018	177	1,604	467	1,542	1,067	280	1,072	291	1,129 (129)	1,043	638	186	95	149	1,746	752	177	910	530	55	172	853	227	204	380	18,806	
	退院	1,753	1,033	167	1,613	466	1,558	1,111	286	1,091	291	1,210 (173)	1,039	625	47	236	55	1,752	766	181	919	524	48	173	761	210	198	380	18,785	
	平均 在院日数	9.4	21.5	11.8	11.2	20.6	12.4	10.6	11.6	17.2	19.0	7.0 (4.2)	9.5	11.0	24.9	19.6	6.0	7.1	11.7	13.3	7.4	9.4	29.4	5.6	8.5	16.2	8.1	75.5	12.8	
平成 29	新入院	1,817	918	216	1,610	480	1,673	1,127	254	1,169	315	980 (172)	1,089	696	226	218	149	1,726	759	174	1,006	521	48	164	1,002	260	241	412	19,534	
	退院	1,791	984	207	1,588	484	1,676	1,160	275	1,166	311	1,085 (253)	1,079	698	68	380	34	1,735	746	168	1,005	524	42	166	866	241	247	449	19,464	
	平均 在院日数	9.4	22.6	9.7	11.9	18.8	12.3	10.0	11.4	16.4	20.0	8.2 (3.9)	9.3	10.7	25.4	16.5	8.7	6.0	11.3	15.0	7.6	10.2	34.4	5.1	8.0	14.7	8.5	74.8	12.8	
平成 30	新入院	1,605	898	235	1,770	591	1,691	1,102	296	1,193	301	1,037 (184)	1,194	729	228	226	134	1,811	763	183	1,014	538	40	177	1,051	209	229	408	20,226	
	退院	1,565	976	199	1,781	596	1,708	1,072	331	1,183	302	1,150 (295)	1,186	736	59	388	26	1,811	764	193	1,006	540	38	178	999	191	233	430	20,209	
	平均 在院日数	7.1	17.3	23.1	9.7	11.2	15.1	11.8	10.1	12.1	15.6	7.5 (4.1)	8.7	10.2	25.0	16.6	8.0	7.0	11.1	12.7	8.4	9.3	31.4	5.8	7.9	18.0	9.6	77.1	12.4	

注：平成24年10月1日から呼吸器・血液内科を呼吸器・アレルギー・血液内科に変更。

平成26年12月3日から形成外科に変更。

平成27年10月1日から心臓血管外科・呼吸器外科を心臓血管外科と呼吸器外科に変更。

平成28年5月18日から耳鼻咽喉科・甲状腺外科を耳鼻咽喉科・頭頸部外科に変更。

平成30年1月1日から循環器・腎臓・代謝内科を、循環器内科と腎臓内科に変更。

平成30年7月1日から神経内科を、脳神経内科に変更。

平成31年4月1日から放射線科を放射線・核医学科に、放射線治療・核医学科を放射線治療科に変更。

(ウ) 外来患者数 (年度別)

年 度	区 分	循環器内科		呼吸器・アレルギー科 血液科	感染制御 内科	消化器・内分泌 代謝内 科	脳神経 内科	泌尿器科・小児外科・乳腺科	脳神経 外科	心臓血管外科・呼吸器外科		整形外科 外科	歯科口腔 外科	産婦人 科	小児科	眼科	耳鼻咽喉 頭頸部 外科	皮膚科	泌尿 器科	精神科	放射線・核医学科	放射線 治療科	麻酔科	救急科	総合 診療科	形成 外科	専門 外来等	リハビリテー シ ョ ン 科	計
		循環器 内科	腎臓 内科							心臓血管 外科	呼吸器 外科																		
平成26	外来患者 延数	51,971		39,706	6,884	39,961	16,352	31,438	17,634		7,793	27,348	26,310	36,593	14,588	27,933	23,513	25,451	25,144	56,768	5,280 (118,835)	15,351	9,910	1,152	8,906	4,454	22,907	(67,404)	543,347 (729,586)
	一日平均 外来患者数	213		163	28	164	67	129	72	32	32	112	108	150	60	114	96	104	103	233	22 (487)	63	41	3	37	18	94	(276)	2,225 (2,989)
平成27	外来患者 延数	51,711		40,633	6,744	42,926	15,512	31,467	19,126		7,743	27,465	27,501	37,495	14,699	28,022	24,660	25,391	26,014	57,536	5,287 (121,957)	13,324	10,895	1,078	9,777	4,649	25,188	(75,454)	555,443 (752,854)
	一日平均 外来患者数	213		167	28	177	64	129	79	32	32	113	113	154	60	118	101	104	107	237	22 (502)	55	45	3	40	19	104	(311)	2,284 (3,097)
平成28	外来患者 延数	51,283		40,486	5,860	41,643	15,007	30,449	19,535		3,236	27,221	27,270	36,761	15,123	28,507	23,162	23,575	25,075	57,073	4,857 (125,319)	12,691	11,628	1,265	9,900	5,088	26,416	(91,388)	547,678 (764,385)
	一日平均 外来患者数	211		167	24	171	62	125	80	13	13	112	112	151	62	117	95	97	103	235	20 (516)	52	48	3	41	21	109	(376)	2,252 (3,144)
平成29	外来患者 延数	52,347		41,975	6,609	40,071	15,761	32,726	19,455		3,684	27,773	29,380	36,659	16,989	28,043	22,924	23,610	25,473	59,212	5,308 (131,657)	11,234	12,281	1,417	10,711	5,043	24,861	(101,877)	558,157 (791,691)
	一日平均 外来患者数	215		172	27	164	65	134	80	19	15	114	120	150	70	115	94	97	104	243	22 (540)	46	50	4	44	21	102	(418)	2,286 (3,243)
平成30	外来患者 延数	34,832	17,452	42,095	6,059	42,408	16,416	35,837	19,360		3,917	28,126	30,992	36,887	18,123	27,983	24,737	23,954	26,444	61,327	5,771 (134,749)	11,176	12,040	1,535	10,671	5,285	25,514	(100,816)	573,559 (809,124)
	一日平均 外来患者数	143	72	173	25	174	67	147	79	16	16	115	127	151	74	115	101	98	108	251	24 (552)	46	49	4	44	22	105	(413)	2,349 (3,314)

注：診療科以外の各専門外来等の受診患者合計数を「専門外来等」欄に記載。

平成24年10月1日から呼吸器・血液内科を呼吸器・アレルギー・血液内科に変更。

平成26年12月3日から形成外科センターを形成外科に変更。

平成27年10月1日から心臓血管外科・呼吸器外科を心臓血管外科と呼吸器外科に変更。

平成28年5月18日から耳鼻咽喉科・甲状腺外科を耳鼻咽喉・頭頸部外科に変更。

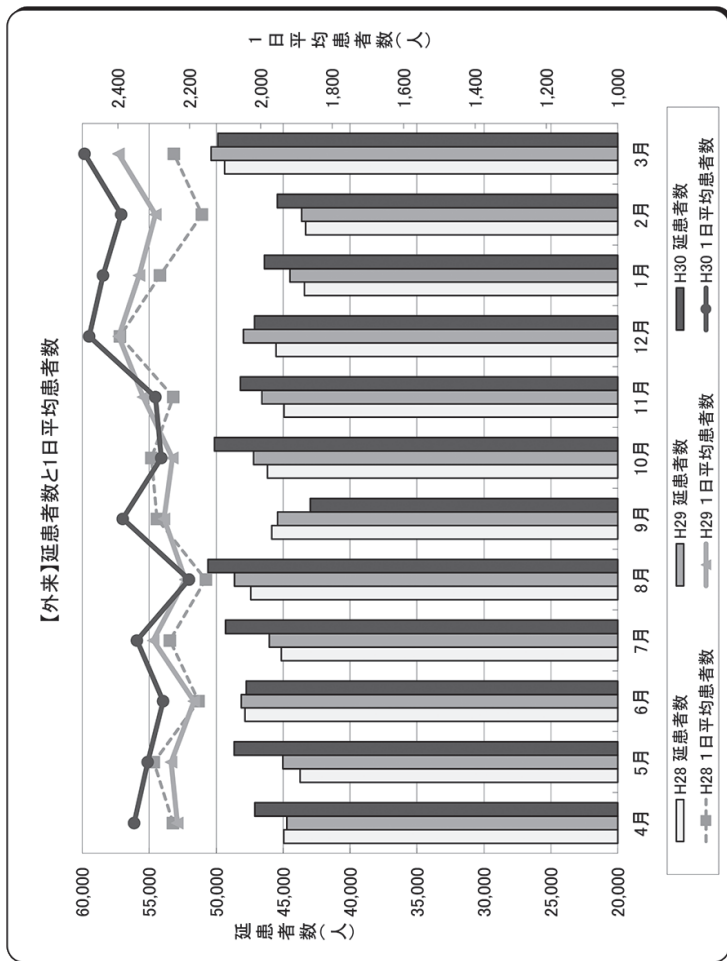
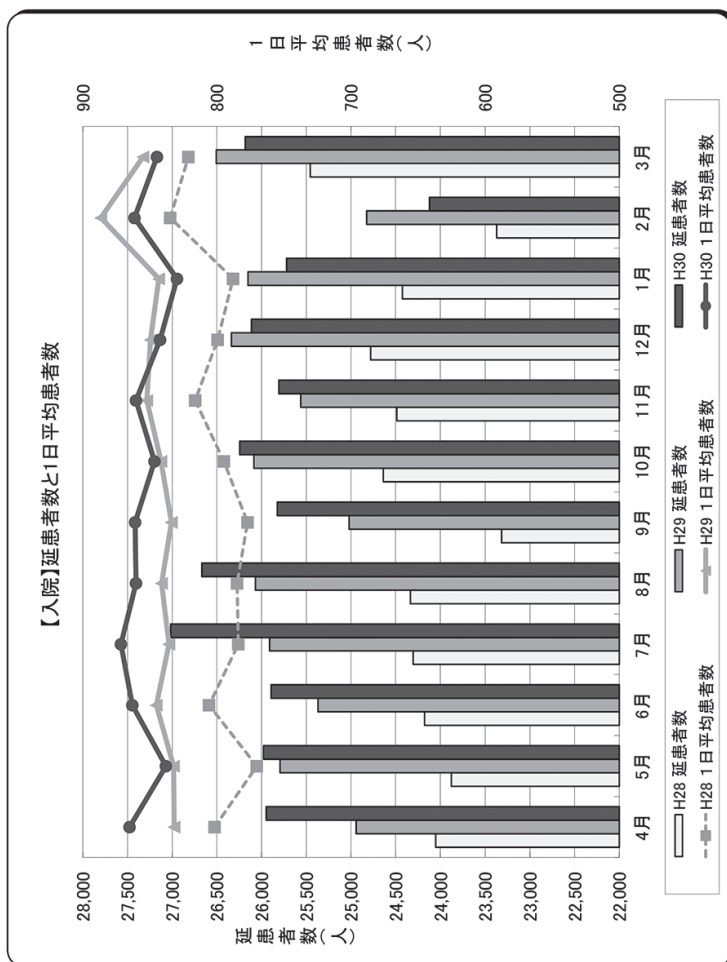
平成30年1月1日から循環器・腎臓・代謝内科を循環器内科と腎臓内科に変更。

平成30年7月1日から神経内科を、脳神経内科に変更。

平成31年4月1日から放射線科を放射線・核医学科に、放射線治療・核医学科を放射線治療科に変更。

(五) 入院・外来患者数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
入院延患者数	24,053	23,876	24,178	24,303	24,336	23,316	24,640	24,487	24,780	24,426	23,372	25,456	291,223
平成28年度	24,941	25,795	25,368	25,910	26,069	25,022	26,086	25,564	26,339	26,151	24,825	26,505	308,575
平成29年度	25,950	25,979	25,892	27,016	26,667	25,826	26,244	25,807	26,114	25,721	24,121	26,181	311,518
平成30年度	802	770	806	784	785	777	795	816	799	788	835	821	798
1日平均患者数	832	832	845	836	841	834	842	852	850	843	887	855	845
平成29年度	865	838	863	871	860	861	847	860	842	830	861	845	853
平成30年度	44,957	43,727	47,859	45,130	47,419	45,847	46,163	44,936	45,536	43,409	43,321	49,374	547,678
外来延患者数	44,714	45,017	48,122	46,029	48,642	45,413	47,204	46,593	47,956	44,481	43,610	50,376	558,157
平成29年度	47,118	48,651	47,751	49,289	50,622	42,962	50,130	48,203	47,135	46,399	45,423	49,876	573,559
平成30年度	2,246	2,299	2,174	2,254	2,154	2,290	2,306	2,245	2,395	2,282	2,165	2,243	2,252
1日平均患者数	2,234	2,251	2,187	2,301	2,211	2,271	2,248	2,330	2,398	2,341	2,295	2,399	2,286
平成29年度	2,354	2,317	2,274	2,347	2,201	2,387	2,279	2,295	2,481	2,442	2,391	2,494	2,349



(2) 中央診療施設稼働状況

(ア) 中央臨床検査部検査件数(年度別)

検査項目	平成 26		平成 27		平成 28		平成 29		平成 30	
	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数
血液	1,710,867	22,013,327	1,715,699	22,953,285	1,730,674	27,055,277	1,748,148	30,595,127	1,771,988	29,396,191
生化学	4,355,954	62,752,744	4,489,390	64,510,962	4,510,144	65,012,088	4,546,510	68,294,572	4,570,997	68,081,239
微生物	62,245	8,436,927	59,551	8,418,016	59,877	9,021,726	62,915	9,415,898	63,763	9,400,468
免疫	115,248	12,855,845	116,493	13,305,945	121,390	14,560,033	134,856	15,351,270	134,911	14,939,706
生理機能	63,832	16,814,085	70,344	17,215,975	72,379	18,149,115	97,733	26,435,550	96,841	27,504,625
緊急検査	1,531,472	12,462,759	1,582,272	13,374,685	1,572,067	13,656,208	1,652,474	14,963,604	1,695,036	14,845,939
外注分	148,787	28,244,512	147,348	28,471,916	133,125	24,024,377	141,955	25,696,854	146,785	26,808,572
集中治療	134,715	5,392,546	133,285	5,366,176	128,009	5,585,748	150,161	6,943,074	172,594	6,795,250
計	8,123,120	168,972,745	8,314,382	173,616,960	8,327,665	177,064,572	8,384,591	197,695,949	8,652,915	197,771,990

注：微生物検査に職員細菌検査も含む

(イ) 輸血部関係 (年度別)

1. 検査件数

検査項目	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30
血液型 (件)	12,903	13,615	13,361	14,395	14,897
赤血球不規則抗体 (件)	11,946	12,626	12,435	13,529	14,017
交差試験 (本)	7,764	7,685	5,992	7,731	8,521
抗血小板抗体 (件)	46	24	18	18	7

2. 採 血

	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30
血小板採取 (件)	31	20	16	19	10
幹細胞採取 (件)	32	12	7	6	16
顆粒球採取 (件)	1	0	0	0	0
骨髓血 (移植用) 採取 (件)	4	2	3	1	3
自己血採取					
200ml (本)	86	64	50	61	64
400ml (本)	555	478	350	400	311

3. 輸 血

	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30
日赤・赤血球製剤					
200ml 由来製剤 (本)	273	192	197	205	144
400ml 由来製剤 (本)	5,720	5,968	5,653	5,921	6,485
日赤・新鮮凍結血漿製剤					
200ml 由来製剤 (本)	264	302	314	243	174
400ml 由来製剤 (本)	4,876	4,374	2,829	3,449	3,853
450ml (本)	0	134	141	399	144
日赤・血小板製剤 (単位)	12,805	12,620	14,290	15,435	14,145
自己血輸血 (単位)	844	738	507	629	518

4. 血漿分画製剤

	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30
アルブミン製剤					
5% 製剤 (g)	32,018	25,215	24,190	22,488	25,328
20% 製剤 (g)	36,460	33,586	29,358	28,750	32,208
25% 製剤 (g)	400	213	150	163	200
第Ⅷ因子製剤					
人由来 (単位)	2,185,000	1,406,000	2,105,000	1,358,000	1,223,000
遺伝子組換え (単位)	9,481,250	9,773,000	13,723,750	11,591,500	10,775,500
第Ⅸ因子製剤					
人由来 (単位)	536,600	331,200	178,000	195,000	141,000
遺伝子組換え (単位)	978,500	1,393,000	1,485,000	1,089,500	1,653,000
バイパス製剤					
FEIBA (単位)	797,500	477,000	834,000	302,000	18,000
Ⅶa 製剤 (mg)	1,931	1,082	306	2,197	47,887
第ⅩⅢ因子製剤					
人由来 (ml)	912	1,344	1,556	1,640	2,164
AT 製剤					
人由来 (単位)	675,500	754,500	471,500	532,500	954,700
TM 製剤					
遺伝子組換え (単位)	11,776,000	10,636,800	11,238,400	15,014,400	15,897,600
接着剤					
シート用 (箱)	244	240	244	270	222
液状用 (ml)	3,116	2,045	2,927	2,987	3,070
免疫グロブリン製剤					
静注用 (g)	14,751	9,791	11,120	11,268	12,370
筋注用 (単位)	2,500	9,500	4,000	5,350	4,650
ハプトグロビン製剤 (単位)	348,000	282,000	318,000	158,000	166,000
IF 製剤 (箱)	407	4	70	0	0
抗悪性腫瘍剤 (mg)	36,600	152,700	174,300	194,400	255,700
その他 (箱)	52	262	213	213	296

(ウ) 中央手術部手術件数 (年度別)

(件)

科 別		年 度		平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30
循環器内科・ 腎臓内科	循環器内科	89	83	104	110	120	—	—
	腎臓内科							
呼吸器・アレルギー・血液内科		5	6	5	5	6	—	—
感染制御内科		—	—	—	—	—	—	—
消化器・内分泌代謝内科		—	2	1	1	—	—	—
脳神経内科		2	1	—	—	—	—	—
消化器外科・小児外科・乳腺外科		776	844	846	973	1,117	—	—
脳神経外科		543	564	547	559	549	—	—
心臓血管外科・ 呼吸器外科	心臓血管外科	576	554	342	417	461	—	—
	呼吸器外科			252	263	237	—	—
整形外科		919	952	1,054	1,163	1,195	—	—
歯科口腔外科		217	242	277	250	267	—	—
産婦人科		865	893	906	946	927	—	—
眼科		1,686	1,699	1,840	1,787	1,896	—	—
小児科		—	3	1	4	2	—	—
精神科		151	198	113	106	27	—	—
皮膚科		—	—	1	1	—	—	—
泌尿器科		612	641	695	758	739	—	—
耳鼻咽喉・頭頸部外科		433	521	540	573	571	—	—
放射線・核医学科		1	1	14	10	6	—	—
放射線治療科		—	—	—	—	—	—	—
麻酔科		184	101	139	126	138	—	—
救急科		284	266	249	282	349	—	—
総合診療科		1	—	—	—	—	—	—
形成外科		242	235	241	234	272	—	—
計		7,214	7,579	7,812	8,160	8,879	—	—

注：平成 24 年 10 月 1 日から呼吸器・血液内科を呼吸器・アレルギー・血液内科に変更。

平成 26 年 12 月 3 日から形成外科センターを形成外科に変更。

平成 27 年 10 月 1 日から心臓血管外科・呼吸器外科を心臓血管外科と呼吸器外科に変更。

平成 28 年 5 月 18 日から耳鼻咽喉科・甲状腺外科を耳鼻咽喉・頭頸部外科に変更。

平成 30 年 1 月 1 日から循環器・腎臓・代謝内科を、循環器内科と腎臓内科に変更。

平成 30 年 7 月 1 日から神経内科を、脳神経内科に変更。

平成 31 年 4 月 1 日から放射線科を放射線・核医学科に、放射線治療・核医学科を放射線治療科に変更。

(エ) 中央放射線部診療患者延数 (年度別)

種 類		年 度		平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	
放 射 線 利 用 人 数	単純撮影			78,804	78,786	77,673	80,553	80,876	
	特殊撮影			3,962	3,929	4,741	5,157	5,784	
	ハイブリット手術室撮影 移動型 C アーム CT 手術後ポータブル撮影 手術後 CT 撮影 手術支援画像			—	—	4,046	4,852	5,168	
	ポータブル撮影			19,485	16,315	16,483	18,977	20,253	
	造影 撮影	消化管			714	784	930	934	769
		血管			—	—	—	—	—
		その他			660	612	653	682	732
	IVR センター			4,053	4,429	4,342	4,753	4,856	
	CT (治療 CT、IVR-CT を含む)			40,717	41,027	43,577	46,529	48,421	
	MR			10,870	10,078	12,431	14,800	14,891	
	RI			2,445	2,922	3,411	4,912	6,082	
	治療			15,492	17,361	17,125	15,792	15,524	
	定位放射線治療			3,886	4,155	7,749	7,162	6,561	
	骨密度その他			1,141	1,188	1,168	1,075	1,214	
	合 計			182,229	181,586	194,329	206,178	211,131	

注：平成 26 年 7 月 1 日から IVR センター設立

平成 28 年 10 月 1 日から E 棟ハイブリット手術室等供用開始

(オ) 集中治療部患者延数（年度別）

(人)

年 度	I C U		C C U	
	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均
平成 26	2,615	7.2	938	2.6
平成 27	2,530	6.9	1,007	2.8
平成 28	2,608	7.1	974	2.7
平成 29	2,886	7.9	1,037	2.8
平成 30	2,964	8.1	1,049	2.9

(カ) リハビリテーション関係

1. 実施単位数（年度別）

	平成 28				平成 29				平成 30			
	単位数	理学療法	作業療法	言語聴覚療法	単位数	理学療法	作業療法	言語聴覚療法	単位数	理学療法	作業療法	言語聴覚療法
脳血管Ⅰ（廃用以外）	67,050	41,063	15,763	10,224	69,697	42,262	17,941	9,494	64,265	39,324	16,840	8,101
脳血管Ⅰ（廃用）												
廃用Ⅰ	20,302	16,487	1,527	2,288	21,947	17,348	1,982	2,617	23,024	18,583	2,101	2,340
運動器Ⅰ	17,670	15,168	2,502		16,244	13,551	2,693		18,713	15,583	3,130	
運動器Ⅲ	4,697	4,697			4,962	4,962			4,608	4,608		
呼吸器Ⅰ	3,297	3,173	124		2,148	2,122	26		2,145	2,097	48	
心大血管Ⅰ	10,850	10,495	355		12,878	12,465	413		13,632	13,084	548	
がんリハ	9,732	8,200	1,205	327	12,130	10,248	1,286	596	13,863	11,737	1,595	531
早期加算	78,307	59,721	11,332	7,254	49,917	39,075	7,158	3,684	88,407	66,292	15,257	6,858
初期加算	43,796	34,606	5,633	3,557	86,440	64,800	14,126	7,514	52,658	40,376	8,557	3,725
総合リハ実施計画書	6,098	4,813	709	576	6,929	5,799	747	383	7,189	6,220	677	292
退院時リハ指導	1,400	1,280	100	20	1,967	1,805	139	23	2,073	1,889	169	15
消炎鎮痛処置	99	99			92	92			71	71		

2. 各療法別患者数（年度別）

(人)

	平成 28		平成 29		平成 30	
	外 来	入 院	外 来	入 院	外 来	入 院
理学療法	446	62,312	584	69,876	642	68,807
作業療法	494	14,453	677	14,989	663	16,151
言語聴覚療法	24	9,667	45	10,272	22	9,341

(キ) 透析部透析件数（年度別）

(件)

年 度	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30
件 数	5,057	5,468	5,541	6,102

(ク) 病院病理部関係（年度別）

組織診検査件数					
年 度	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30
外来(件)	5,760	5,259	5,020	5,555	5,212
入院(件)	7,520	6,455	7,296	7,973	6,411

免疫染色検査件数及び標本枚数					
年 度	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30
件 数	2,328	2,705	3,539	4,478	2,793
標本枚数	9,812	12,083	12,313	13,921	13,620

迅速検査件数及び標本枚数					
年 度	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30
件 数	630	620	603	630	661
標本枚数	2,618	2,662	2,557	2,226	2,055

細胞診検査件数（一般検体）					
年 度	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30
外来(件)	2,228	2,364	2,094	2,023	2,071
入院(件)	1,484	1,402	1,469	1,595	1,639

組織診検査作成ブロック数					
年 度	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30
外来(個)	7,499	7,565	7,004	7,309	7,878
入院(個)	35,560	39,407	39,455	40,144	41,136

特殊染色検査標本枚数					
年 度	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30
標本枚数	3,217	3,311	2,873	3,241	2,678

細胞診検査件数（婦人科）					
年 度	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30
外来(件)	5,315	5,730	5,727	5,983	6,029
入院(件)	29	40	23	37	20

細胞診迅速件数					
年 度	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30
件 数	165	102	114	113	185

(ケ) 医療技術センター関係 (平成 30 年度)

血液浄化部門	
血液浄化療法	件数
血液透析 (透析部)	6,102
血液透析 (病棟透析)	204
CHDF (新規)	85
CHDF (交換)	361
PE	40
DFPP	39
PP	0
CF	2
PMX	21
GCAP	41
CART	66
ビリルビン吸着	0

心臓カテーテル検査関連部門		
種 別		件数
循環器内科 (心カテ)	CAG	1,100
	PCI	490
	S-G	167
	FFR	84
	OCT	253
	IVUS	114
	OFDI	37
	ロータブレータ	32
	ELCA (エキシマレーザ)	13
	一時ペーシング	38
循環器内科 (アブレーション)	EPS	205
	ABL	205
	Cryo ABL	6
	3D マップ システム (Carto3)	100
	3D マップ システム (Ensite)	101
小児科	S-G	64
	PTA	6
呼吸器内科	S-G	11
放射線科	RFA	8
	SPP	470
補助循環	IABP	63
	PCPS	39

ペースメーカー部門		
種 別		件数
新規植込み (循内・心外・小児)	PM	68
	ICD	10
	CRT-P	5
	CRT-D	2
	S-ICD	0
	ILR	6
	LLPM	9
	小 計	100
	電池交換 (循内・心外・小児)	PM
ICD	5	
CRT-P	1	
CRT-D	1	
S-ICD	0	
ILR	0	
LLPM	0	
小 計	23	
定期外来 (循内・心外・小児)	PM	835
	ICD	183
	CRT-P	25
	CRT-D	42
	S-ICD	13
	ILR	16
	LLPM	16
	小 計	1,130
	各種立会い	定期チェック
臨時チェック		53
OP		40
内視鏡		18
MRI		30
放射線		13
エコー調整		6
リード抜去		5
小 計		279
遠隔モニタリング	定期送信	2,195
	アラート送信	367
	小 計	2,562

輸血部門	
種 別	件数
末梢血幹細胞採取	16
血小板採取	1

手術部門		
	業務内容	件数
自己血回収	血管外科 (AAA)	26
	その他 (整形外科など)	40
心外外回り ME 業務	皮膚組織灌流圧検査	15
	血管内焼灼術	43
	術中クラフト評価デバイス	5
ナビゲーション業務	人工股関節置換術	90
	膝関節置換術	0
	腫瘍切除	0
	矯正固定術・後方固定術	10
ダ・ヴィンチ業務	bio jet	28
	前立腺全摘	54
	腎部分切除	38
	幽門側切除	3
眼科外回り ME 業務	腸切除	3
	水晶体再建 (超音波乳化装置使用)	1,337
	硝子体離断術 (硝子体カッターなどを使用)	208
	緑内障	130
ME 機器管理業務	バックリング	13
	シリンジポンプ点検	2,529
	輸液ポンプ点検	47
	電気メス点検	23
	フットポンプ	50
	除細動器点検	47
	修理依頼	71
清潔補助業務	整形外科 (鏡視下)	61
	整形外科	333
	消化器外科 (鏡視下)	181
	消化器外科	134
	泌尿器科 (鏡視下)	65
	泌尿器科	206
	心臓血管外科	0
	救急科	8
呼吸器外科	79	

人工呼吸器部門	
種 別	件数
人工呼吸器 (新規)	101
人工呼吸器 (交換)	206
NPPV (新規)	66
NPPV (交換)	22
NHF (新規)	64
NHF (交換)	6
在宅人工呼吸器 (新規)	16
在宅人工呼吸器 (交換)	25
RTX	267

機器管理部門	
種 別	件数
シリンジポンプ点検	12,654
輸液ポンプ点検	6,674
人工呼吸器点検	1,218

内視鏡部門		
	症 例	件数
予定症例	上部内視鏡	805
	上部 EUS	233
	膵 EUS	150
	胆道 EUS	24
	上部 EMR	19
	上部 ESD	172
	ポリペクトミー	0
	上部消化管拡張	25
	胃瘻造設	35
	胃瘻交換	59
	硬化療法	5
	EVL	37
	ERCP	425
	FNA	109
	異物除去術	11
	上部内視鏡止血術	56
	イレウス管	22
	胃ステント留置	5
	大腸内視鏡 (ショートを含む)	455
	大腸ポリペクトミー	43
	大腸 EUS	38
	大腸 EMR	54
	大腸 ESD	41
	下部消化管拡張	15
	小腸内視鏡	38
	下部内視鏡止血術	13
	腹腔鏡	0
	胆道ファイバー	0
	胸腔穿刺 (造影)	0
	カプセル内視鏡 (パテンジ含む)	20
	ブロンコ	185
	検体系	241
緊急症例	上部内視鏡	25
	硬化療法	1
	EVL	11
	ERCP	30
	異物除去術	7
	上部内視鏡止血術	46
	イレウス管	15
	大腸内視鏡 (ショートを含む)	8
下部内視鏡止血術	7	

人工心肺業務	
症 例 種 別	件数
人工心肺 (大人)	125
人工心肺 (先天性)	29
血小板採取	10
CABG 待機	23

中央材料室部門			
手術室中材における滅菌回数・滅菌個数及び洗浄器使用回数			
種 別			合 計
滅菌	高圧蒸気滅菌	使用回数 (回)	2,950
		滅菌個数 (個)	84,203
	ホルマリン滅菌	使用回数 (回)	242
		滅菌個数 (個)	7,872
	プラズマ滅菌	使用回数 (回)	4,200
		滅菌個数 (個)	19,977
洗浄	自動洗浄器	使用回数 (回)	3,349
	超音波洗浄器	使用回数 (回)	629
	減圧沸騰洗浄器	使用回数 (回)	653
地下中材における滅菌回数・滅菌個数及び洗浄器使用回数			
種 別			合 計
滅菌	高圧蒸気滅菌	使用回数 (回)	2,555
		滅菌個数 (個)	187,250
	ホルマリン滅菌	使用回数 (回)	155
		滅菌個数 (個)	1,789
	プラズマ滅菌	使用回数 (回)	341
		滅菌個数 (個)	5,321
洗浄	自動洗浄器	使用回数 (回)	3,759
	超音波洗浄器	使用回数 (回)	585
	減圧沸騰洗浄器	使用回数 (回)	921
中材業務および泌尿器科関連業務件数			
種 別			合 計
中材機器点検 (件)			5,832
腹腔鏡手術用器械の点検 (件)			822
業者貸出器械の納品・使用前点検 (ケース)			6,940
鋼製小物の刻印業務 (点)			1,747
排尿機能検査立会い (件)			142
仙骨神経刺激装置埋込手術立会い (件)			9
地下中材および手術室中材における修理対応件数			
種 別			合 計
洗浄器関連 (件)			12
滅菌器関連 (件)			14
バックシーラ、RO 装置、その他備品等 (件)			13
鋼製小物 (件)			498

麻酔補助部門		
		合 計
消・小・乳外科	予定	438
	緊急	153
脳外科	予定	248
	緊急	95
心外科・呼外科	予定	480
	緊急	92
耳鼻科	予定	239
	緊急	16
泌尿器科	予定	229
	緊急	19
整形外科	予定	335
	緊急	39
産婦人科	予定	233
	緊急	120
口腔外科	予定	81
	緊急	4
形成外科	予定	67
	緊急	6
救急科	予定	86
	緊急	123
眼科	予定	14
	緊急	1
精神科	予定	10
	緊急	0
循環器内科	予定	15
	緊急	1
放射線科	予定	13
	緊急	4
麻酔科	予定	1
	緊急	4
合計	予定	2,318
	緊急	657

(コ) 中央内視鏡部診療件数 (年度別)

(件)

種 別		年 度	平成 28	平成 29	平成 30
上部消化管	胃内視鏡		4,598	4,718	4,799
	EUS		443	495	606
	EMR		11	16	21
	ESD		145	149	181
	ポリペクトミー		3	6	1
	拡張		64	49	44
	胃瘻造設 (交換)		118	124	143
	硬化療法		38	17	
	EVL		53	47	97
	ERCP		339	393	471
	FNA		74	100	126
	異物除去				25
	止血術				174
	その他		154	177	10
下部消化管	大腸内視鏡		1,307	1,307	1,707
	大腸 EUS		42	43	45
	ポリペクトミー		329	405	437
	大腸 EMR		184	170	171
	大腸 ESD		41	35	31
	拡張		0	10	20
	小腸内視鏡		40	35	61
	止血術				29
	その他		14	13	10
	特 殊	腹腔鏡		0	0
胆道ファイバー			3	0	2
気管支鏡			254	237	234
胸腔穿刺 (造影)			0	0	0
カプセル内視鏡 (パテンシーカプセル含む)			31	45	45
その他			0	0	0
合 計			8,303	8,591	9,490

(サ) 超音波診療件数 (年度別)

(件)

種 別		平成 28	平成 29	平成 30
頸部	一般	2,106	2,308	2,314
	カラードブラ	0	0	731
	スクリーニング	977	826	868
乳腺	一般	774	747	817
	カラードブラ	0	0	0
	造影	37	26	27
	生検	63	83	94
腹部	一般	4,967	5,142	5,616
	カラードブラ	319	288	193
	造影	208	229	232
	生検	0	0	0
	スクリーニング	702	700	707
表在	一般	585	606	675
	カラードブラ	23	15	12
血管	カラードブラ	1,593	1,919	1,489
	スクリーニング	721	822	898
	造影	0	0	0
小児	一般	274	322	385
	カラードブラ	13	9	6
合 計		13,362	14,042	15,064

(3) 病理解剖件数（年度別）

(件)

科 名						
		平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30
循環器内科 腎臓内科		8	7	17	12	14
呼吸器・アレルギー・血液内科		5	4	6	8	4
感染制御内科		3	1	0	0	0
消化器・内分泌代謝内科		14	14	26	19	14
脳神経内科		0	0	1	0	1
消化器外科・小児外科・乳腺外科		1	0	0	4	1
脳神経外科		0	0	0	1	0
心臓血管外科 呼吸器外科		1	4	4	4	4
整形外科		0	0	0	1	0
歯科口腔外科／四肢外傷センター		0	0	0	0	0
産婦人科	産科	0	2	0	2	1
	メディカルバースセンター	0	0	0	0	0
	婦人科	1	1	1	1	0
眼科		0	0	0	0	0
小児科		2	0	0	1	0
新生児集中治療部		1	0	1	2	0
精神科		0	0	0	0	0
皮膚科・形成外科		0	0	0	0	0
泌尿器科		1	0	0	0	0
耳鼻咽喉科・頭頸部外科／めまいセンター		1	1	0	1	0
放射線・核医学科		0	0	0	0	0
放射線治療科		0	0	0	0	0
麻酔科		0	0	0	0	0
救急科		1	1	2	0	2
総合診療科		1	2	5	2	1
計		40	37	63	58	42

(4) 分娩件数（年度別）

(件)

種別	年度	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30
正常分娩		392	373	462	478	505
異常分娩		179	226	162	116	154
帝王切開		371	373	371	378	351
計		942	972	995	972	1,010

注：平成 22 年度以降メディカルバースセンター（平成 23 年 1 月 11 日開設）での分娩件数を含む。

(5) 薬剤関係（年度別）

年 度	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30
薬剤管理指導件数	15,074	14,643	13,498	12,901	11,336
注射薬混合件数（入院）	5,626	5,540	5,309	5,835	5,752
注射薬混合件数（外来）	27,475	29,564	29,841	32,291	39,494
治験件数	81	77	85	97	104
治験症例数	220	225	272	266	241

調剤薬処方数（年度別）

区 分 種 別		年 度				
		平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30
外 来	処方枚数	277,256 (1,122)	280,476 (1,174)	271,892 (1,124)	274,088 (1,123)	276,112 (1,132)
	院外処方枚数	26,321 (107)	27,307 (114)	28,844 (119)	30,256 (124)	30,221 (124)
入 院	処方枚数	221,282 (606)	222,811 (610)	220,625 (604)	238,782 (654)	240,727 (660)
	麻薬内外薬処方枚数	5,740 (16)	5,619 (15)	6,054 (17)	6,451 (18)	6,810 (19)
	麻薬注射薬処方枚数	27,282 (75)	27,360 (75)	27,959 (77)	22,615 (62)	20,594 (56)
	注射薬本数	1,253,321 (3,363)	1,523,225 (3,434)	1,490,748 (4,084)	1,647,127 (4,512)	1,684,700 (4,616)

注：（ ）は 1 日当りの数値

(6) 栄養管理関係

(ア) 提供食数（年度別）

種 別		年 度				
		平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30
普通食	患者食	480,557	661,943	661,783	701,683	709,191
特別食		174,942				
その他（検食等）		—	3,533	3,584	3,541	3,831
調乳	食 数	33,893	32,953	34,422	37,530	38,877
	本 数	—	68,444	71,452	102,263	113,671

(イ) 栄養指導件数（年度別）

種 別		年 度				
		平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30
個 人	入 院	1,463	1,556	1,457	1,365	1,496
	外 来	1,356	1,486	1,539	1,714	2,420
合 計		2,819	3,042	2,996	3,079	3,916

(ウ) NST 介入件数（年度別）

種 別		年 度				
		平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30
介入のべ		—	—	4,919	5,525	6,803
回診		—	—	553	606	817

(7) 総合相談窓口 相談件数

【相談内容別】(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

が ん							
療 養	社会的、 経済的問題	診断、治療、 受診	症 状	患者会、 患者サロン	家族からの 相談	その他	計
54	190	224	154	15	76	13	726

H I V							
サービス・ 制度	療 養	プライバシー	家族・ パートナー	心理的 サポート	受診前相談	その他	計
55	1	5	0	10	4	3	78

虐 待				医療福祉				
虐待対応	養育相談	その他	計	医療費	療 養	手当て・ 年金	その他	計
80	1,139	3	1,222	754	182	32	42	1,010

苦情、争訟等							合 計
設備関係	診療体制	説明・対応	治 療	費 用	その他	計	
4	4	149	47	14	67	285	3,321

※相談記録データベースにより、相談記録を作成した件数

【相談者年齢別】(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	(分類 対象外)	合 計
760	424	373	322	279	421	370	159	213	3,321

【相談者別】(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

本 人	本人と家族	本人と友人	家族・親戚	友人・知人	主治医	医 師	看護師
860	414	7	608	10	66	85	122
専門看護師	保健師	助産師	相談員	行政職員	事 務	その他	合 計
5	259	308	26	442	45	64	3,321

【相談形態別】(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

対 面	電 話	FAX等	合 計
1,942	1,362	17	3,321

【診療科別】（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

診療科	がん	HIV	虐待	医療福祉	苦情等	計
循環器内科 腎臓内科	0	0	0	149	9	158
呼吸器・アレルギー・血液内科	93	0	0	38	10	141
消化器・内分泌代謝内科	39	0	0	108	30	177
感染制御内科	1	76	1	9	1	88
脳神経内科	6	0	3	55	9	73
消化器外科・小児外科	108	0	16	64	7	195
脳神経外科	8	0	18	77	6	109
心臓血管外科 呼吸器外科	9	0	0	86	8	103
整形外科	20	0	22	42	35	119
歯科口腔外科	20	0	3	14	13	50
産婦人科	68	0	736	9	7	820
眼科	2	0	0	13	9	24
小児科	5	0	74	98	0	177
精神科	7	1	88	14	54	164
皮膚科	9	0	7	15	2	33
泌尿器科	78	0	0	40	3	121
耳鼻咽喉・頭頸部外科	62	0	2	20	35	119
放射線・核医学科	11	0	0	3	0	14
放射線治療科	7	0	0	1	0	8
麻酔科	2	0	0	1	7	10
救急科	0	0	29	27	1	57
総合診療科	3	0	0	26	2	31
形成外科	0	0	0	1	3	4
新生児外来	0	0	49	16	1	66
緩和ケア外来	4	0	0	0	0	4
総合周産期母子医療センター 新生児集中治療部門	0	0	147	2	0	149
リウマチセンター	0	0	0	11	3	14
乳腺外科	76	0	1	0	2	79
糖尿病センター	1	0	0	4	1	6
不明・分類対象外	87	1	26	67	27	208
合計	726	78	1,222	1,010	285	3,321

【簡易な相談等の件数】（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

がんに関する簡易な相談	その他の簡易な相談	窓口における書類処理等	計
55	2,794	1,036	3,885

※簡易な相談等とは、相談記録を作成するまでもない相談や問い合わせ

患者サービス向上のため、平成26年10月より窓口における書類処理の一部を業務委託したため、26年度途中より件数が減少。

平成30年度	7,206
--------	-------

【過年度】

平成27年度	7,902
平成28年度	6,804
平成29年度	6,520

3. 診療収入関係

(1) 診療収入額（年度別）

	外 来			入 院			計		
	診療収入 (円)	患者数 (人)	一人平均 (円/人)	診療収入 (円)	患者数 (人)	一人平均 (円/人)	診療収入 (円)	患者数 (人)	
平成 26	一般	12,915,525,900	542,195	23,821	18,773,366,479	275,586	68,122	31,688,892,379	817,781
	救急	12,439,940	1,152	10,799	1,472,741,452	12,052	122,199	1,485,181,392	13,204
平成 27	一般	14,905,159,108	554,365	26,887	19,283,009,869	278,351	69,276	34,188,168,977	832,716
	救急	9,142,632	1,078	8,481	1,441,224,130	11,845	121,674	1,450,366,762	12,923
平成 28	一般	15,115,939,266	546,413	27,664	19,716,564,804	279,333	70,584	34,832,504,070	825,746
	救急	14,835,616	1,265	11,728	1,515,828,068	11,890	127,488	1,530,663,684	13,155
平成 29	一般	15,915,235,910	556,740	28,586	21,532,152,773	294,569	73,097	37,447,388,683	851,309
	救急	17,374,522	1,417	12,261	1,702,629,050	14,006	121,564	1,720,003,572	15,423
平成 30	一般	17,546,933,474	572,024	30,675	22,392,440,712	297,306	75,318	39,939,374,186	869,330
	救急	19,948,422	1,535	12,996	1,732,303,776	14,212	121,890	1,752,252,198	15,747

注：室料差額は入院に含む。

(2) 特別療養環境室（個室等）室料差額収益額（年度別）

種 別	病 棟	病床数 (平成29年10月現在)	料 金 (1日につき)	年度別収益（円）			
				平成 28	平成 29	平成 30	
1人 部屋	特S室	C病棟	3床	31,570円	11,112,640	8,113,490	10,480,240
	特A室	B病棟 E棟産科病棟	22床	22,210円	68,895,420	123,731,910	135,125,640
	特B室	E棟婦人科病棟	5床	15,630円	11,503,680	22,741,650	21,428,730
	S室	B・C病棟 E棟小児センター	107床	10,490円	276,044,350	291,118,970	322,819,260
	A室	A・D病棟	6床	7,710円	21,749,910	13,107,000	14,278,920
	B室	D病棟	31床	5,040円	29,665,440	32,014,080	41,983,200
2人 部屋	C室	D病棟	4床	1,950円	778,050	1,054,950	797,550
計					419,749,490	491,882,050	546,914,540

※参考 E病棟は、平成28年9月から稼働です。

4. 附属病院の主な医療機器設置状況

31.3.31 現在

備 品 名	設 置 場 所	数 量	取 得 年 月 日
(取得価格 1 億円以上)			
AG-CT 装置 (体幹部・四肢血管撮影装置)	(中央) 中央放射線部	1 式	H30.10.10
心臓血管撮影装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H29.4.26
心臓血管撮影装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H29.3.31
洗浄器・滅菌器	(中央) 中央材料室	1 式	H28.9.30
手術映像記録・配信システム	(中央) 中央手術部	1 式	H28.8.31
高精度放射線治療システム	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.9.27
ハイブリッド手術室血管撮影装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.8.31
PET-CT 装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.8.31
RALS 位置決め透視装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.8.31
放射線治療部門システム	(中央) 中央放射線部	1 式	H29.1.31
頭部血管撮影装置 (23 番撮影室)	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.3.31
全身用磁気共鳴診断装置 (18 番撮影室)	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.3.18
全身用磁気共鳴診断装置 (19 番撮影室)	(中央) 中央放射線部	1 式	H27.11.30
da Vinci Xi サージカルシステム	(中央) 中央手術部	1 式	H27.12.20
医用画像情報システム	経営企画課	1 式	H26.9.29
放射線治療装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H25.11.28
放射線治療装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H25.9.20
全身用磁気共鳴断層撮影装置 (30 番撮影室)	病院本館 (旧救急棟) 1 階	1 式	H21.3.31
医用画像情報システム	(中央) 中央放射線部	1 式	H21.3.31
全身用磁気共鳴断層撮影装置 (20 番撮影室)	(中央) 中央放射線部	1 式	H19.7.27
(取得価格 5 千万円以上)			
脳神経外科用顕微鏡装置	(中央) 中央手術部	1 式	H30.12.13
注射薬自動払出システム	薬剤部	1 式	H30.1.18
重症病棟支援システム	NICU	1 式	H29.3.31
受付・採血採尿業務支援システム	(中央) 中央臨床検査部	1 式	H28.8.31
SPECT-CT 装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.8.31
核医学検査装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.8.31
手術台	(中央) 中央手術部	11	H28.8.29
人工心臓装置	(中央) 中央手術部	1 式	H28.9.30
生体情報モニタシステム	(中央) 中央手術部	16	H28.8.31
生体情報モニタシステム	(中央) 高度救命救急センター	1 式	H28.3.24
全身用 X 線 CT 診断装置	(病) 救急科	1	H26.3.31
放射線治療マネジメントシステム	附属病院関係	1 式	H26.1.29
生化学自動分析システム	附属病院関係	1 式	H25.11.29
バイオハザード対策ユニット	附属病院関係	1 式	H25.11.29
検体搬送システム	附属病院関係	1 式	H25.10.31
CT 装置	附属病院関係	1 式	H25.9.30
生体情報患者集中監視モニタリングシステム	附属病院関係	1 式	H25.3.29
トータルケアベッドリース契約	(中央) 集中治療部	1 式	H24.12.1
泌尿器専用 X 線 TV 装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H24.2.29
CT 装置 (16 番撮影装置)	(中央) 中央放射線部	1 式	H23.3.31
モニタリングシステム (情報管理システム)	E 病棟 4 階	1	H19.3.26

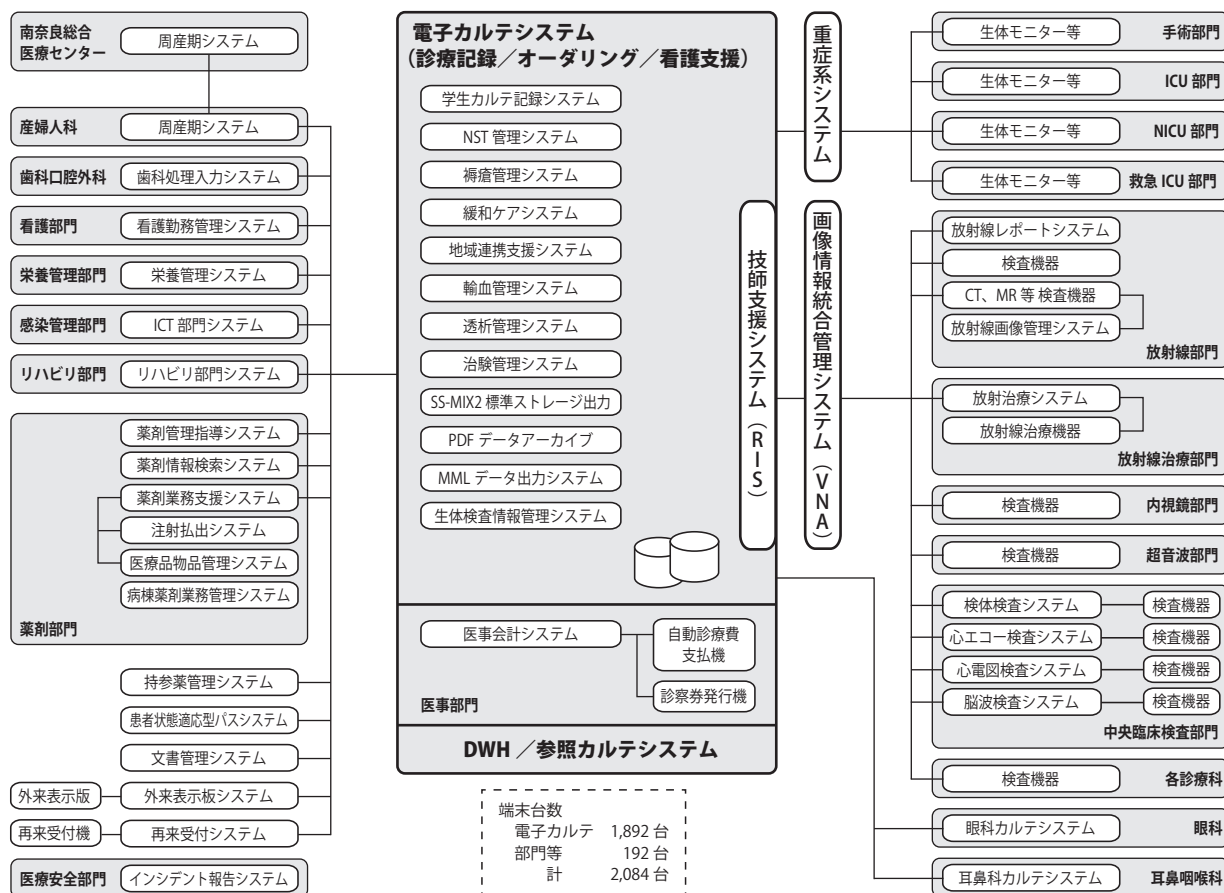
5. 総合医療情報システム（電子カルテシステム）

沿革

昭和 60 年 2 月	大型コンピュータにより電算業務運用開始
平成 11 年 4 月	オーダーリングシステム（外来系システム）運用開始
平成 13 年 4 月	オーダーリングシステム（入院系システム）運用開始
平成 18 年 12 月	総合医療情報システム運用開始 （富士通：EG-MAIN-EX WebEdition）
平成 19 年 4 月	電子カルテ運用開始
平成 25 年 2 月	総合医療情報システムのハードウェア更新 （サーバ、クライアント、ネットワーク等）
平成 28 年 4 月	南奈良総合医療センターと周産期システムの接続
令和 元年 5 月	総合医療情報システム更新（富士通：EG-MAIN-GX） 画像情報統合管理システム（VNA）運用開始 患者状態適応型パスシステム（PCAPS）運用開始

総合医療情報システム全体構成図

R1. 5. 1 現在



大学 総合案内

R1.5.1 現在

大学本部棟		エネルギーセンター		教養教育棟		附属図書館		教育施設等		厳重会議		教育研修棟		基礎医学棟		臨床医学研究棟		看護学科棟		総合研究棟		
4階	財務企画課 監査室 大和漢方医学 薬学センター 大会議室 大会議室控室 小会議室 更衣室	施設管理室 コントロール室	視聴覚室 視聴覚PCルーム 自習室 アラウングラブルーム	物理学教室 物理実習室	大ホール 特別会議室3 控室	学生自習室 国試対策室	中央臨床検査部 医局・技局 更衣室	病原体・感染防御医学 組織実習室 生命システム医学I (臨検線) 未来基礎医学 RI教育室 剖検資料センター 女性研究者支援センター 小講義室 大学共同研究施設	病室・手術室 生命システム医学I (臨検線) 未来基礎医学 RI教育室 剖検資料センター 女性研究者支援センター 小講義室 大学共同研究施設	公衆衛生学 疫学・予防医学 微生物感染症学 免疫学 微生物感染症学・免疫学・疫学・予防医学実習室 公衆衛生学・微生物感染症学 東民健康増進支援センター 産学官連携推進センター 国際交流センター MBT研究所 大学共同研究施設	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室
3階	財務企画課 監査室 大和漢方医学 薬学センター 大会議室 大会議室控室 小会議室 更衣室	施設管理室 コントロール室	視聴覚室 視聴覚PCルーム 自習室 アラウングラブルーム	生物学教室 生物実習室 数学教室 英語教室 教養第4講義室	大ホール 特別会議室3 控室	学生自習室 国試対策室	中央臨床検査部 医局・技局 更衣室	病原体・感染防御医学 組織実習室 生命システム医学I (臨検線) 未来基礎医学 RI教育室 剖検資料センター 女性研究者支援センター 小講義室 大学共同研究施設	病室・手術室 生命システム医学I (臨検線) 未来基礎医学 RI教育室 剖検資料センター 女性研究者支援センター 小講義室 大学共同研究施設	公衆衛生学 疫学・予防医学 微生物感染症学 免疫学 微生物感染症学・免疫学・疫学・予防医学実習室 公衆衛生学・微生物感染症学 東民健康増進支援センター 産学官連携推進センター 国際交流センター MBT研究所 大学共同研究施設	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	
2階	理事室 副理事室 医学部長室 学部長室 学務課 総務課 人事課 広報室 危機管理室 電話交換室	施設管理室 コントロール室	視聴覚室 視聴覚PCルーム 自習室 アラウングラブルーム	化学教室 化学実習室 臨床英語教室 哲学教室 保健体育教室 教養第3講義室	特別会議室1 特別会議室2 会議室3 研修室1 研修室2	スキルスラボ 人事課障害者雇用 推進係	スキルスラボ等 更衣室	病原体・感染防御医学 組織実習室 生命システム医学I (臨検線) 未来基礎医学 RI教育室 剖検資料センター 女性研究者支援センター 小講義室 大学共同研究施設	病室・手術室 生命システム医学I (臨検線) 未来基礎医学 RI教育室 剖検資料センター 女性研究者支援センター 小講義室 大学共同研究施設	公衆衛生学 疫学・予防医学 微生物感染症学 免疫学 微生物感染症学・免疫学・疫学・予防医学実習室 公衆衛生学・微生物感染症学 東民健康増進支援センター 産学官連携推進センター 国際交流センター MBT研究所 大学共同研究施設	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室
1階	教育支援課 学生相談室 教育開発センター 危機管理室 更衣室	施設管理室 コントロール室	視聴覚室 視聴覚PCルーム 自習室 アラウングラブルーム	教養第1講義室 教養第2講義室 非常勤講師控室 細胞培養室 光学実験室 学生ホール	医学科同窓会室 奈良医学雑誌編集室 会議室1 会議室2	総務課 健康推進室 健康管理センター 感染症センター 研究室 県産学連携推進センター 医大新キャンパス 整備支援係	スキルスラボ等 更衣室	病原体・感染防御医学 組織実習室 生命システム医学I (臨検線) 未来基礎医学 RI教育室 剖検資料センター 女性研究者支援センター 小講義室 大学共同研究施設	病室・手術室 生命システム医学I (臨検線) 未来基礎医学 RI教育室 剖検資料センター 女性研究者支援センター 小講義室 大学共同研究施設	公衆衛生学 疫学・予防医学 微生物感染症学 免疫学 微生物感染症学・免疫学・疫学・予防医学実習室 公衆衛生学・微生物感染症学 東民健康増進支援センター 産学官連携推進センター 国際交流センター MBT研究所 大学共同研究施設	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室	情報科学 研究室 共同研究室(第1)～(第4) 演習室(第6) 相談室
6階																						
5階																						
4階																						
3階																						
2階																						
1階																						
地階																						

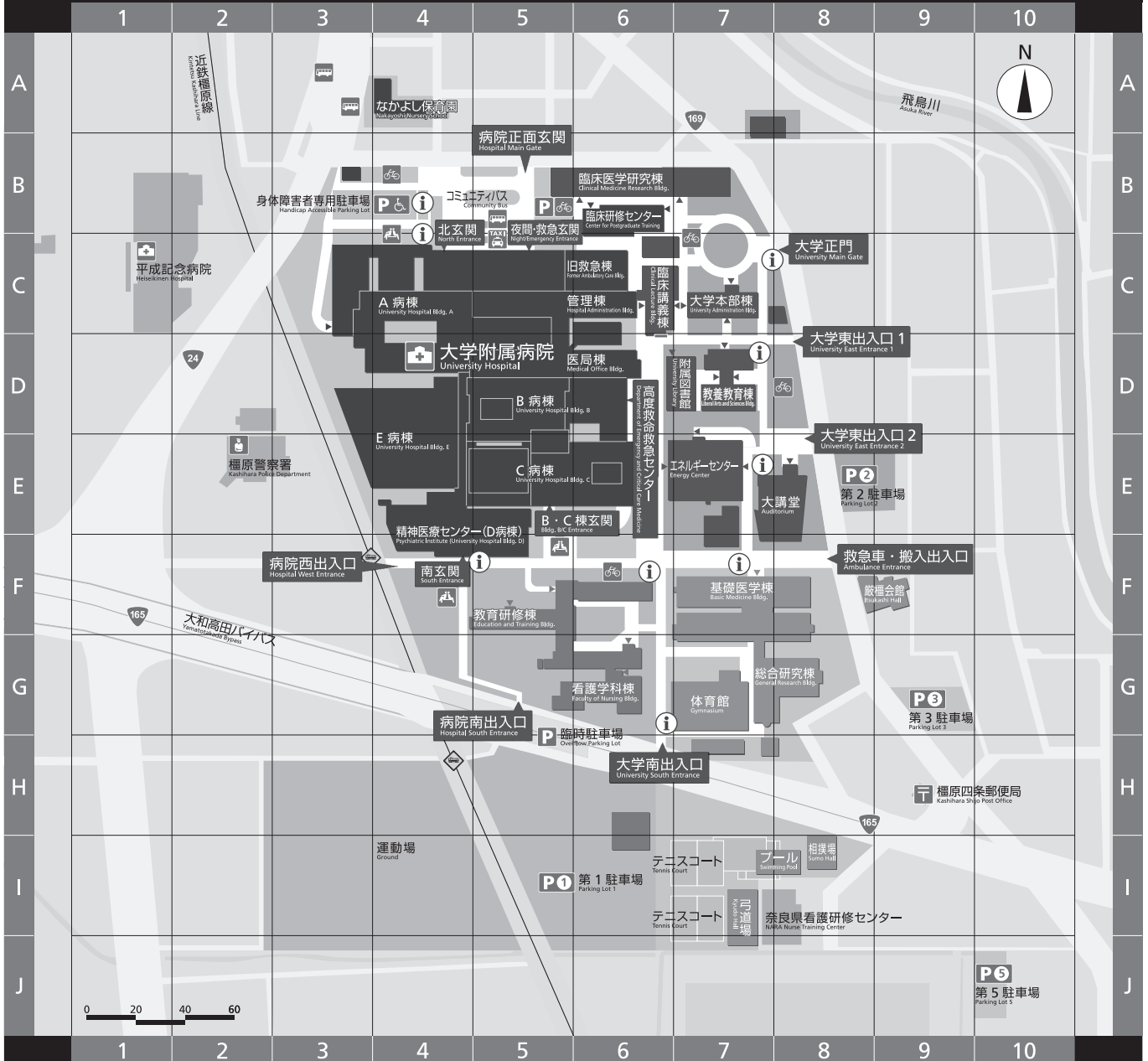
病院 総合案内

R1.5.1 現在

A 病棟・旧救急棟・管理棟・医局棟・定位放射線治療棟		病院本館		病院第二本館		病院第二本館	
		A 病棟・旧救急棟・管理棟・医局棟・定位放射線治療棟		B 病棟		C 病棟	
8階				(病棟) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科、呼吸器・アレルギー・血液内科、総合診療科	(病棟) 呼吸器・アレルギー・血液内科 (中央) 感染症センター		
7階	(病棟) 眼科、皮膚科、形成外科	(病棟) 消化器・内分泌代謝内科	(病棟) 循環器内科 腎臓内科				
6階	(中央) 医療安全推進室、教授室、医局、研究室、糖尿病学講座、先天性心疾患センター、感染症管理室、感染症センター、中央内視鏡・超音波部技局、緩和ケア技局、放射線治療科	(病棟) 消化器外科・小児外科・乳腺外科	(病棟) 心臓血管外科 呼吸器外科、放射線・核医学科				
5階		(病棟) 脳神経外科	(病棟) 脳神経内科、腫瘍口腔外科、麻酔科				
4階		(病棟) 整形外科	(病棟) 泌尿器科、放射線治療科 (中央) 透視部				
3階	(中央) 中央手術部 (管理) 医療サージャイス課 教授室、医局、研究室、移植細胞培養センター、臨床研究センター	(中央) 病院病理部、医局、病理診断科 (外来) 周術期管理センター	(中央) 集中治療部 中央手術部	(病棟) 精神科	(中央) 中央手術部		
2階	(外来) 循環器内科・腎臓内科、呼吸器・アレルギー・血液内科、感染制御内科、消化器・内分泌代謝内科、神経内科、産婦人科、小児科、皮膚科、形成外科、総合診療科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、めまいセンター、新生児・産婦科、遺伝カウンスリング、糖尿病センター、リハビリ腫 (中央) 輸血部、中央臨床検査部、薬剤部(調剤室)、教授室、医局 (管理) 病院経営部長室、看護部部長室、看護副部長室、看護管理課、医療サージャイス課、看護部管理室、看護部多目的室、病院経営対策室	(中央) 中央臨床検査部、医局 (管理) 食堂	(中央) 中央内視鏡・超音波部、医療情報部 (管理) 病院長室、経営企画課、書籍売店、理容室、生命倫理監理室、弘済会、ER当直室	(病棟) 精神科	(中央) 中央臨床検査部 リハビリテーション科		
1階	(外来) 消化器外科・小児外科・乳腺外科、脳神経外科、心臓血管外科・呼吸器外科、先天性心疾患センター、整形外科、玉井連四肢外傷センター、腫瘍口腔外科、眼科、泌尿器科、放射線科(画像診断・IVR)、定位放射線治療室、リウマチセンター、乳腺外科、ペインセンター、外来点滴室、セカンドオピニオン (中央) 薬剤部(調剤室)、中央放射線部、地域医療連携室 (管理) 病院玄関、総合案内窓口、入院受付窓口、創傷相談室、守備室(防災センター)、救急受付窓口、医療サージャイス課(総合相談窓口)、コーヒーション、コンビニエンスストア、患者・家族支援室 教授室、医局、総合画像センター	(外来) 救急処置室 (中央) 中央放射線部 高度救命救急センター IVRセンター	(中央) 中央放射線部 高度救命救急センター IVRセンター	(外来) 精神科 (管理) 南玄関 教授室、医局、研究室	(中央) 腫瘍センター (外来) 緩和ケアセンター、アイトップ検査室 がん相談支援センター患者サロン(ごみ) (管理) コーヒーション		
地階	技局	(中央) 中央材料室 医療技術センター (管理) 供給センター	(中央) 栄養管理部		(中央) 放射線治療室 放射線治療・核医学科		

奈良県立医科大学・附属病院 配置図

総合案内 General Information



広域図 Wider Area Map



施設一覧 (索引) Facilities List (Index)

アルファベット	カ行	精神医療センター (D病棟) F5 ■	な行
A 病棟 University Hospital Bldg. A	C4 ■ 看護学科棟 Faculty of Nursing Bldg.	G6 ■ 総合研究棟 General Research Bldg.	G8 ■ なかよし保育園 Nakayoshi Nursery School
B 病棟 University Hospital Bldg. B	D5 ■ 管理棟 Hospital Administration Bldg.	C6 ■ た行	は行
C 病棟 University Hospital Bldg. C	E5 ■ 基礎医学棟 Basic Medicine Bldg.	F7 ■ 第1駐車場 Parking Lot 1	I6 ■ プール Swimming Pool
E 病棟 University Hospital Bldg. E	E4 ■ 旧救急棟 Former Ambulatory Care Bldg.	C6 ■ 第2駐車場 Parking Lot 2	E9 ■ 附属図書館 University Library
あ行	弓道場 Kyudo Hall	I7 ■ 第3駐車場 Parking Lot 3	G9 ■ ら行
医局棟 Medical Office Bldg.	D6 ■ 教育研修棟 Education and Training Bldg.	F5 ■ 第5駐車場 Parking Lot 5	J10 ■ 臨時駐車場 Overflow Parking Lot
厳禮会館 Rikusei Hall	F9 ■ 教養教育棟 Liberal Arts and Science Bldg.	D7 ■ 体育館 Gymnasium	G7 ■ 臨床医学研究棟 Clinical Medicine Research Bldg.
運動場 Ground	I4 ■ 高度救命救急センター Department of Emergency and Critical Care Medicine	D6 ■ 大学本部棟 University Administration Bldg.	C7 ■ 臨床研修センター Center for Postgraduate Training
エネルギーセンター Energy Center	E7 ■ ざ行	大講堂 Auditorium	E8 ■ 臨床講義棟 Clinical Lecture Bldg.
身体障害者専用駐車場 Handicap Accessible Parking Lot	B4 ■ 身体障害者専用駐車場 Handicap Accessible Parking Lot	テニスコート Tennis Court	I7 ■
相撲場 Sumo Hall	I8 ■		

凡例 Legend

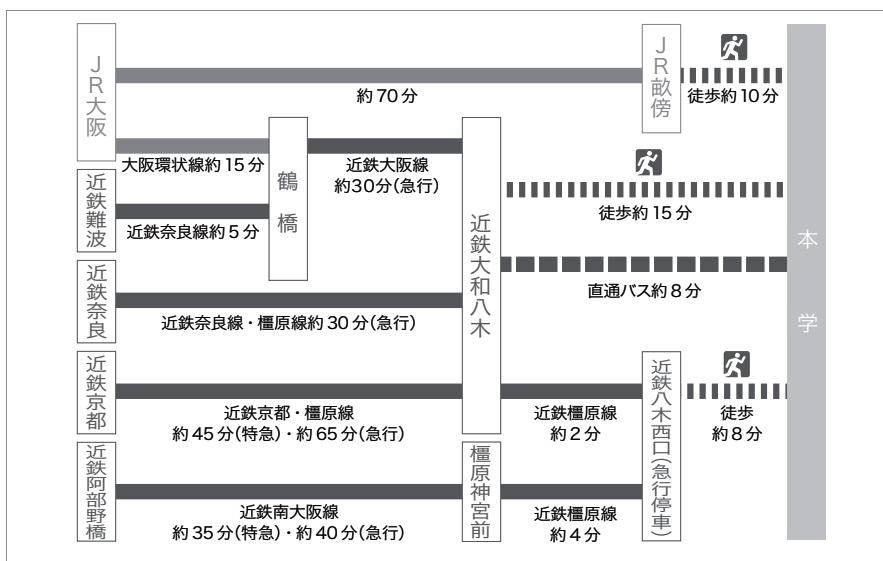
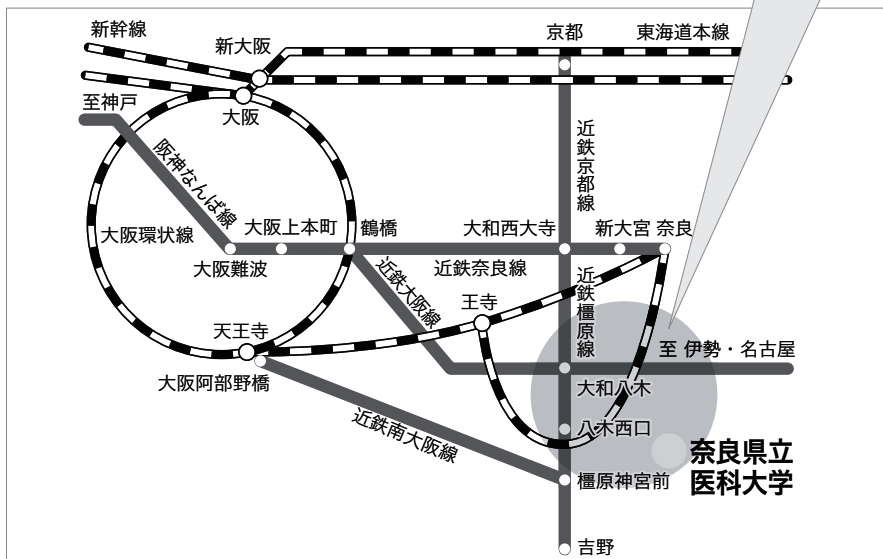
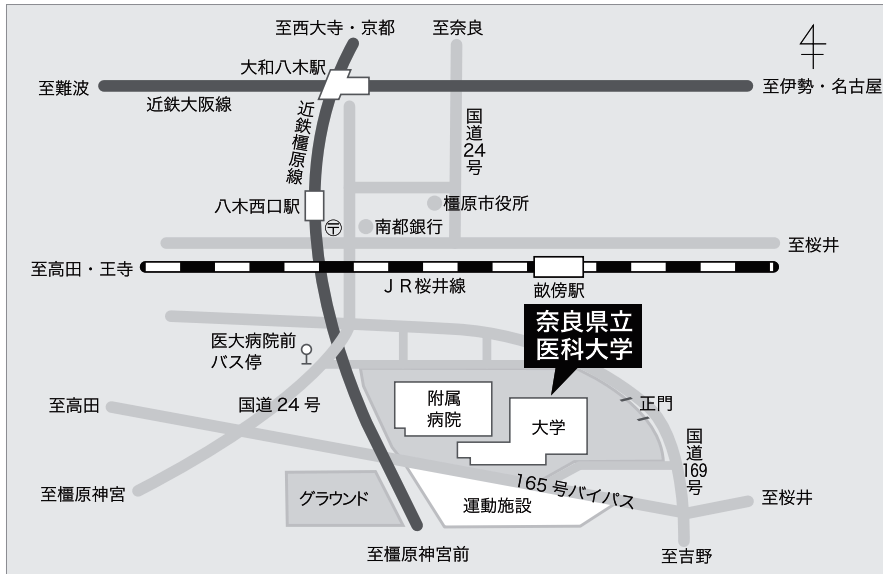
病院 Hospital	A4 ■
案内板 Information	
駐車場 Parking Lot	
休憩所 Lounge	I8 ■
自転車置き場 Bicycle Parking Lot	D7 ■
バス停 Bus Stop	
タクシー Taxi Stand	H6 ■
郵便局 Post Office	G7 ■
警察署 Police Department	B6 ■
駅 (JR・近鉄) Train Station (JR/Kintetsu)	B6 ■
165 国道 National Highway	C6 ■
踏切 Crossing	

敷地内禁煙 No Smoking

敷地内バイク走行禁止 No Motorcycles

奈良県立医科大学位置図

大学・附属病院付近図



令和元年7月発行

公立大学法人

奈良県立医科大学

〒634-8521 奈良県橿原市四条町840番地

電話 (代)0744-22-3051

FAX 0744-25-7657

<http://www.naramed-u.ac.jp>

編集 法人企画部 広報室
